

ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2021 | IFDA 2021

ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2021

REPORT

June 16–20,
September 15–19

IFDA
INTERNATIONAL FEDERATION OF DESIGN ASSOCIATIONS
ASAHIKAWA 2021

City of Design
ASAHIKAWA



70th
Anniversary of Japan's
accession to UNESCO

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



ASAHIKAWA
DESIGN WEEK

CONTENTS



- 003 旭川デザインウィーク2021実行委員会会長挨拶
- 004 開催概要・過去実績

ADW SPECIAL TALK

- 007 ADW討論会「持続可能な未来をデザインする」
- 013 ADW分科会「デザインと経営・食・教育」
- 015 ADWパネルディスカッション
「旭川で語る日本の未来」

ADW SPECIAL INTERVIEW

- 024 対談「デザイン都市ってなんだろう？」

PARTICIPANTS EVENT

- 030 織田コレクション特別展
「マスターピース・オブ・チェアーズ展」
- 031 アーティストインレジデンスあさひかわ
- 032 君の椅子プロジェクト
- 033 理美容とデザイン
- 034 まちなかキャンパス2021
ユネスコデザイン創造都市あさひかわを考えよう
- 036 第1回「隈研吾&東川町」
KAGUデザインコンペ表彰式
- 037 夢を拓く：女子中高生のためのキャリアサポート茶話会
- 038 あさひかわ北彩都ガーデンアジサイ植樹
- 040 JIA「生き続けるモダニズム建築」展
- 041 旭川工芸展
- 042 人づくり一本木基金
(長原寛・スチウレ・エンゲ 人づくり基金)
- 043 0166SWEETS[甘やかシティASAHIKAWA]
- 044 旭川の食のデザイン展
- 045 ADW特別企画大雪エリア体験
- 046 大雪エリアの魅力体感イベント KAMUI Mt.ing
- 047 旭川デザインウィーク共催企画
「旭川のものづくり」を知るツアー
- 048 デザイナーと「ステキ」をつくるワークショップ
「デザインっておもしろい！」
- 049 まちなか賑わいSTREET
- 050 わくわくサイエンス～究極のデザイン『人体』の不思議～

PARTICIPANTS, SCHEDULE

- 052 参加企業・団体の紹介&イベントのご案内



IFDA 2021

- 077 国際家具デザインコンペティション旭川 2021
開催概要

IFDA EVENTS

- 078 デザインコンペティション入賞入選作品展
- 080 IFDA基調講演
- 081 国際家具デザインコンペティション旭川表彰式
- 082 Design Stories from IFDA
デザイナーとつくる、暮らしのストーリー。
- 084 旭川家具エキシビジョン & 新作家具

MANUFACTURERS

- 090 参加企業・団体のご紹介

COMPETITION REPORT

- 110 審査の現場から
- 116 現場インタビュー 審査を終えて
- 118 国際家具デザインコンペティション旭川2021
入賞・入選作品
- 120 審査総評

FEATURE ARTICLE

- 124 特集「IFDA試作中間報告会レポート」

OFFICIAL PARTNER & SPONSOR

- 130 オフィシャルパートナー
- 132 オフィシャルスポンサー

a chair of the tree, a tree of the forest

自然を受け入れ、自然と共に生きてきた日本人の生活習慣や精神性には、人間があるべき姿へ回帰させ、現代社会が抱えている課題を克服し、世界が必要としている生活の在り方を実現するための大きな糸口が潜んでいるのかもしれない。

木をメインとしながら異なる素材との組み合わせや、地域に伝わる伝統技術による、密度あるプロダクトを作りました。一つひとつが完結した個体でありながら、同じ概念を持つプロダクトの集合体が美しい調和を作り出す空気感は、私たちが理想とする空間です。日本さらには東洋の文化的概念によるモダンプロダクトを世界へお届けします。

TIME & STYLE

TOKYO · HOKKAIDO · AMSTERDAM

「みんな、デザイン。みんなの、デザイン。」それが「旭川デザインウィーク2021」のテーマです。2019年に旭川市が、「ユネスコ創造都市ネットワーク」にデザイン分野で加盟認定されてから初めての開催になります。従来の家具中心のイベントから大きく輪を広げ、建築、機械金属、食品加工、理美容、商店街、教育・研究機関をはじめ、近隣の自治体とも協働するイベントになりました。また、11回目となる「国際家具デザインコンペティション旭川〔IFDA〕」も併催しています。

計画では、デザインに触れる、学ぶ、遊ぶ体験型のイベントを目指していましたが、世情を鑑み、オンラインを中心とした形で6月と9月に分散しての開催となりました。その全容をこのたびレポートとしてまとめましたので、ご覧いただければ幸いです。

「旭川デザインウィーク2022」は、来年6月に盛大に開催する予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

旭川デザインウィーク2021実行委員会
会長 渡辺 直行



みんな、デザイン。
みんなの、デザイン。

ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2021

2021年6月16日(水)～20日(日)、9月15日(水)～19日(日)

会場 / 旭川デザインセンター、各教育機関、旭川市と東川町
主催 / 旭川デザインウィーク2021実行委員会

家具だけでなく多種多様な分野の団体が参加する新しい形で開催された、今年の「旭川デザインウィーク」。デザインを切り口に、食や美容から教育、まちづくりまで多くの参加者が個性的なイベントを企画。コロナ禍で一部延期や中止を余儀なくされたものの、オンラインの活用や地元市民向けの企画により多くのお客様に“旭川デザイン”を体験していただくことができました。

6月開催

- IFDA基調講演 (オンライン)
- 国際家具デザインコンペティション旭川表彰式 (オンライン)
- ADW討論会 (オンライン)
- ADW分科会 (オンライン)
- ADW/パネルディスカッション (オンライン)
- 織田コレクション特別展
「マスターピース・オブ・チェアーズ展」(9月まで)
- アーティストインレジデンスあさひかわ (全4回、8月まで)
- 理美容とデザイン (全4回、11月まで)
- あさひかわ北彩都ガーデンアジサイ植樹
- 旭川高等技術専門学院見学会
- デザインコンペティション入賞入選作品展
- Design Stories from IFDA
デザイナーとつくる、暮らしのストーリー。

9月開催

- 君の椅子プロジェクト
- まちなかキャンパス 2021 (オンライン)
- 夢を拓く:女子中高生のためのキャリアサポート茶話会 (開催時期未定)
- 第1回「隈研吾&東川町」KAGUデザインコンペ表彰式

YouTube配信

- 旭川家具エキシビションオンライン
旭川デザインセンター1F
旭川デザインセンター2F
工場・ショールーム

これまでの ASAHIKAWA DESIGN WEEK

※2020年は中止となりました。



2015年6月24日(水)～28日(日)

[総来場数] 5,700名

◀ ADW SPECIAL INSTALLATION
建築家 藤本 壮介



2016年6月22日(水)～26日(日)

[総来場数] 10,500名

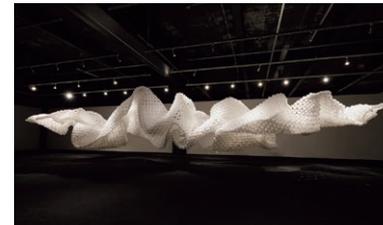
◀ ADW SPECIAL INSTALLATION
建築家 田根 剛



2017年6月21日(水)～25日(日)

[総来場数] 19,500名 (IFDA併催)

◀ デザインコンペティション入賞入選作品展
会場構成/建築家 五十嵐 淳



2018年6月20日(水)～24日(日)

[総来場数] 16,500名

◀ ADW SPECIAL INSTALLATION
アーティストユニット デイジー・バルーン



2019年6月19日(水)～23日(日)

[総来場数] 18,000名

◀ ADW SPECIAL INSTALLATION
インテリアデザイナー グエナエル・ニコラ

LEXUS ADVANCED SAFETY

LEXUSはモビリティ社会の究極の願い
「交通事故死傷者ゼロ」を掲げ、
安全技術開発を進めています。
世界トップレベルの先進安全技術を開発し、
より多くのクルマに普及させていくことが
重要だと考えています。



PHOTO (左)
LS500h "EXECUTIVE Advanced Drive" AWD
車両本体価格 17,940,000円*

ボディカラーの選択ラスタ(1.3) 330,000円、245/45R20 99Yランフラットタイヤ& 20×8 1/2ノイズリダクションアルミホイール(スパイクリング塗装) 165,000円はメーカーオプションとなり、車両本体価格には含まれておりません。

PHOTO (中)
ES300h "version L" 2WD (FF)
車両本体価格 7,130,000円*

ボディカラーはアイスクリューマイカメタリック(4X8)、デジタルアウターミラー220,000円はメーカーオプションとなり、車両本体価格には含まれておりません。

PHOTO (右)
IS300h "version L" 2WD (FR)
車両本体価格 6,000,000円*

ボディカラーはソニッククロム(1.1)。

*価格はすべて消費税込みです。*価格はメーカー希望小売価格<2021年5月現在のもの>で参考価格です。価格はレクサス販売店が独自に定めていますので、詳しくはレクサス販売店におたずねください。
*価格にはオプション価格が含まれません。*保険料、税金(軽自動車税)、登録料などの諸費用は別途申し受けます。*リサイクル料金が別途必要となります。*北海道地区の価格には車検代等の価格が別途加算されます。 <https://lexus.jp>

レクサス旭川

〒078-8324 旭川市神楽岡14条9丁目1番10号 TEL 0166-60-5601 営業時間 9:30~17:50
定休日 毎週火曜日、第1・3月曜日、祝日

<http://lexus.jp>

ADW SPECIAL TALK



ADW討論会

「持続可能な未来をデザインする」

パネラー／隈 研吾、喜多 俊之
モデレーター／林 千晶

日本を代表する建築家隈研吾氏と、世界的デザイナー喜多俊之氏、Web、ビジネス、空間など多彩なデザインプロジェクトを手がける林千晶氏が、「持続可能な未来をデザインする」をテーマに語り合いました。

日 時 6月17日(木) 15:00~16:20
会 場 オンライン開催
主催／あさひかわ創造都市推進協議会



家具・建築金物 企画・設計・販売

株式会社 野口ハードウェア

www.noguchi-hw.com

■取扱メーカー

SUGATSUNE スガツネ工業

エフエフエフ 株式会社 石黒製作所

HAFELE

本社・営業推進室

東京都台東区竜泉 3-11-3 〒110-0012

TEL 03-3875-1125 FAX 03-3871-0178

草加営業所

埼玉県草加市八幡町 93 〒340-0006

TEL 048-931-9012 FAX 048-932-2555

北海道営業所

北海道旭川市八条通 18 丁目左 6 〒078-8218

TEL 0166-31-4228 FAX 0166-31-4229

甲府営業所

山梨県甲府市国母 4-5-16 〒400-0043

TEL 055-228-2005 FAX 055-228-3470

ADW 討論会
レポート

「持続可能な未来をデザインする」



林 本日はまず、隈さま、喜多さまから「持続可能な未来をデザインする」というテーマでプレゼンテーションをしていただこうと思います。

隈 僕はコロナがある意味、歴史を反転させようとしていると思っています。今までの人類の歴史は、一言で言えば集中へ、都市へ、というふうに一方向のベクトルで流れてきて、その最終形が超高層ビルですが、もうその流れは反転させなければなりません。折り返す先は集中の反対に分散、都市への反対に自然へ。そこに向かってどう折り返していけるかが、まさにこれから

の持続可能な社会を開いていく鍵でしょう。その実現のために、一つはある種のランドスケープ的なデザインへと向かっていくんじゃないかと思っています。

集中と都市へいう流れでデザインされてきたモダンイズムに対して、それと違う流れがどんな形で作れるか、この旭川デザインウィークの中でヒントが見つつかればいいなと思っています。

喜多 この仕事をしてきた50年ぐらいを振り返って、持続可能な未来をデザインする気持ちで取り組んできたものをピックアップします。



Photo: (C) J.C. Carbonne

建築家
隈 研吾
Kengo Kuma

1954年生。1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。慶應義塾大学教授、東京大学教授を経て、現在、東京大学特別教授・名誉教授。国内外で多数のプロジェクトが進行中。国立競技場の設計にも携わった。主な著書に『点・線・面』(岩波書店)、『ひとの住処』(新潮新書)、『負ける建築』(岩波書店)、『自然な建築』、『小さな建築』(岩波新書)、他多数。

デザインプロデューサー
喜多 俊之
Toshiyuki Kita

1969年よりデザイン活動を始め、イタリアやドイツ、日本のメーカーから家具、家電、ロボット、家庭日用品に至るまでのデザインで多くのヒット製品を生む。1995年、2004年から2006年までグッドデザイン賞審査委員長、1999年、2002年、2005年、国際家具コンペティション旭川審査委員長を務める。2017年より2018年まで、経済産業省・特許庁の「デザイン経営」宣言の作成にコアメンバーとして参加。2018年、特許庁長官より「知財功労賞」を受ける。大阪芸術大学教授。

株式会社ソフトワーク 共同創業者 取締役会長
林 千晶
Chiaki Hayashi

早稲田大学商学部、ポストン大学大学院ジャーナリズム学科卒。花王を経て、2000年にソフトワークを起業。Webデザイン、ビジネスデザイン、コミュニティデザイン、空間デザインなど、手がけるプロジェクトは年間200件を超える。グッドデザイン賞審査委員、経済産業省 産業構造審議会製造産業分科会委員「産業競争力とデザインを考える研究会」、森林再生とものづくりを通じて地域産業創出を目指す「株式会社飛驒の森でクマは踊る」取締役会長も務める。

1968年ごろに機械化に伴い廃業を考えている紙漉き職人と出会い、その職人が漉いた紙で照明をデザインしました。ミラノの会社が商品化して当たり、その職人にとでもたくさん仕事が行くようになり、伝統工芸というのは使えば残るといことが大変印象的でした。有田焼や漆、錫などの日本の伝統産業に今の時代をかぶせた製品も作りました。また2000年くらいから丹波篠山の古民家を引き取り、伝統工芸とデザインを一体化したギャラリーにしました。それと並行して、戦後に建てられ、現在何万戸と余っている小さな団地をどうしたら素敵に、快適に暮らせるかというプロジェクトを立ち上げました。狭い空間に職人が作る漆や紙を入れると素敵な住まいになる。この70数年の間、日本は暮らしの現場がずいぶん後回しになりましたが、このコロナの時期、家で素敵に暮らすことの重要性が返ってきています。

素材にも注目、竹を使った家具を手掛けました。そして、北海道が産出する世界一の品質のナラ材を使い、日本独自の構造にできたのが「スプリ」という、リラックスだけでなく仕事もできる椅子です。職人が今後も増えるであろう日本、これからの北海道は、オリジナルを作って世界へ出て行く時代。日本の伝統工芸は世界でも大変な宝物であり、それらをどうデザインし、世界中の人たちの暮らしの中に発信していくことが、いわゆる「持続可能な未来をデザインする」ことになると思います。

林 隈さん、喜多さん共に伝統工芸にしっかり根差しつつ、同時に最先端の技術やテクノロジーと結び付いたらどうなるかという、伝統工芸と最先端の両方を動かしているという感覚がすごく伝わってきました。では早速、今日のテーマである「持続可能な未来をデザインする」ということについて対談をしていきたいと思っています。

まず「持続可能な未来をデザインする」という中の「デザインする」という言葉の領域が広がってきていると。 「産業競争力とデザインを考える研究会」の

中でも議論されたのが、モノのデザインから、モノも含めた体験のデザインへの広がりが世界的な傾向になりつつあるということ。そのことを実際にどう感じていらっしゃるか、そしてご自分がコミットすることに変わったのかということも含めて、長く世界で活躍されているお二人の意見を聞きたいと思います。

喜多 私の場合はプロダクトデザインなんですが、いわゆる形だけじゃなくて、機能性、安全性、コストの問題、時間が経ったらどうなるのか。これが全部デザインの中に入っているんですね。そこに美的なものや思いやり、そしてメンテナンスしやすいといったこともデザインの中にも含まれるのが現代のデザインという言葉だと思います。デザインは常に、人と物との暮らしをバランスよく、どうまとめるのか、まとめ作業のような感じがします。

林 最近起きている変化について、ひとつ質問させていただきます。中国で私が体験したことでもありますが、最初にiPhoneでお店を選んでコーヒーを注文をし、その後でお店に行って、そこでコーヒーを出されて飲む。その時、コーヒー自体はモノではあるけれど、コーヒーを頼むというiPhoneのインターフェイスも含めて、体験になってきている。そして、そのコーヒーの味がどうだったのかというアフターフォローも含めて、体験領域が広がっている感覚はありますか？

喜多 ありますね。これはデザインという中にソフトという産業が必然的に入ってきている。これからAIとかそういうものでもっと広がるし、自然環境も含め、デザインはトータルで精神的なことも含めた言葉になっていく気がします。

林 隈さんにも質問です。最初にコロナが歴史を反転させるとおっしゃっていましたが、反転して超高層ビルというモノからランドスケープ、体験というものに(デザインが)広がっていくと、コミットする領域が変わってくるのでしょうか。

隈 例えば「GAF A」と言われる企業は、いわゆるプラットフォームのデザインにまで踏み込んで成功しました。でも、そのプラットフォームに乗ることが本当に人間を



幸せにするかという多分、プラットフォームをデザインできたひと握りの人間だけが非常に大きな利益を得て、それを利用する我々は結局疎外されているといよいよ強く感じています。日本の地方のように小さな場所で、自分たち独自のプラットフォームを築ければ、それがみんなの望む日本的な新しいデザインの社会という気がしています。

林 日本の小さな場所、旭川もその一つなのかなと思います。では次に、持続可能な未来という点について話を深めていきましょう。お二人が考える理想的な持続可能な生活、あるいは持続可能なその状態というのはどういう状態ですか。

隈 最初に僕がいくつか例を挙げた街より、もっと小さい場所の方が面白いと思います。旭川という街をもう少し分割していけば、その中に面白い場所が見つかるかもしれない。場所を小さくしていくことがこれから持続可能性を見つける鍵だと思っています。そういう点で今、力を入れたのは僕が住んでいる東京の神楽坂。ある種のネットワークや小さい経済みたいなものを作っていくことができれば、自分でハンドリングできる小さな場所の中に自分がコミットできているという実感が持てるんですね。そうすると、プラットフォームの中で踊らされてそこにお金を吸い取られている自分から解放されるような気がするんですね。

林 GDPで売上を世界からどんどん取ってこようという場合だと、より大きくというのが基本でした。だけど、もっと小さい場所では経済性とのバランスをどう取るのか、そこに対して何か答えはありますか。

隈 企業という大きな塊からいうと、これぐらいの利益が上らないとそこでやる意味がないという結論になるけ

れど、自分一人である程度食っていくためには、人間という生物にとってそんな大きなお金は要らないわけですよ。コロナがそういう転換を僕らにもたらした、僕らは生物としての人間に戻るきっかけをもらったような気がしますね。

林 一人というよりは、それが50人とか、多くても200人ぐらいの集落だったらどうでしょう。自分の幸せが何かと思った時に、私は自分自身のことではほとんど満足しません。「大きいものから一人へ」というよりは「私たちのグループ」みたいなものが一つの単位になってくるんじゃないかと思いますが、どうですか？

隈 それはすごく重要なポイント。相手の表情を見ながらコミュニケーションできるのは5、6人です。それを一つの単位に人間関係を考えていくというのがこれからの鍵になる気がしますね。

林 喜多さんは（持続可能な状態について）どうお考えですか？

喜多 やはり、素敵な空や花を見るなど楽しい時間は多い方がいい。しかし、本当に楽しいのは会話なんです。私たちに無意識のうちに、それぞれが選択しながら人と楽しく暮らす感性が太古の昔から備わっています。では会話が起りやすい雰囲気やインテリアをどう作るか、どんな物を置くか、いわゆる価値観ですね。安いからということより、むしろこれが好きだからこれにする。先ほどお話しした古民家は先人たちが長い時間をかけて実現した塊なんです。

林 大衆に向けた大量生産と、伝統工芸の考えを取り入れた一品を両立させるのが、自動的にみんなの中に入って来るような気がどうしてもしないんですが。

喜多 音楽などと一緒で、どう知恵を絞ってプロフェッショナルの人たちがそれに携わっていくか。ユーザーが暮らしの中でどう恩恵を受けるかということをお互いにみんなで考えながら、そのバランスを取るところにデザインという仕事があります。それで、技術者には技術者の領域がある。みんな自分のためだけではなく、みんなのためという気がします。

林 今お二人から出てきていた日本のデザイン、あるいは旭川やもっと小さい場所のデザインっていうことについてもう1回話を聞いてみたいんですが、海外と日本でニーズは異なりますか。

隈 実際にその建築の利用者の欲しいものは世界で共通のように感じます。でもそれを実現する時は、お金を出すクライアントの要求に従って僕は図面を引いていくわけで、どうも日本では世の中のニーズを吸い上げて実現していくためのリーダーシップが欠如している気がします。ディジションがすごく遅いし、前例主義から抜け出せないし、リスクを基本的に負えない。それは企業が大きくなり過ぎたために、リスクを負うことが本当に難しいんだと思います。だから、5〜6人単位で動かしていけるような柔軟な組織を作っていけないと、世の中のニーズを全然くみ取れず、ニーズとずれた商品を作り続けている感じがします。



喜多 イタリアは小さい企業が多いのですが、何か新しいものを作る時には予算やコンセプトを動かせる社長やプロデューサーが関わるのでスピードが速いですね。それから、人の気をくみ取るということに関して暮らしを通じて心得ているのか、企業は小さくても世界に通じる力を持っている場合が多い。日本にも質が高く、世界の人たちが共感できる物を作る力があります。大きくなるのが良いことではなく、質の高い、付加価値やブランド力も持てる物づくり。そこへ戻っていった方がいいんじゃないでしょうか。

林 最後の質問に移ります。実はコロナが世界を変える、あるいは世界でもう一回立ち止まって目指すこと

ろを考えるきっかけになっていると思うんです。確かにオンラインで議論してもコミュニケーションはできる。ただ、議論が終わった時に（コミュニケーションも）終わってしまうので、やはりオンラインとオフラインを違う形で組み合わせないとはいけないと私は思っています。新しい時代に何を心掛けるかをお二人にお聞きしたいです。

隈 海外の建物の竣工検査に行けなくなってもう2年になります。竣工検査は建築家にとって一番重要な儀式なので、検査しないのに完成するとすごい不安ですが、現地にいるお互いに良く分かった担当者がカメラを回して確認することができます。オンラインになってもちゃんと血のつながったコミュニケーションができる人との人間関係を日ごろから培っておくことの重要性が、今回僕自身が手に入れた教訓です。

喜多 コロナの時期を過ぎると、いわゆるリアルとオンラインが両立していくでしょうね。ただし、無駄を伴うリアルに対して、オンラインの場合は無駄をそぎ落としたところで始まっていますから結果的には便利ですが、本質が何なのかというところですね。テクノロジーの発展により、オンラインでもリアルと変わらない映像が見られるようになって、本質が伴うかどうかという点では難しい。そういう面では、リアルの重要性がオンラインに取って代わられることはあり得ないです。今はその始まり。人類がまだまだこれからトライアンドエラーしながら進化していく、自然とテクノロジーのバランスを考えるデザインの時代です。

林 本当に話はまだまだ広がりますが、ここでお話を締めさせていただきます。喜多さんそして隈さん、本当にどうもありがとうございました。

隈 ありがとうございました。

喜多 ありがとうございました。





palemta
ASAHIKAWA



ADW SPECIAL TALK



ADW分科会

「デザインと経営・食・教育」

デザインと経営/ 田子 學

デザインと食/ 楠本 修二郎 デザインと教育/ 石川 俊祐

「経営」「食」「教育」の3つの分科会で、各講師から1時間の話題提供を受けて参加者と意見交換を行いました。経営はデザインマネジメントの第一人者、田子學氏。食は日本にカフェカルチャーを根付かせてきた楠本修二郎氏、教育は「デザイン思考」を日本の企業や教育機関に啓発してきた石川俊祐氏が担当。多くの参加者が学びました。

日 時 6月17日(木) 16:30~18:00

会 場 オンライン開催

主催/あさひかわ創造都市推進協議会

運営/(一社)北海道中小企業家同友会道北あさひかわ支部



エムテド代表取締役/
アートディレクター、デザイナー
田子 學
Manabu Tago

ブランディング、UX、プロダクトデザイン等、一気通貫した新しい価値創造を実践、実装しているデザイナー。TEDxTokyo 2013 デザインスピーカー。GOOD DESIGN AWARD、Red Dot Design Award、iF Design Award、German Design Award、International Design Excellence Awardsなど世界のデザイン賞受賞作品多数。慶応義塾大学大学院 SDM 特別招聘教授、東京造形大学 デザイン学科 特任教授、東京藝術大学 デザイン科 非常勤講師、熊本大学大学院 自然科学研究科 客員教授、公益財団法人日本デザイン振興会 (JDP)「グッドデザイン賞」審査委員など。



カフェ・カンパニー株式会社 代表取締役社長
株式会社グッドイートカンパニー 代表取締役CEO
楠本 修二郎
Shujiro Kusumoto

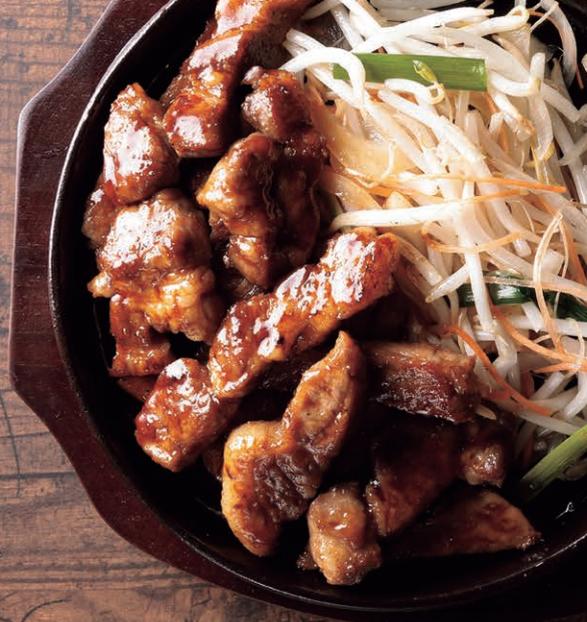
リクルートコスモス、大前研一事務所を経て、2001年カフェ・カンパニーを設立。コミュニティの創造をテーマに約80店舗の企画・運営や地域活性化事業、商業施設プロデュース等を手掛ける。2021年「日本中の愛すべき食を未来につなぐ」ことを目的にグッドイートカンパニーを設立。その他、内閣府クールジャパン等の政府委員や東日本の食の復興を目的とした東の食の会代表理事等も歴任。



KESIKI INC .
Partner, Design / Innovation
石川 俊祐
Shunsuke Ishikawa

日本を代表する「デザイン思考」実践者。茨城県生まれ。ロンドン芸術大学Central St. Martins卒業後、Panasonic Design Companyでプロダクトデザイナーとしてキャリアをスタート。2019年、九法崇雄、内倉潤とともにKESIKI設立。現在、多摩美術大学クリエイティブリーダーシッププログラム特任准教授・プログラムディレクター、CCC、NTT com. aperia、XZなど大企業からスタートアップなど複数社のアドバイザーに従事するほか、数々のセミナー、カンファレンスにてキーノートや講師を務めた実績を持つ。

TEPPAN YAKI ASATO

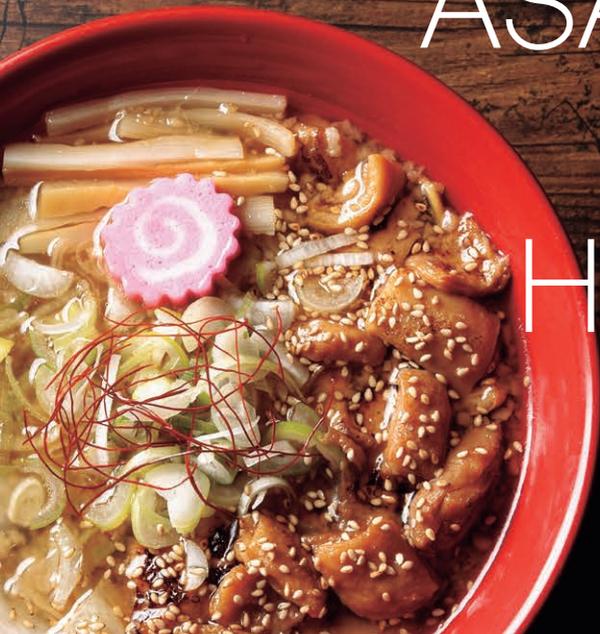


旭 鉄板焼 旭人
Teppan Asato



〒071-1562 北海道上川郡東神楽町東2線16号98番地
旭川空港ターミナルビル2F フードコート そらいち内
TEL.0166-76-5290 teppan-asato.com

ASAHIKAWA SHOUYU HORUMEN



加藤屋 札幌のほらめん さりじょう

夢想

株式会社 米谷産業

〒079-8421 北海道旭川市永山11条2丁目4番7号
TEL.0166-22-7637 FAX.0166-22-7813
http://www.y-yoneya.co.jp



ADW SPECIAL TALK



ADWパネルディスカッション

「旭川で語る日本の未来」

パネラー／楠本 修二郎、林 千晶、長澤 忠徳

モデレーター／梅澤 高明

「旭川で語る日本の未来 一持続可能性、地方、自然、デザイン」をテーマに、ナイトタイムエコノミーを推進し夜間の文化的活動の支援を行う梅澤高明氏、食と生活文化によるコミュニティ形成に取り組む楠本修二郎氏、グローバルに展開するデジタルものづくりカフェ「FabCafe」などのコミュニティやプラットフォームを運営する林千晶氏、そして教育の現場で日本のデザインを世界水準に押し上げてきた長澤忠徳氏が、世界の未来を語り合いました。

日 時 6月18日(金) 10:00~12:00

会 場 オンライン開催

主催／あさひかわ創造都市推進協議会

家具のまち旭川で生まれ、ものづくりの思いを運んで半世紀。

HOKUTO UNYU CO.LTD

これからも私たち北都運輸株式会社は、

旭川家具とともに走り続けます。

すべてはお客様のために。



北都運輸株式会社

北海道旭川市永山12条3丁目1-22 TEL 0166-24-2423 FAX 0166-22-1965

ADWパネル
ディスカッション
レポート

「旭川で語る日本の未来」



梅澤 今日は旭川デザインウィークのトークセッションということで、それぞれのお立場から示唆に富み、かつ刺激的で、最後にはなんとなく全体の方向が見えているような話にまとまると思います。まずは長澤先生からお願いします。

長澤 2019年に武蔵野美術大学は造形構想学部を作りました。これは造形と構想を結び合わせた、右脳と

左脳の融合体のような教育です。産業分類における「お金になる」デザインではなく「頭の中に回りごとをする」デザインを探求しています。旧・日本産業デザイン振興会が長年やってきたデザインによる地域おこしがバブル崩壊で下火になってしまいましたが、今またデザイン、アートの出番だという話になっているわけです。

林 経営の中でデザインを最上流の過程から動かさ

なければいけないということは、30～40年前から言われていました。ただ、世界の環境が変わる中で改めてデザイン経営宣言することに意味があり、デザイン経営の定義自体やそれが指し示すことはずっと変わっていないと思います。

梅澤 環境が変わり、もう1回我々がデザイン経営宣言として持ち出したキーメッセージの1つは、企業が経営レベルでチーフデザインオフィサーを持つということ。

本来はCEO自身が良いユーザーとしてのデザインマインドを持ってほしいが、CEOが無理ならせめてチーフデザインオフィサーがCEOと議論できることにはほしいという提言でした。1980年代に1回ついたことを、新しい名札を付けてもう1回やろうとしているとも言えます。

楠本 かつて(ホンダの)本田宗一郎さんや(ソニーの)井深大さんが未来を変えようとしたように、やはり創業者にはそうしたパワーがあり、それがクリエイティブに連続している。そうしたクリエイティブを今のサラリーマン社会に入れようというのが梅澤さんの話ですね。

長澤 デザインというのは課題解決型という発想法で理解されているけれど、なぜそれを解決しなければいけないか、その課題自体を探し出すところからやらないと根源的なソリューションの見直しにならないでしょう。

梅澤 課題解決のツールをデザインと呼び、課題発見のツールとしてアートがあると整理をするなら、デザインだけではなくてアートも、という話になるし、デザインは課題発見までやるものと定義するなら、別に言い換える必要はないということですね。

長澤 そこではまず、コンヴィヴィアリティ(懇親力)という話題提供をしたい。フォーラムや会議などをやっても、大事なものは終わった後の本音を話せる懇親会なんですよ。

梅澤 コンヴィヴィアリティについて、楠本さんに話を広げていただいてもいいですか。

楠本 僕がカフェを作ったきっかけは、今までの常識にとらわれた社会からリスペクト(Re&Spect)つまり、もう1回ちゃんと見直し、コミュニティを作っていくことが社

会基盤や街のインフラとして必要と感じたことです。ところが、コロナでCommunity Access For Everyone(CAFE)の役割が変わりました。「いつ、誰と、どこで、何を食べるか」ということの連続性の中で、人生をより幸せにデザインすることもできます。その、体験としての「Eat」を大切に考えて生活文化をデザインする「イーティングデザイン」をしていきたいと考えています。

あと5年もすると戦前生まれの方たちから伝承する地方の食文化、飲食店や食品加工の匠の技は担い手がなく消えていく可能性も否めません。これを単純に継承するだけでなく、テクノロジーの力でデータベース化するために、世界中からシェフやデータサイエンティストを招き、シェアリングしていくようなプログラムがすごく面白いんじゃないかと思っています。その一環で、「GOOD EAT CLUB」という食の新しいコミュニティ型ECを運営する「グッドイートカンパニー」という会社を作り、地方のシェフや農家さん、食品加工業者さんと一緒にオリジナル商品を作り始めています。プロデューサーとして全産業を巻き込みながら、食産業をオーケストレーションしていくことを目指しています。オンラインだけではなく、リアルでは東京・代々木上原にカフェ&レストラン併設型の「GOOD EAT CLUB」に出店する店舗が参画できるフードラボを作り、地方の生産者や町工場の人たちを繋いで商品を作り、世界に発信していくという食産業全体の生態系のデザインをしたいと思っています。

梅澤 エンターテインメントもファッションもアートもある意味カフェカンパニーとしては昔からやってきたことのように思いますが、食と他の産業は全部繋がるというテーマに関してどうでしょう。

長澤 イーティングデザインはドイツの大学でやっています。考えてみたら、パティシエが作るものだって、日本料理だって、全部いわゆる美大にあってもいいようなものですが、日本はイーティングとデザインのブランディングをやっても、パッケージと売り方だけ考えていて、なかなか中身の話にかかないんですね。



カフェ・カンパニー株式会社 代表取締役社長
株式会社グッドイートカンパニー 代表取締役CEO

楠本 修二郎 Shujiro Kusumoto



武蔵野美術大学
学長、教授

長澤 忠徳 Tadanori Nagasawa



A.T.カーニー 日本法人会長/
CIC Japan会長

梅澤 高明 Takaaki Umezawa



株式会社ロフトワーク 共同創業者 取締役会長

林 千晶 Chiaki Hayashi

1953年富山市に生まれる。1978年武蔵野美術大学卒業後渡英、1981年大学院大学Royal College of Art 修了(MA, RCA)。帰国後、デザイン研究所を開設、1987年Design Analysis International Limited(ロンドン)設立に参画し日本代表。これまでに民間企業、地方自治体、政府のデザイン顧問や行政広報、オリンピック関連の各種委員、グッドデザイン選定審査員等、デザイン振興活動や国際デザイン情報ネットワーク構築等に尽力。1999年武蔵野美術大学教授、2015年より同大学学長。2016年Royal College of Artよりシニアフェローの称号を授与。

東京大学法学部卒、MIT経営学修士。A.T.カーニー(日本・米国オフィス)で25年にわたり、戦略・イノベーション・都市開発などのテーマで企業を支援。CIC(米ボストン発、世界9都市に展開)で、国内最大規模の都心型スタートアップ拠点「CIC Tokyo」を2020年10月に開設。一橋ICS(大学院国際企業戦略専攻)特任教授。主な著書に「NEXT TOKYO」(共著、日経BP)、「最強のシナリオプランニング」(東洋経済新報社)ほか。

楠本 すべての産業という点で補足させていただくと、フードとテックを完全につなげようというのがアメリカの国家戦略。例えば、ヘルステックやバイオテック、メディテック、ゲノム解析などをおいしさや鮮度に生かす。要は物理学(科学)の世界なんです。一方で、日本には2000年にわたって培われた旨みとか調味の匠の技の蓄積があります。これをテクノロジーであらゆる産業の人たちとコネクしながら、日本の「おいしい」を守り、発展させることに勝ち筋があるんじゃないかな。

梅澤 確かに、フードテックの大きな市場は家電と冷蔵庫、調理がつかうところにあると言われていますね。そこに日本ならではのテクニックを掛け合わせると、さらに効率的なだけでなく、クオリティの高いものにできますね。

林 食の分野はアカデミアの世界に入らないと経営学や美術論みたいに読み解かれないようですが、長澤先生はどう思いますか？

長澤 多分食べ物、歴史や食料学的な観点で研究している人はいるかもしれません。だけど、美大に取り込まなかった理由は、食を彩る什器を物として作っていくところばかりに関心があったからでしょう。

楠本 食のアカデミアの必要性は本当に重要で、日本に限らず「食」はあらゆるテクノロジーと連結していくことになります。もう一つは国力を作る、あるいは国家ブランディングの観点も「食」にはあると思うんです。例えば、美食の街として有名なサン・セバスチャンではカリナリー・センターを作り、世界のシェフをそこで集めてコラボ

レーションを始めてイニシアチブをとっています。コペンハーゲンの「北欧ガストロノミー10か条」も発信力が高い。そういう発想で和食もアジアやパンパシフィックなどと融合できる、というふうに先に発信するべき。日本ブランディングの意味合いからも、「食」は歴史的文獻として未来に向けて大切に保護されるようになってくると思います。

梅澤 観光の観点から考えても圧倒的に一番のコンテンツは食です。世界中を旅してきたリテラシーの高いお客さんを受け入れるにはクオリティは必要条件であり、日本の場合は地域ごとで食もだいぶ違うから、各地域が持っている一番良い食を上手にプロデュースして体験してもらえるようにすれば、毎日違う場所に行くと違うものを食べることで極上の観光体験にもなる。そのためにも日本の食を体系的にブランディングして、日本の食の技術を未来に繋げて進化をさせていく。そして地域ごとの食文化をさらに独自発展させることを国を挙げてやりたいと思うようになりました。

楠本 これは産官学のような連携を取らないと、本当にもったいない分野だと思うんですね。

梅澤 だからこそ大学院を作りたいという話ですね。

林 「おいしい」を作ることは別に、長い時間をかけてそれがどう変化しているのか研究するのは別の人間が必要なんです。アカデミアの世界とビジネスの世界が合わさって初めて、フードや物ではなくて、どういふに食べるのかという体験になる。コロナの時代に、フードとイートの領域にも変化が起きています。そういう革新をどんどん追及するのは楠本さん。歴史の中での価値をアカデミックに追及するのは長澤さん。このパネルディスカッションはそういうことを引き出す意味があったと思います。

楠本 歴史的背景と人類学、地政学といったアプローチから、なぜ日本食という独特の食文化が生まれたのか、その食文化は世界にどういふ役割を果たせるのかという体系論が絶対に必要なんです。

長澤 では、なぜ食器を作っているのに(食について学んでいないのか)。刺身の切り方、金箔入り水菓子も



僕らからすればデザイン。プラスチックでやれば美大の課題になるのに食べ物でやったら課題にならないのはおかしいですね。

梅澤 食べ方が課題にならないのもおかしいけれど、調理が課題になっていないのもおかしい。

楠本 この10年間でありとあらゆる有識者たちが(海外から)日本に入り、紀伊半島や東北に滞在し、徹底的に分析して日本の良いものを学術的にまとめて、それぞれの国で論文として発表しています。日本の人たちは「日本の食ってすごいだろう」と留飲を下げているが、それを育てようとしていないとも感じています。

長澤 なぜ日本人は自らの価値を発見できない民族なんですかね。

林 林業の人たちもそうで、自分たちの仕事は古い産業で、全然新しいことなんて起こらないと思っています。だけど、外から見ると「林業って格好良い」というのが私たちの視点。私がやっているヒダクマでは、飛驒の広葉樹をどうやって使ってもらうかをミッションに実験しています。これまで使われなかった曲がった木(広葉樹)を3Dスキャンしてコンピューターの中に入れ、専門の人に強度計算してもらい、形を決める。そして、木材加工する人がホロレンズをかぶって切る、という具合にリアルとバーチャルが融合しているのです。木材を加工する人たちが今まで考えなかった曲がり木や小径木等の加工で、ヒダクマは今1億超の木材メーカーになっています。海外の木材を研究する人たちにもすごく受けているのに、日本の大学はどこも来ません。きちんと歴史を培っていても、それを革新する、つまりお金を出す

ところうまいってないのが日本の弱さでしょう。

梅澤 革新に投資しないだけでなく、学術もそこに目がいってないということですね。

林 デザインを使って木工的なものを作ろうと学部作りから動き始めている大学もあり、ロフトワークも関わっています。旭川は家具が有名だけど、例えば人が団らんをし、イーティングするために使うテーブルをとっても、今求められているイーティングの形によって在り方も変わってくる。そういう意味で、本当にいろいろな産業が関わって来ると思います。それから、日常を共有する形がこれからの日本で増えていく中で、いわゆる食べ物も今までの古典から、共有する流れになってくるんじゃないかなと思うのですが。

楠本 サン・セバスチャンでは三ツ星シェフを中心に美食アカデミーでレシピを共有していたんですね。すると、小さな街だからこそ、すぐに伝播してみんなのレベルが上がって、世界からお客さんが集まってきたというわけです。そうやってシェアをしてリーダーシップをとった方が結果的に良いという経済的な経験を作って示すしかないと思います。

長澤 今、地域でいろいろな大学を作る動きがありますが、海外に出てオピニオンリーダーになった人からばかり世界の話聞く時代は、いい加減にやめた方がいいと感じます。日本人は欧米に比べて世界にネットワークを持っている人数が格段に少ない。そう考えると、バイリンガルである部分もすごく重要になってきて、通訳を介さなければ話が分からないといった言葉の壁を乗り越えなきゃいけないというところに日本は差し掛かっている気がする。だからもっと国際人を育てたいと思うし、外国に行った人はもっと日本に帰って来て、世界と行き来してほしいと本当に思います。

楠本 地球規模の懇親力みたいなものですね。そういう意味ではナンバーバル(非言語)であっても「おいしい」とか「そのテーブルかっこいい」とか、そういうのってすごく懇親力になりますよね。

梅澤 僕も日本最大のシェアオフィスの主になり、居心





地が良いので結局いつもこの共有スペースの中で仕事をしているから、入居してきたいいろいろな人と「Hi!」みたい日々カジュアルに繋がって、その感覚がまた気持ち良く、だから毎日行きたいな感じになってます。地域とデザインと起業、この3つをどう繋げていくか、今日これだけはちゃんと議論したいと思います。楠本さん、多分いろいろその流れでやろうとされていると思うんですけど。

楠本 言葉のデザインはすごく大事です。ずっと続いている店を継続する際に、新しいブランド価値やビジネスモデルに変えることは事業承継と呼ばれていた領域ですが、それも「起業」に言葉を変えたい。担い手の立ち位置の中で、魅力的に事業継承をやっていく必要があります。(熊本の味千ラーメンを例に挙げ)香港の投資家が海外にダイレクトにブランディングし、自分は地元を根を張って着実にやっていくという、ローカルとグローバルの2つの目線で結果うまくいった事例です。このように、ただ、「担い手不足だから跡を継いでくれ」じゃなくて、「あなたが継ぐことによって海外にもどんどん展開していく道筋になるね」というような地方の創業の仕方を促したいと思っています。

また、地方を観光の視点だけで語ると、来てもらう人数の議論になり、地方の良いところがどんどん消されるという悪循環があり得るので、イタリアのアルベルゴ・ディフーズのように「作らない観光」がすごく大事です。日本では日本人向けの歴史の紐解きはされていますが、歴史に基づいたプロダクトがあまりありません。例えば、奈良県の宇陀というまちは約1400年前から推古天皇に葉

草を届けていたことは全然知られていません。日本の地方にはそれぞれの特徴や歴史が絶対にある。今、そういったことを現代に向けたプロダクトにし、ブランド価値に変えていくプロジェクトをいくつか企画しています。

梅澤 今僕が文化観光をやっているつくづく思うのは、文化を見に来るだけの観光客は正直あんまりいない。そこにアーティストインレジデンスで来てくれて、さらに言えばそこに居付いてくれて、伝統工芸の継承者にもなってくれるような人の予備軍を作りたい。それから文化のパトロンになってくれる富裕層を世界から呼び込む。この2つをやりたいと思っています。それは食や工芸、さまざまな地域の文化資源に共通して言えることだと思います。

楠本 デスティネーション(目的地)という言葉の意味がちよっと変わるんじゃないかと思っています。ラグジュアリー層向けのアマン(ホテル)も本当に素晴らしいけれど、この地球上でどこかは自分の居場所として存在してほしいというデスティネーションがグローバル規模で求められていくと思います。ただ歴史を紹介するのではなく、アートの源流になるものが日本の地方にいっぱいあり、そこをブランド価値にしていこうという活動は絶対勝ち筋だと思っんです。

梅澤 長澤さん、やっぱりそういう活動していくにはアカデミアの出番は大きいと思っんです。

長澤 今「クムルス」というクリエイティブな美大の世界連合体があって、300大学(80万人以上の学生)が教育体系の見直しという大きなスローガンを挙げて、デザインカルチャーが変わっていくんだということを議論しています。ただ、1つ問題なのは、教える対象であるデジタルネイティブな子たちに、違った環境で育った先生が持っている問題意識を課題として設定して説くには、基本的に同じ言語で分かり合うわけがない部分があり、これを考えると大学における守らなきゃいけないものと乗り越えなきゃいけないものとの組み合わせは非常に重要です。

北海道と同規模経済と人口のフィンランドは国なのに、

なぜ北海道は自立できないのかという議論がかつて北海道の産業クラスター構想でありました。昨日隈さんが話したように、小さくなっていくことは本当に大事で、これから考える旭川や北海道のいろいろな産業に求められるのは、大きさではなくチャレンジしやすい環境。北海道はフロンティアでパイオニア精神があり、ぜひ今からでもフィンランドのように国になるくらいの気概を持ってもらって構わないし、そういう意味ではやっぱり北海道は(かつてエアドッグ掲げた)「試される大地〜一歩踏み出せばきっと何かが変わる〜」、という精神は守っておい



てほしいというのが僕から旭川へのメッセージです。

林 コンヴィヴィアリティってというのは、私が言う「共助」にも近いことなんだと思います。このパネルディスカッションが終わり「じゃありがとうございました」と言ったら瞬間で終わってしまう。懇親会がないのが本当に残念。やっぱり「旭川デザインウィーク」を含め、こういうリアルな会議って、終わったあとの懇親会のためにもあるんだと思います。今回はパネルディスカッションという枠組みですが、近いうちにコンヴィヴィアリティで集まってお酒を飲み、食べ、イーティングデザインを考えたいですね。

梅澤 はい、ありがとうございます。僕が特に気になったキーワードをいくつかサマリーしてラップアップしたいと思っ

ます。1つ目は冒頭からみなさんおっしゃっていた、食をはじめとする地域の資源は宝であり、量よりも質を目指すべきであり、地域から直接世界に発信をすべきだという話。それから2つ目、これは林さんが特に強調されていた「伝統と革新」じゃなくて「革新する伝統」、それから楠本さんがおっしゃっていた事業承継を通じた革新も起業である。これを実現する上でやっぱりデザインの役目はとても大きいですね。それを体現しているのがヒダクマだと思います。3つ目、価値を可視化して世界に発信しようすると、研究機関、高等教育機関は本当に大事。ムサビも次の形を作り始められているということだし、ヒダクマも投資をして研究開発をするために会社を始められたという話だったし、グッドイートカンパニーが作るフードラボもまさに研究開発機関だし、実はCICも職・住・遊・学という街づくりの4つのテーマがある中で、職と学の融合視点と自己定義をしています。なので、いろいろなところからいろいろな形でこの研究開発を行い、価値を可視化し、世界に発信をし、そうすることを通じて世界からタレントを引き寄せるようなダイナミックな動きを我々みんなでも頑張っていきたい。そして、それぞれの学びを共有し、またブレインストーミングをして次のアイデアを生み出すためには、本当にコンヴィヴィアリティが大事なので、ぜひ実現しましょう。ありがとうございました。

一同 ありがとうございます。





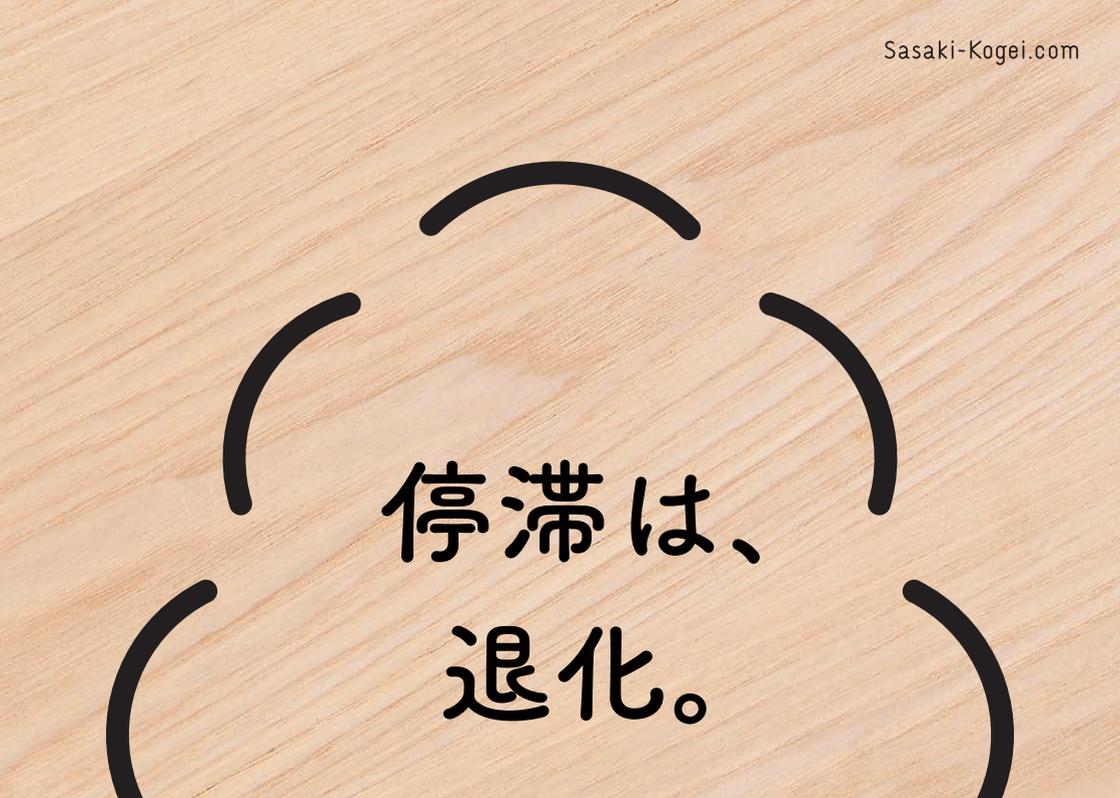
「東神楽の種と実セレクト」は東神楽町が最高品質と公認したブランドです。

TANE to MI
SELECT
HIGASHI-KAGURA

町の様々な魅力を「種」や「実」としてお届けし、皆様の生活に彩りを添える「花」となるような活動を進めていきます。



北海道 東神楽町
北海道 上川郡東神楽町南1条西1丁目3-2
Tel.0166-83-2111
[東神楽町役場]
<https://www.town.higashikagura.lg.jp>
[東神楽の種と実セレクト]
<https://www.town.higashikagura.lg.jp/tanetomi/>



停滞は、
退化。

既存製品、
全部変えます。

ササキ工芸の
新プロジェクト進行中



デザイン都市ってなんだろう？

2019年10月、旭川市はユネスコ創造都市ネットワークのデザイン分野で加盟を認定されました。それが意味することや今後の展望について旭川デザインウィークが果たす役割をまじえキーパーソンのおふたりにお聞きしました。

ユネスコ創造都市ネットワークとは



旭川市は、家具やクラフトなどの産業分野を中心としたデザイン活動が地域の強みを作り上げてきた実績が国際的に評価され、2019年10月31日、「ユネスコ創造都市ネットワーク」のデザイン分野に加盟認定されました。「あさひかわ創造都市推進協議会」は、このネットワークを活かし、デザイン力で自然や豊富な地域資源の価値を高め、自然や人を大切に魅力で持続可能な地域社会の実現を目指しています。



(左) 林 朋子 Tomoko Hayashi

北海道別海町生まれ。旭川医科大学第三内科、小児科にて研修。内科医の夫と、はやし内科胃腸科小児科医院を開業し現在に至る。小児科専門医。総合内科専門医。「子どもの心」相談医。2019年より文部科学省内の日本ユネスコ国内委員会委員、旭川ユネスコ協会会長。

(右) 渡辺 直行 Naoyuki Watanabe

1951年、札幌市生まれ。東京造形大卒業後、インテリアセンター(カンディハウスの前身)入社。米国の現地法人総支配人、カンディハウス社長、会長を経て令和3年3月より相談役。平成28年北海道産業貢献賞。あさひかわ創造都市推進協議会会長。



IFDA2017 「IFIインテリア宣言」を承認する調印式の様子

創造都市ネットワークに加盟する意味

渡辺 2017年のIFDA(国際家具デザインフェア旭川)10回記念大会で、旭川市が「IFIインテリア宣言」書の調印式を行いました。宣言はインテリアデザインに関する取り組みが先進的な都市に認められるもので、これがきっかけとなって、次はユネスコの創造都市ネットワークのデザイン都市を目指してはどうか、という話になったんです。

林 昨年来の新型コロナウイルスのパンデミックにより、私たちはお互いを理解し、協力し合わなければコロナ危機を乗り越えられないことを知りました。実は、このよう

な事態を世界は二度の大戦で経験しています。異なる価値観を持つ相手への無理解や不信が争いを生み、結果として人間の尊厳を奪うことを目の当たりにしたのです。国連機関ユネスコは、戦争がなく、人々が安心して暮らせる世界を確立するために1945年に設立されました。教育・科学・文化の知的・精神的連帯をもって人類の平和と福祉に貢献し、持続可能な地球をつくることを目的に私たちは活動しています。

渡辺 持続可能な世界を目指す上では、日本がかつて育んできた文化を見直すべきではないかと思うんですね。島国の中で長年培養された伝統的な技術や美意識は、世界的に見ても優れていたのだけれど、明治維新以降は、欧米的価値観の浸透や科学技術の発

展の中で日本的な良さが失われてしまった。しかし、物質的に豊かになる一方で世界的な問題が起きて来たわけで、科学力という側面ではなくて、情緒的文化的な側面から新しい価値観を創り直そうという時代になっていると感じます。

「つなぐ」デザインの役割

林 グローバルに人や物が交流する時代になったことで、今大事にしたいのは多様性ですよ。それぞれの地域が持つ価値観、たからものを尊重して、相手の文化や考え方、行動を理解することが、無理解によって不利益を被ることのない社会の実現につながるはずですよ。

地域の独自性を保つには技術や伝統の継承も重要になってきますから、人と人をつなぐ場面、学びの場を提供していくことが大事で、そこに私たち市民の役割があるのかなと思います。



技能五輪国際大会 家具部門歴代出場者。同大会での旭川家具関係者の活躍は技術をつなぐ学びの場が地域に根付いている証だ

渡辺 デザインには、人と人をつなげる「言葉」のような役割があります。宣伝広告や企業のブランディングなどがそうですね。20世紀は、自然は無限という前提の下、新しい価値を創ったり伝えることに終始して、それが地球温暖化のような問題を引き起こしてしまいました。これからのデザインは、人間と自然、社会と自然が繋がっているという認識に立った上で行動を促す役割が求められます。そんな観点からすると、東京やNYのような大都市より、むしろ旭川のような自然に接したところのほうが、デザインのフィールドとして向いている気がしますね。

林 「つなぐ」言語的な役割ということでしょう、私たち医師のように、専門家同士が理解できる言語は存在するんですが、そのような言語は一般人には不向きなんですよね。つながるためには、言葉や文化、世代の壁も超えて、誰も取り残さないような学びの場は本当に必要だなと思いますし、そういう場に旭川デザインウィークがなってもらえればと期待しています。

旭川デザインウィーク成功のカギは

渡辺 旭川デザインウィークは、旭川家具の見本市としてずっと継続してきた「旭川家具産地展」をリニュー

アルして2015年から始めたイベントなんです。家具だけこのイベントに留めず、全市的にあるいは周辺自治体さんまでも巻き込む形でデザインの力を発信していくと今動いているところです。

林 暮らしのデザイン、都市のデザイン、建物のデザイン、どのようなものであっても私たち一般市民からすると、デザインというものはハードルが高い部分があるんですよね。

渡辺 いろんなクリエイターを呼んで先端的な話も語ってもらうわけですが、もう一方で市民レベルで、子どもさんたちを対象にワークショップなどもたくさん計画しています。小さいころからデザインって面白いとか役に立ちそうだとか、デザインに対する思い入れが育まれないと、将来に向かって発展しないんですね。だから、あまり堅苦しくなく楽しさ、美しさを感じてもらえるイベントにしたいんです。

林 旭川市の3人に1人はシニアですから、100歳までの人生プランを考えた時にもっとしあわせ暮らしがあるんだと思えるような気づきの場、そして大切なものを守るこの場になればいいかなと。そのためのきっかけの期間になって、それが日々の暮らしに生かされればデザインが身近に感じられるまちななるんじゃないかと思っています。

「旭川」という地域の力

渡辺 せっかく旭川がデザイン都市になったわけですから、大都市的に経済活動としてデザインをとらえるのではなくて、デザインで地域のしあわせを考える、みたいなおことにつながっていけばいいなと思っているんですよね。



立派な街並みを作ろうということだけではなく、できるだけ多くの人をしあわせにすることにデザインが働かないといけない。もっと自然とまぐ付き合いながら自分たちもしあわせにできるような、そういう世界を旭川から発信できればいいですね。

林 旭川には30万人を超える人口と、国立公園級の豊かな自然、移ろいのはっきりした四季、空港など交通アクセスの利便性、それらが全部整っています。中核都市としての文化的なものも身近にあって、産業のエキスパートだけではなくホテルの達人みたいな人もいます。すでにたからものはたくさん持っているのだけれど、そのすごさに市民が気づいていなかったりするので、みんなで「これを持続可能な形で使っていきましょう」と志をひとつにできれば、すごく面白いものが生まれるんじゃないかと感じています。



渡辺 しあわせって極めて主観的なものなんですね。現代生活は便利になった分、五感を働かせなくて済むようになり人が本来持っているセンサーが麻痺してしまった。そのセンサーを覚醒させて脳を活性化し、しあわせを感じる力を鍛えるには、自然に近いことはプラスに働きます。そこから今日のデザインが開かれる気がするんですよね。

旭川デザインウィークに期待すること

林 しあわせというのは瞬間的なものではなく、継続してほしいものですね。ですから、イベントも単発でやるのではなく継続して、今回やることと次回やることとの間に



旭川デザインウィーク2019インスタレーション

つながりを持ちつつ、工夫され発展していくようにそれぞれが取り組めるような在り方というのを願います。

渡辺 今、地方創生というのがよく言われていますけれども、人口の流出を止めようとか、インバウンドをたくさん誘致して観光産業を活性化させようとか、それは実現可能な戦略にはなかなかならないわけですよ。旭川は、デザインでしあわせな地域を目指していこう、というきっかけになればいいと思っています。旭川デザインウィークは、その上でいろんなことが起こるプラットフォームであり、そういう場を作ることに意味があるのではないのでしょうか。

林 大事なのは、とにかく「参加して楽しい」という体験の繰り返しです。その積み重ねが人の心を動かすムーブメントになります。自分が変わると仲間も変われるという化学反応を期待したいです。今年の旭川デザインウィークには市民企画型のイベントもあります。開催には困難もあるでしょうが、安全な形で市民の皆さんが参加し、自分ごととして、旭川のまちづくり、人づくりについて一緒に考えたいです。それはユネスコが目指す持続可能な世界につながります。

4月8日(木) カンディハウス旭川にて



カナディアン・メープルをお届けします。



北海道東川町の
「ふるさと株主」
という新しい選択。



ひがしかわ株主制度

東川町では、ふるさと納税を「ひがしかわ株主制度」と呼び、町への寄附者を「株主」と位置づけ、まちづくりに参加する制度として運用しています。米や水、家具・クラフト等、多彩な返礼品だけでなく、町内施設の無料優待も受けることが可能です。



「椅子の日」企画実施中!

旭川家具産地の東川町では、4月14日を『椅子の日』と制定しました。制定・宣言を記念して、町内の家具・木工の事業者がそれぞれお勧めする、椅子・ツールを「自慢の椅子」「ワーク&ライフチェア」「子どもの椅子」として3つの特集で展開しています。



お問い合わせ：東川スタイル課

〒071-1426 北海道上川郡東川町北町1丁目1番2号
TEL: 0166-73-4666 / FAX: 0166-82-2333



Quebec Wood
Export Bureau

ケベック木材製品輸出振興会

詳しい情報・企業紹介・資料請求は

ケベック州政府在日事務所（担当：高橋量一）
Tel.03-5733-4001 Fax.03-5472-6721
E-mail: ryoichi.takahashi@mri.gov.qc.ca



Canada Wood
Produits de bois canadien

Québec

Canada

ODA COLLECTION



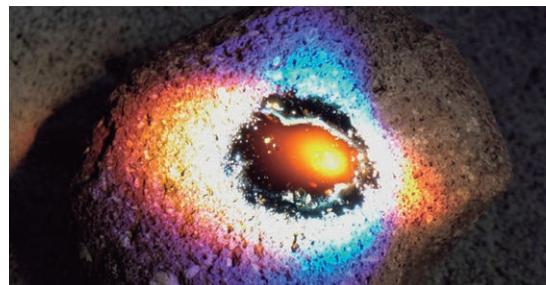
織田コレクション特別展 「マスターピース・オブ・チェアーズ展」

ADWiに合わせた織田コレクションの特別展示です。織田コレクションは、椅子研究家の織田憲嗣氏が長年かけて収集、研究してきた20世紀のすぐれたデザインの家具と日用品群です。この特別展では、ほとんど知られていないプロトタイプやカスタムモデル、限定生産されたモデルなど希少性の高い椅子を集めて展示。世界に数点しか存在しないもの、ここで見られない椅子を多くの来場者にご覧いただきました。

会 期 6月16日(水)～9月26日(日)
(6月16日(水)～30日(水)ADW特別展示期間)
会 場 東川町複合交流施設せんとびゅあⅠ
ギャラリー1・2 (10:00～17:00)
(ギャラリー2は6月16日(水)～6月30日(水)まで)
東川町複合交流施設せんとびゅあⅡ
家具アーカイブスコーナー (9:00～21:00)
(北海道上川郡東川町北町1丁目1番1号)

監修/椅子研究家 織田 憲嗣 主催/写真文化首都「写真の町」東川町
協力/織田コレクション協会、旭川家具工業協同組合

ARTIST IN RESIDENCE



アーティストインレジデンス あさひかわ

「アーティストインレジデンス」とは、国内外からアーティストを一定期間招へいして、滞在中の活動を支援する事業です。旭川では株式会社野村設計と本社取締役野村バターン和孝の呼びかけによって2020年8月に発足しました。今回はADWiに合わせたスペシャルコンテンツとして、アーティスト4名を招へい。地域でのリサーチや市民との共同制作をしました。

AIRA 2021 summer [アーティスト/保良 雄(現代美術家)]

会 期 7月2日(金)～7月4日(日)
会 場 野村設計倉庫
(北海道旭川市宮下通19丁目)

[アーティスト/秦 雅則(写真家)]

会 期 8月4日(水)、5日(木)/秦 雅則 写真展
8月8日(日)、9日(月)/買物公園写真展
会 場 旧Tomipase(北海道旭川市6条8丁目買物公園)

ケビン・マキューカルテット 野外LIVE [アーティスト/ケビン・マキュー(音楽家)]

日 程 8月15日(日)
会 場 宮越屋珈琲前
(北海道旭川市3条通7丁目 ファッションビル オクノ 1F)

大雪な石を探す。[アーティスト/千葉 麻十佳(現代美術家)]

会 期 8月20日(金)～22日(日)
会 場 野村設計倉庫 跡地
(北海道旭川市宮下通19丁目)

十木十色の個性
COMBINING HOKKAIDO'S NATURAL BEAUTY WITH ELEGANT DESIGN.

三津橋産業株式会社
http://www.lmcmitsuhashi.co.jp/

土別本社 〒095-0021 土別市西1条21丁目471番地 TEL (0165)-23-5271
旭川支店 〒079-8452 旭川市永山北2条9丁目7番地2号 TEL (0166)-47-1461
大阪支店 〒559-0026 大阪市住之江区平林北2丁目9-51 TEL (06)-6683-8181
札幌支店 〒061-3262 石狩市花川東2条1丁目1番地 TEL (0133)-74-2311
九州営業所 〒840-2104 佐賀市諸富町大字徳富201-5 TEL (0952)-47-9366

旭川家具産地東川町
よい いす
4.14
東川町椅子の日
4月14日は 椅子の日

家具&クラフト産業をもっと元気に、魅力的に。
旭川家具産地 東川町では、
4月14日を「椅子の日」とし制定しました。

東川町「椅子の日」制定、建築家・隈研吾氏との連携プロジェクト始動。

隈 研吾 × 旭川家具 × 東川町

project 1 「隈研吾&東川町」
KAGU デザインコンペ開催

project 2 隈研吾北海道事務所&
シェアオフィスの整備
デザイン塾の開設

project 3 隈研吾氏
デザイン家具の製品化

project 4 デザインミュージアム
構想の推進

KIMINOISU PROJECT



君の椅子プロジェクト

「新しい命」の誕生を祝い、居場所の象徴としての椅子を贈り届けて今年で16年目を迎えました。参加自治体として胆振東部地震で被災した北海道厚真町が新たに参加。東日本大震災の日に被災3県で生まれた子どもたちに贈った「希望の君の椅子」を加えて17脚目となる最新モデルは、北欧と北海道というふたつの文化を融合させたデザインです。地元旭川家具の職人たちが製作した、ここ数年のモデルを展示しました。

会期 9月15日(水)～19日(日)
10:00～17:00
会場 旭川デザインセンター
(北海道旭川市永山2条10丁目1-35)

ATCBB & DESIGN



理美容とデザイン

旭川理容美容専門学校特別講師MAYUによる、ボディデザイン指導。「健康と美しさ」を大きなテーマとし、今後のヘルスデザインから自分自身になりたいと思う体にしていくボディデザインを、ヨガの技術をまじえながら伝えました。日を追うごとに健康で美しくなるためのポイントも紹介。9月は第2回「小学生対象ビューティーデザイン・ワークショップ」、10月は第3回「ヘアメイクファッションショー」、11月には第4回「ヘアメイクデザインセミナー」を開催しました。

主催/旭川理容美容専門学校

ヘルス&ボディデザイン講座

日程 6月27日(日)
会場 旭川理容美容専門学校 講堂
(北海道旭川市4条通12丁目)

キッズオープンスクール

日程 9月18日(土)
会場 旭川理容美容専門学校 講堂
(北海道旭川市4条通12丁目)

ヘアメイクファッションショー (ATCBB FESTIVAL 2021)

日程 10月17日(日)
会場 旭川市民文化会館大ホール(北海道旭川市7条通9丁目)

一般向けヘアメイクデザインセミナー

日程 11月21日(日)
会場 旭川理容美容専門学校 講堂
(北海道旭川市4条通12丁目)

www.sakuta-chikusan.co.jp

道北道東産・北海道原皮
寒暖差50℃の地より皆様の元へ

大正六年創業

sakuta

株式会社 作田畜産

〒078-8338 北海道旭川市南8条通22丁目1967番地1
TEL 0166-34-4009 FAX 0166-31-9930
uketsuke@sakuta-chikusan.co.jp

◎ 地域未来牽引企業



Simple is Best.

「農業」の明るい未来のために、
皆さまのアグリパートナーとして
お役に立てることを望みます。

株式会社 **エフ・イー**
Fe SYSTEM WORKS CO., LTD.

〒078-8273 北海道旭川市工業団地3条2丁目2番27号
Tel.0166-36-4501 Fax.0166-36-4502
【九州営業所】〒880-0045 宮崎県宮崎市大字大瀬町90番地2
www.fesystem.co.jp



まちなかキャンパス 2021

ユネスコデザイン創造都市あさひかわを 考えよう

高校生や大学生が子どもを対象としたSDGsイベントをオンラインに変更して開催。SDGsの理解を深め、ユネスコ創造都市を知り、旭川が有していた価値に気づき、未来において旭川でSDGsを実践できる、デザインについて考えられる。そして、自ら学ぼうとする意欲のある子どもに向け、地域のお兄さん、お姉さんが優しく語りかけます。

日 時 9月18日(土)・19日(日)
10:00~17:00
会 場 オンライン配信(2022年6月まで)

WEBサイト



主催/まちなかキャンパス実行委員会、
旭川デザインウィーク2021実行委員会
後援/日本ユネスコ国内委員会、旭川市
協力/旭川工業高等専門学校、はやし内科胃腸科小児科医院、
北海道インバーティブ・デザイン経営研究協議会(HIDERA)、
(有)イマージュ、うぶごえ(株)、(株)コンピューター・ビジネス



ユネスコ創造都市になった旭川

今年からはじめる新規のイベントです。2019年10月、旭川市は国連教育文化機関(UNESCO)の創造都市ネットワークにデザイン分野で加盟を認められました。創造都市ネットワークは文化の力で街と経済と人々の心を豊かにすることによってSDGsの実現を図る、246の都市からなる枠組みです。このうちデザイン分野は世界に40都市。ベルリン、バンコク、北京、上海、シンガポールなど世界の首都級の都市が名前を連ねています。旭川は何をすればいいのでしょうか？

若い世代による互学互修

SDGsの目標は2030年です。その頃大人になり、この街で生活する子どもたちに、少し年上のお兄さん、お姉さんたちが教えて自らも学ぶ。旭川の都心の買物公園に、市内の高校、大学等がテントを立て、子どもたちとふれあいながら、旭川の未来をともに考えます。※当初予定

【ロゴコンセプト】

「学び」を象徴するノートや本のモチーフと、旭川のまちなかを「学びの場」とするイベントであることから場所を示すフラッグのモチーフを組み合わせたシンボルマークです。この「まちなかキャンパス」のフラッグを目印に、旭川市民が集まるイメージで制作しました。

制作/旭川クリエイターズクラブ

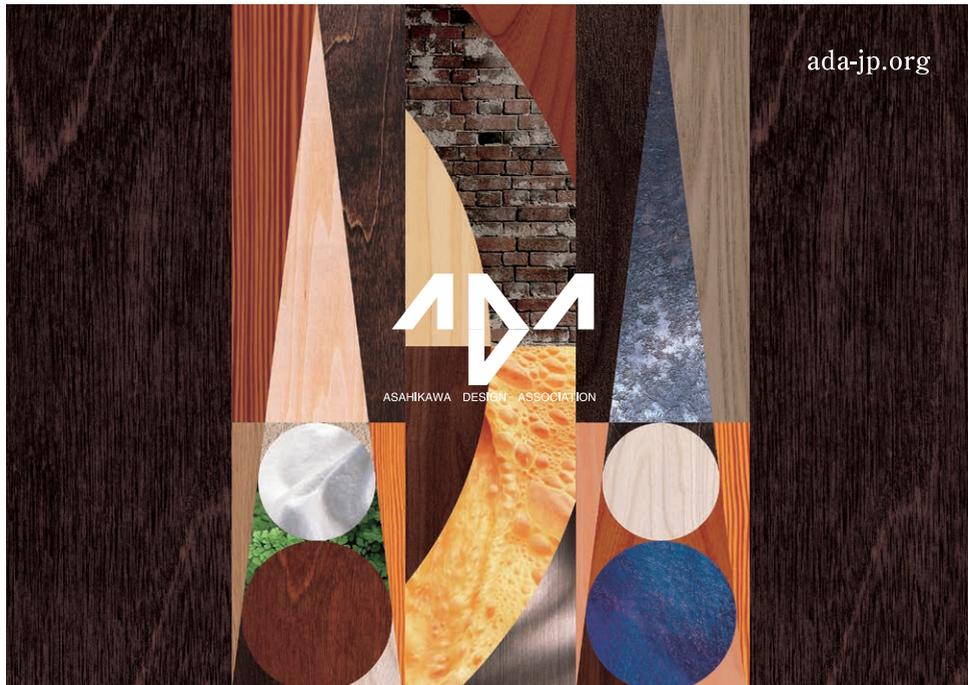
デザイナー 渡辺 由樹(デザイン事務所 カギカッコ)

【参加高校】

旭川工業高等専門学校、旭川大学高等学校、旭川龍谷高等学校(ユネスコスクール)、北海道旭川北高等学校、北海道旭川工業高等学校、北海道旭川高等支援学校、北海道旭川商業高等学校、北海道旭川農業高等学校、北海道旭川東高等学校

【参加団体】

旭川クリエイターズクラブ、旭川市、旭川信用金庫、旭川大学 江口ゼミナール、旭川デザイン協議会、旭川ユネスコ協会、ガールスカウト旭川地区協議会、カムイ大雪バリアフリー研究所、北海道教育大学 旭川校美術分野デザインゼミOB・OG、北海道立北の森づくり専門学院北森カレッジ、まちなか賑わいSTREET、ユネスコ創造都市ネットワークデザイン都市17都市



多様化する時代のニーズに応えるIT企業集団

aiic 旭川情報産業事業協同組合

地域に「貢献・密着・活性化」

第1回「隈研吾 & 東川町」
KAGUデザインコンペ
FIRST ANNUAL
KENGO KUMA & HIGASHIKAWA
KAGU DESIGN COMPETITION

第1回「隈研吾&東川町」 KAGUデザインコンペ表彰式

北海道「写真の町」東川町は、建築から地域をデザインする建築家、隈研吾氏とともに、建築と家具が紡ぐ豊かな暮らしの発信を目指す新たな取り組みをスタートさせました。今回は国内はもとより世界各国でデザインに関心を寄せている学生を対象に、「木の椅子」をテーマに公募。36の国・地域より834件の応募がありました。6月26日のWeb審査会で決定した決定した各賞について、国内の入選者を招聘して表彰式を執り行いました。

日 時 9月20日(月・祝)
13:30~15:00
会 場 東川町複合交流施設せんとびゅあ1講堂
(北海道上川郡東川町北町1丁目1番1号)
主催 / 「隈研吾&東川町」KAGUデザインコンペ実行委員会



夢を拓く:女子中高生のための キャリアサポート茶話会

女子中高生が、自身の将来の夢を実現するためにはどのようにキャリアデザインして行けば良いのか。メンターとして各分野で活躍しているロールモデルのお話を通じて、自身の可能性をエンパワーメントしてもらう茶話会です。

日 程 未定
講 師 人材育成トレーナー 橋本 香織さん
(株)香縁 代表取締役社長・国際ソロプチミスト旭川会員)
対 象 当クラブがサポートする
“S”クラブ3校の生徒約30名
(旭川実業高等学校・旭川農業高等学校・旭川明成高等学校)
主催 / 国際ソロプチミスト旭川

一般社団法人 旭川銀行協会

北洋銀行	旭川中央支店
北海道銀行	旭川支店
北陸銀行	旭川支店
みずほ銀行	旭川支店
秋田銀行	旭川支店

このまちで育てられ
これからも一緒にさせてもらいます



 **GOOD DESIGN
AWARD 2018**

障がい当事者がリードする
優しいまちづくり

車いす紅蓮隊



特定非営利活動法人
カムイ大雪バリアフリー研究所

PLANTING OF HYDRANGEA



あさひかわ北彩都ガーデン

アジサイ植樹

あさひかわ北彩都ガーデンは、街の中心部である旭川駅と、大雪山系から流れる忠別川との間に広がり、都市と自然と融合する旭川の魅力を発信するまちなかのオアシス。花や樹木を楽しむだけでなく、様々な活動が展開され、四季を通じて人々が賑わい訪れるまちづくりに寄与しています。

昨年、旭川青年会議所は創立70周年を迎えました。今まで青年会議所運動を支えていただいた皆様への感謝の気持ちを形にするべく、旭川市にアジサイの寄贈をしました。6月23日水曜日、曇ひとつない青空の下、あさひかわ北彩都ガーデンにて旭川青年会議所メンバー41名、シニアクラブメンバー7名で植樹を行いました。アジサイの見頃は3年後ですが、これから旭川市民の憩いの場となり、長く愛されるアジサイロードとなることを願っております。どうぞ皆様、あさひかわ北彩都ガーデンに足をお運びください。

主催／一般社団法人旭川青年会議所

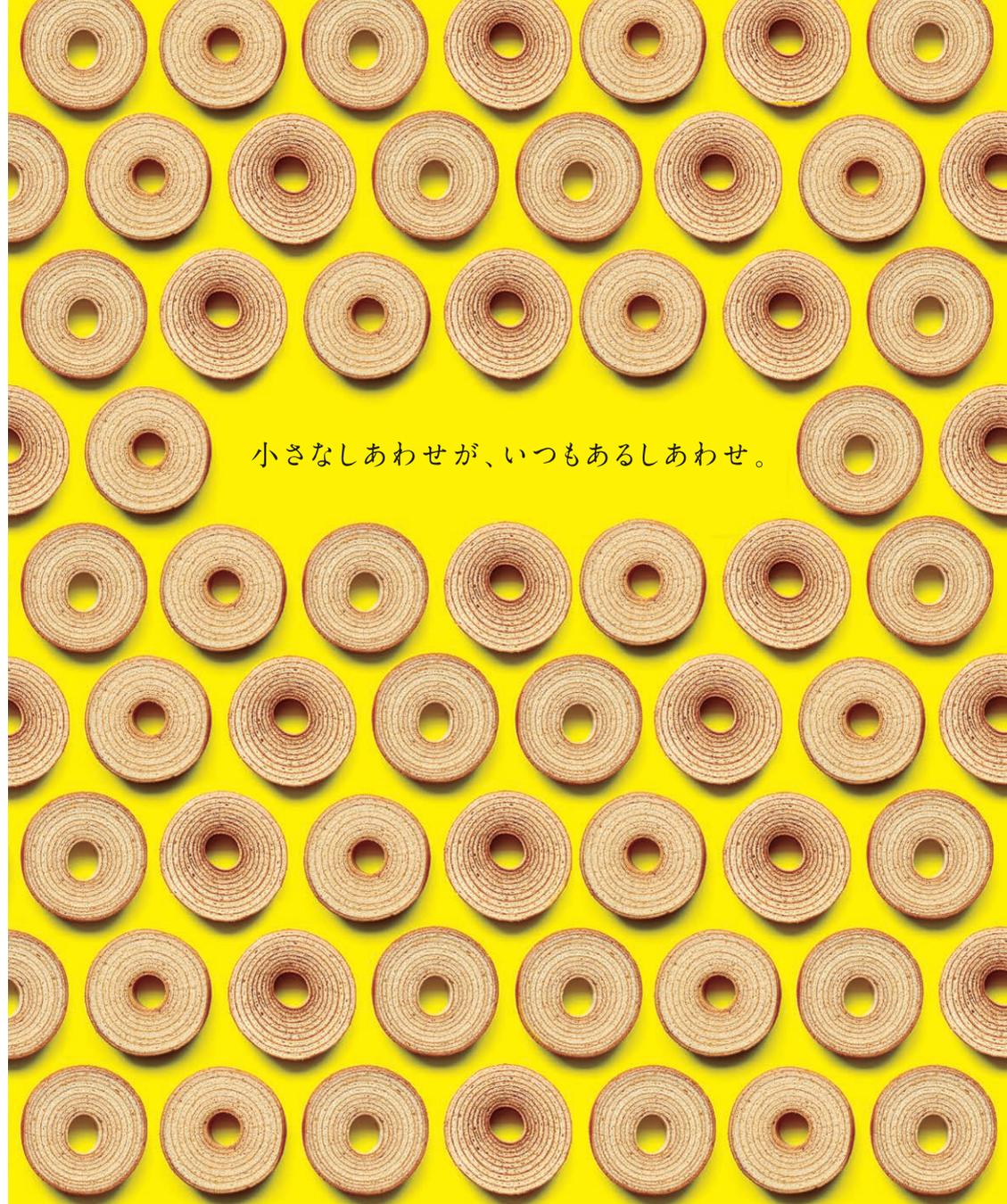
カタチは、
何度でも
あたらしく。

「村の鍛冶屋」をルーツに55年。
頼まれれば何でも作ろうと
あくなき挑戦が磨いた技術で
新しい形を世に送り出してきました。
さあ、次は何を創ろうか。
チャレンジはこれからも続きます。

くらしに役立つものづくり
株式会社オノデラ

旭川市東鷹栖2線11号2537-14
TEL.0166-57-3161 [ISO9001認証]
www.onoderak.co.jp

なおよす×つくる=むすぶ
ONODERA®



小さなしあわせが、いつもあるしあわせ。

北海道産小麦で焼きました)))

ここの木の家具・北海道プロジェクトから生まれたバームクーヘン
リスのテーブル 6個入 1,060円 (税込)

な・花窓館 旭川市忠和5条6丁目5-3 Tel.0166-61-5182
き花の杜 旭川市南6条通19丁目 Tel.0166-39-1600

とすぼや

www.tsuboya.net



JIA EXHIBITION

開催を見送りました



国立西洋美術館

JIA「生き続けるモダニズム建築」展

20世紀、産業と技術の高度化を背景に、建築の領域でも近代的な美学を追い求めた多くの建築家がありました。彼らの建築は歳月を経て、老朽化や社会的要求との乖離を理由に姿を消すものもある一方、構造的な改修や機能の更新を施すことにより、空間的魅力を保ちつつ再生される事例も少なくありません。循環型社会の構築に向けてすぐれた建築ストックの形成が重要課題となっている今、時代を超えて生き続ける国内外のモダニズム建築を紹介します。

会期 9月8日(水)～30日(木)
10:30～18:30(入館は18:15まで) 期間中休館なし
会場 中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
ステーションギャラリー
(北海道旭川市宮下通8丁目3-1/JR旭川駅内東)

主催 / (公社)日本建築家協会北海道支部旭川地区会、
中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
協力 / (公社)日本建築家協会 北海道支部 道東地区会、
(公社)日本建築家協会 北海道支部 函館地区会、
建築模型製作所 ブロック・エム

協賛 / (一社)北海道建築士会 旭川支部、
(一社)北海道建築士事務所協会 旭川支部
後援 / 旭川家具工業協同組合、北海道新聞旭川支社、
北のまち新聞社「あさひかわ新聞」、旭川ケーブルテレビ(株)「ポテト」

ACDA EXHIBITION

開催を見送りました



旭川工芸展

「旭川工芸デザイン協会展」と旭川市主催の「新生活様式に対応したクラフトコンペティション2020」の入賞作品展、ユネスコ創造都市ネットワークに工芸分野で加盟認定されている石川県金沢市・兵庫県丹波篠山市の招待作家展を開催。旭川工芸デザイン協会は1989年に創立し今年で32年目を迎えますが、来年をもって解散することになり来年が最後の協会展となります。

会期 9月14日(火)～19日(日)
10:00～17:00
会場 デザインギャラリー
(北海道旭川市宮下通11丁目 蔵囲夢)

主催 / 旭川工芸展実行委員会
共催 / 旭川デザイン協議会、旭川工芸デザイン協会
協力 / ユネスコ創造都市
丹波篠山の工芸(兵庫県丹波篠山市)
加賀象伝(作家) 笠松加葉(石川県金沢市)

FURNITURE & CRAFT
**ASAHIKAWA
DESIGN CENTER**

デザインに、応える技術。
yoshimiyā

施工: 吉宮建設(株)

吉宮建設株式会社
YOSHIMIYA CONSTRUCTION CO.,LTD
078-8216 旭川市6条通21丁目
TEL 0166-31-1476 FAX 0166-31-1475

OG
OOTA GLASS

技術を重ねて、出会いを重ねて、90年。

株式会社 太田硝子店
079-8413 北海道旭川市永山3条5丁目1-2
Tel 0166-48-1400 Fax 0166-47-3536

IPPONGI FOUNDATION

開催を見送りました



人づくり一本木基金

(長原實・スチウレ・エング 人づくり基金)

(公財)北海道文化財団では、長原實氏並びにスチウレ・エング氏等からの寄附をもとに、「工芸美術及びものづくり等の分野」において活動する道内在住または道内出身者を対象とした、『奨学金の給付』、『海外研修への助成』、『ものづくり一本木選奨の贈呈』、並びに人材育成に関する事業を行っており、その取り組みと現在募集している内容等についてご紹介します。

会期 9月15日(水)～19日(日)

10:00～17:00

会場 旭川デザインセンター
(北海道旭川市永山2条10丁目1-35)

主催(お問い合わせ) / (公財)北海道文化財団 TEL 011-272-0501
haf.jp/ippongi/index.html

0166 SWEETS AMAYAKA CITY ASAHIKAWA

開催を見送りました



0166SWEETS

[甘やかシティASAHIKAWA]

旭川のお菓子屋さんが集まり、各店の人気アイテムを一堂に揃えて販売します。旭川市の市外局番「0166」にちなんで「0166スイーツ」と称し、全品お得な一律価格166円(税込み)。おやつやおみやげ選びにお気軽にお立ち寄りください。

会期 9月18日(土)・19日(日)

10:00～17:00

会場 旭川デザインセンター
(北海道旭川市永山2条10丁目1-35)

主催 / 旭川菓子商工業組合



壺屋総本店の和菓子職人特製「ADW和生」を数量限定販売。



ADA EXHIBITION

開催を見送りました



旭川の 食のデザイン展

旭川食品加工協議会と旭川デザイン協議会のコラボプレゼンツ。このお菓子、あのお酒、そのラーメン。みんなみんな「デザイン」されています。旭川はおいしい加工食品の宝庫。そんな食の逸品パッケージが集合します。アンケートに答えるとおいしいものが当たる抽選会も開催！

主催 / 旭川食品加工協議会、旭川デザイン協議会

11月初旬より「旭川デザイン協議会」YouTubeチャンネルにて配信予定
www.youtube.com/channel/UCxjERsCjI6yAouyrYVNBxsA

Youtube



TAISETSU KAMUIMINTARA DMO SPECIAL EVENT

開催を見送りました



ADW特別企画 大雪エリア体験

大雪エリアを中心としたアクティビティを提供する「地域交流体験ツアー」の特別販売を、ADW期間限定で実施。おいしい食べ物、楽しい時間、そこで働き暮らす人たちとの出会いなど、今ここにしかない感動をお届けします。

[メニュー]

刷毛引き本染め体験、角打ち体験、祈祷体験&ガイド付き内宮・舞殿見学、ガーデナーと巡る北彩都ガーデン、地元酒造のガイド付き工場見学(資料館見学&試飲体験付き)、学芸員と巡る博物館(勾玉作り体験付き)、陶芸体験(カレー皿作り)、まちなかカヌー、北彩都ガーデンをセグウェイで散歩、気軽に楽しむ簡単着付けと季節を味わうお茶体験など

会 期 9月15日(水)~19日(日)
 お問合せ 一般社団法人 大雪カムイミントラDMO
www.taisetsu-kamui.jp
 TEL 0166-73-6968 FAX 0166-73-6992



届けることは、
ものづくりの最後の工程だと思う。

TOEI 藤栄運輸株式会社

北海道旭川市東旭川町共栄96番地 TEL 0166-31-7912 FAX 0166-31-7774



ストップ! 20歳未満飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう。
 お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。

サッポロビール株式会社
www.sapporobeer.jp

KAMUI Mt.ing

開催を見送りました



大雪エリアの魅力体感イベント

KAMUI Mt.ing

大雪圏の魅力を発信するプロモーション活動のための空間を、地元デザインチームがプロデュース。「五感に響くワク★キラ」をコンセプトに、このエリアが持つ四季の鮮やかさや自然の癒やしなどを表現しました。テキスタイルデザイナー、サウンドクリエイター、アロマブレンドデザイナーなどの感性が結集し創られた、大雪の森の中にいるような雰囲気を感じてください。デザイナーたちによるワークショップも行います。

会 期 9月15日(水)～19日(日) 10:00～19:00
会 場 ファッションビル オクノ 2F
(北海道旭川市3条通7丁目)

ワークショップ

会 期 9月18日(土)・19日(日)
各日11:00～、14:00～

お問い合わせ 旭川デザイン協議会 TEL 0166-23-3000

主催/(一社)大雪カムイミントラDMO、旭川デザイン協議会、
(一社)北海道デザインラボ
協力/ファッションビル オクノ

デザイナーたちによるワークショップ

- 9月18日(土) / 「モザイクタイルでつくるスタンドミラー」
インテリアデザイナー大谷薫(デザイントーク)
- 9月19日(日) / 「北海道の香りをつくるバスボム」
アロマブレンドデザイナー早川舞(ガラス)

OPEN FACTORY

開催を見送りました



旭川デザインウィーク共催企画

「旭川のものづくり」を知るツアー

ものづくり産業が集積する旭川。100社以上の製造業が集まる工業団地と、市民の関心も高い新旭川市庁舎の建設現場を視察します。市庁舎の設計者からデザインコンセプトなどを聞き、また骨組みとなる鉄骨を製作する工場も見学。旭川のものづくりの新しい魅力に触れられる初めてのツアーです。

主催/旭川工業団地協同組合・旭川機械金属工業振興会

10月中旬より
「ADW2021旭川のものづくりを知るツアー」
YouTubeチャンネルにて配信予定
www.youtube.com/channel/UCpnk5oWNPn50xy6LzRsTw9Q

Youtube



interiorlifestyle TOKYO

2022年6月1日(水) - 3日(金)

東京ビッグサイト 西展示棟

これからのライフスタイルマーケットを提案する
インテリア・デザインのための国際見本市



出展募集中!



messe frankfurt

「安心」が、私たちの商品です。



税理士法人
中央総合会計

税理士法人 中央総合会計

〒070-0037 北海道旭川市7条通13丁目59番地4

TEL:0166-25-4131 FAX:0166-25-4132

<https://www.csk-i.com/>



ADA WORKSHOP

開催を見送りました



※写真はイメージです。

デザイナーと「ステキ」をつくるワークショップ 「デザインっておもしろい!」

旭川で活動しているデザイナーが講師となり、子どもから大人まで楽しめるワークショップを開催します。18日はフラワーデザイナー林田千秋先生(フラジール)によるアレンジフラワー教室。19日は服飾デザイナー佐々木良榮先生(良栄・PLAN)と野菜の「手ぬぐるみ」をつくります。

日 程 ●9月18日(土) 「フラワーアレンジ」
11:00～、14:00～
フラワーデザイナー林田千秋(フラジール)
●9月19日(日) 「手ぬぐるみ」
11:00～、14:00～
服飾デザイナー佐々木良榮(良栄・PLAN)
会 場 フィール旭川 地下1階(北海道旭川市1条通8丁目)
主催/旭川デザイン協議会 協力/フィール旭川

MACHINAKA NIGIWAI STREET

開催を見送りました



まちなか賑わいSTREET

「あさひかわの空気を変える」をコンセプトに、まちの中心に位置する買物公園に賑わいを創出するための様々な仕掛けを実施。高校生等による各種パフォーマンスや、若者のチャレンジショップ展開などを通して、「人で賑わうまちなか」「商いで賑わうまちなか」の実現を目指し、継続して実施しています。今回は、オンラインで開催しました。

会 期 9月18日(土)
会 場 オンライン配信

主催/あさひかわ未来会議、旭川信用金庫



北日本木材 株式会社

旭川本社/北海道旭川市東8条8丁目1番32号
TEL.0166-24-1276 FAX.0166-24-1277

静岡営業所/静岡県焼津市八桶3丁目13-1
TEL.054-626-5781 FAX.054-626-5782

WAKUWAKU SCIENCE

開催を見送りました



わくわくサイエンス ～究極のデザイン『人体』の不思議～

私たち「ヒト」の「人体ネットワーク」ともいえるその仕組みと働きを、実際の画像や実験を通して楽しく学べます。

日時 9月19日(日)
10:00～16:00
会場 旭川市科学館サイバル 特別展示室
(北海道旭川市宮前1条3丁目3-32)

主催 / (一社)旭川ウェルビーイング・コンソーシアム、旭川市科学館サイバル
後援 / 旭川医科大学、旭川市教育委員会

昭 和 木 材 株 式 有 限 公 司

木の香りに癒される住まい



SOLID WOOD 昭和木材の家

お問い合わせはフリーダイヤルで

昭和木材の家

検索

旭川市2条通23丁目右1号 TEL.0166-31-3120 FAX.0166-31-1236

0120-22-6969

<https://showa-lumber.jp/>

未来の旭川に、
胸を張れるまちづくり。

www.ia-kenkyujo.co.jp



あさひかわ北彩都ガーデンセンター(2015)

建築設計・監理



株式会社 IA研究所

北海道旭川市永山6条6丁目4-14 TEL 0166-47-5780
一級建築士事務所 北海道知事登録(上)第337号



平屋モデルハウス見学予約受付中!!

新たな「上質」の提案。完全予約制
平屋で過ごす理想の住まい。



詳しくはこちら



会場/旭川市永山10条13丁目103-154

PARTICIPANTS, SCHEDULE

参加企業・団体の紹介&イベントのご案内

※記載は五十音順ですが、内容により一部順番が前後しています。

01-04
PARTICIPANTS,
SCHEDULE

01



旭川菓子商工業組合

旭川菓子商工業組合は、明治38年に市内の菓子店37店が集まり設立し、今年で116年を迎えます。旭川市は、近郊で生産される農産物や乳製品など菓子作りの新鮮な材料が手に入りやすいことがひとつの特徴です。そんな良質な素材を使って丁寧に作られている旭川のお菓子の魅力を、広く知ってもらえるような様々な取り組みを進めています。

Data 旭川市忠和5条6丁目5-3壺屋総本店内事務局
TEL 0166-61-1234
FAX 0166-62-0647
0166sweets.com
(あさひかわスイーツ広場)



02



一般社団法人 旭川観光コンベンション協会

旭川市における観光資源の開発と紹介宣伝、コンベンションの誘致、観光関係者の資質の向上等に努めることにより観光関連事業の健全な振興を図り、もって、観光旅行者等の利便の増進、安全の確保及び市民生活の向上、繁栄に寄与することを目的に設立された協会です。フィルムコミッションに関する活動なども行っています。

Data 旭川市5条通7丁目 旭川フードテラス2F
TEL 0166-23-0090
FAX 0166-23-1166
www.atca.jp

Event Schedule 4月29日(木) ▶ 10月31日(日)
6月~9月/8:30~17:00
10月/9:00~17:00
会場/旭川観光物産情報センター(JR旭川駅東口)
[レンタサイクル]
電動アシスト自転車やクロスバイクなどもレンタルしています。



03



旭川市のシンボルキャラクター「あさびー」をすべて鉄で製作しました。

旭川機械金属工業振興会 旭川鐵工組合 旭川溶接協会 (一社)北海道機械工業会旭川支部

旭川地域の機械金属業界の発展・支援のため活動している4団体です。私たちは、地域に脈々と受け継がれているモノづくりの息吹によって、鉄に魂を吹き込み、人々の温かな生活の営みを支え続けています。

Data 旭川市工業団地3条2丁目1番18号
工業技術センター内 旭川機械金属工業振興会事務局
TEL 0166-36-3111
FAX 0166-36-4461

Event Schedule 10月中旬予定
会場/オンライン配信
[[旭川のものづくり]を知るツアー]
旭川新庁舎用鉄骨の製造現場見学をはじめとする旭川のものづくりツアーを開催。
詳しくは47ページをご確認ください。

04



旭川クリエイターズクラブ

各分野のクリエイターが集まり、交流と発信を行う団体です。グラフィックデザイナーやコピーライター、イラストレーター、フォトグラファー、プランナー、木工作家、プロダクトデザイナーなど、メンバーの肩書きは様々。展示会をはじめ、市内小学校への出張授業など、デザインやものづくりに関する各種事業を行っています。

Data 旭川市1条通17丁目161 ムンチャク 内
TEL 0166-27-2000
FAX 0166-27-2000
asahikawa-creators.club

Event Schedule 9月18日(土)
会場/オンライン開催
[[「まちなかキャンパス」のロゴができるまで&クリエイターのお仕事について]]
詳しくは34、35ページをご確認ください。



05



旭川工業高等専門学校

旭川高専では、Society5.0と呼ばれる「超スマート社会」の実現に貢献する人材を育てるため、各分野の最先端で実践的な科学技術が得られる教育を実施。また、研究・産学連携活動にも積極的に取り組み、地元企業との共同研究等を推進しています。中学校を卒業した方が入学でき、5年一貫で一般科目と専門科目をバランスよく学べます。

Data 旭川市春光台2条2丁目1番6号
TEL 0166-55-8000(代表)
FAX 0166-55-8082
www.asahikawa-nct.ac.jp

Event Schedule 9月18日(土)
会場/オンライン開催



[高専サイエンス・ハーモニー]
旭川高専の持つ技術をお見せします。
機械、電気、制御、化学、そして総合の5つの学科から
選りすぐりの理科実験を厳選、
サイエンスでハーモニーを奏でます。
詳しくは34、35ページをご確認ください。

06



旭川工業団地協同組合

旭川工業団地は、旭山動物園に近接し、旭川空港まで車で約15分、旭川駅まで車で約25分のアクセスで、市の中心的な工業生産拠点となっています。組合は製造業45、建設関連業16、卸売業12、運輸・サービス業28の計101社で組成されており、多様なクライアントのご要望に沿える発注先・提携先が必ず見つかります。

Data 旭川市工業団地3条2丁目1番18号
TEL 0166-36-4955
FAX 0166-36-5232
www.asahikawa-ip.com

Event Schedule 10月中旬予定
会場/オンライン配信
[[旭川のものづくり]を知るツアー]
旭川新庁舎用鉄骨の製造現場見学をはじめとする
旭川のものづくりツアーを開催。
詳しくは47ページをご確認ください。

07



旭川工芸デザイン協会

この北の街から工芸デザインの新しい大きな波の震源地として発信・活動を続けるクラフトマン・デザイナーの集団「旭川工芸デザイン協会」。木工・ガラス・陶芸・染色などの様々な分野の作家たちが、全国的にもトップクラスの工芸家集団として、活動し旭川から国内外に積極的な新しい価値観を発信しています。

Data 旭川市旭岡2丁目12-8 染あとりえ草創 内
TEL 0166-52-9945
FAX 0166-52-9945
acda.jp

Event Schedule 9月14日(火)▶19日(日) **開催を見送りました**
10:00~17:00
会場/デザインギャラリー
[旭川工芸展]
工芸デザイン協会展や新生活様式に対応したクラフトコンペの入賞作品、
工芸都市から招待した作家の作品を展示。
詳しくは41ページをご確認ください。

08



旭川情報産業事業協同組合

当組合では組合員が取り扱う機器やソフトウェアなどの共同購入や共同販売、システム等の共同開発や共同研究などを行っています。地域の情報化促進ならびに情報産業の発展を目的として情報産業イベントや情報教育支援等を行い、広く一般の方々の情報化(IT、ユビキタス社会)に対する理解や活用レベル向上を支援していきます。

Data 旭川市緑が丘東1条4丁目2番14号
TEL 080-6067-0024
FAX 0166-73-5477
www.a-iic.net

Event Schedule 9月18日(土) **開催を見送りました**
10:00~16:00
会場/旭川ICTパーク
[子どもたち向けホームページ作成スクール]
ホームページをゲームのようにつくってみよう!
チャレンジしたい子どもも集まれ!

09



旭川食品加工協議会

旭川地域の食品加工業者が連携する横断的な組織を目指し、設立した団体です。地域食品関連産業の競争力強化や食品関連企業の健全な発展を促すことを目的に、会員間の技術・情報の交換をはじめ、研修会の実施、地域ブランドの構築に向けた共同での商品開発、展示会等への参加などを主な事業活動としています。

Data 旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号
旭川リサーチセンター (一財)旭川産業創造プラザ内
TEL 0166-68-2831
FAX 0166-68-2828
asahikawa-food.jp

Event Schedule 11月初旬予定
会場 / オンライン配信

開催を見送りました

【旭川の食のデザイン展】
「地域と食のデザイン」をテーマに
ポスターやパンフレット、商品パッケージを展示。
詳しくは44ページをご確認ください。

10



一般社団法人旭川青年会議所

40歳までの青年経済人が明るい豊かな社会を築くために集う、まち・人・地域づくりの団体です。昨年創立70周年を迎えた旭川青年会議所には現在67名が在籍。会議所メンバーとして、市民、企業人、家族の一員として、真の必要(Need)を追求し、共に明るい豊かな旭川を創造するため、いつの時代も先駆者であり続ける組織を目指しています。

Data 旭川市常盤通1丁目 道北経済センタービル5階
TEL 0166-22-9815
FAX 0166-26-3235
www.asahikawa-jc.or.jp

Event Schedule 【あさひかわ北彩都ガーデン アジサイ植樹】
会場 / あさひかわ北彩都ガーデン
旭川市民が憩うまちなかのオアシスづくりの一助として、アジサイを植樹しました。
詳しくは38ページをご確認ください。

11



旭川デザイン協議会

旭川市及び近郊であらゆるデザインに関わる仕事をしているクリエイターたちの集団です。講演会や展覧会、デザインコンペなどの開催、デザインギャラリー、市民ギャラリーの運営を通して、地域の人々や道内外諸団体との交流、旭川・旭川近郊で活動するクリエイターの連携と周知を図り、デザインが果たす社会的な役割・可能性を追求しています。

Data 旭川市宮下通11丁目蔵田夢内
TEL 0166-23-3000
FAX 0166-23-3005
ada-jp.org

Event Schedule 9月18日(土)
会場 / オンライン配信

【カップはどうしてこのカタチ?デザインができること】
「デザイン都市旭川」の未来を担う子どもたちが身近にあるデザインについて学びデザインへの興味や関心を高められるようにと制作した冊子と動画について紹介。
詳しくは34、35ページをご確認ください。

12



旭川平和通商店街振興組合

「平和通買物公園」は、1972年6月に日本初の恒久的歩行者占有道路(歩行者天国)として開設されました。私たち「商店街」は単なる商業施設だけではなく、人が集まって絆や人間関係を形成するコミュニティという大切な役割を担い、人が行き交い、楽しく、住みよい、お年寄りにも優しい街にしていきたいと考えています。

Data 旭川市4条通8丁目 アピスビル3F
TEL 0166-26-0815
FAX 0166-26-0821
www.kaimonokouen.com

Event Schedule 5月10日(月) ▶ 9月30日(木)

【買物公園オープンテラス】
三密を回避し自由にくつろげる空間として、オープンテラスを設置しています。

13



14



15



16



旭川ユネスコ協会

国際連合の専門機関であるユネスコの理念・目標に沿って、日本ユネスコ国内委員会(文部科学省)及び外務省等と連携した活動を行っている公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の旭川における組織です。平和、教育、文化の振興のための活動に取り組んでいます。具体的な活動としては街頭募金活動や小中学生の作文コンクール、外国人青年日本語主張発表会など、平和や教育、文化を重んじる取組みが核となっています。

Data 旭川市曙1条6丁目1-5(簿井会計)
TEL 0166-24-5166
FAX 0166-24-6060
www.unesco.or.jp/hokkaido/list.html

Event Schedule 9月19日(日)
会場/オンライン開催
[旭川ユネスコ協会の活動紹介]
旭川ユネスコ協会の目的や活動内容について報告。
コロナ禍以前に行ったどんぐりの植樹等について映像で報告。
詳しくは34、35ページをご確認ください。



旭川理容美容専門学校

道北唯一の理容師美容師養成施設として多くの卒業生を輩出。現在、星槎国際高等学校との連携で在学しながら高卒資格と理容師・美容師両方の国家資格が取得できるコースや、「ネイル」「ブライダル」「ヘアメイクアーティスト」など自分に合った授業を選ぶ選択コースなども設置。今回は「理美容とデザイン」に特化したイベントを開催します。

Data 旭川市4条通12丁目1444番地9
TEL 0166-22-1331
FAX 0166-21-7710
www.atcbb.jp

Event Schedule 会場/旭川理容美容専門学校 講堂ほか
[理美容とデザイン]
6月27日(日)ヘルス&ボディデザイン講座
9月18日(土)キッズオープンスクール
10月17日(日)ヘアメイクファッションショー
11月21日(日)一般向けヘアメイクデザインセミナー
詳しくは33ページをご確認ください。

一般社団法人 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

旭川市の高等教育機関(3大学1短大1高専)と関係団体による知の共同事業体です。旭川エリアの豊かな自然環境、森林、温泉、安心安全な農畜産物等の健康保養資源を基盤に、行政の自主的・積極的な参加のもと、圏域住民の身体的・精神的・社会的健康(ウェルビーイング)の達成や旭川エリアの教育・地域振興を目的としています。

Data 旭川市1条通8丁目108番地 フィール旭川7階
TEL 0166-26-0338
FAX 0166-26-0338
www.awbc.jp

Event Schedule 9月19日(日)
10:00~16:00
会場/旭川市科学館サイバール
[わくわくサイエンス~究極のデザイン「人体」の不思議~]
人体の仕組みと働きについて、実際の画像や実験を通して楽しく学びます。
詳しくは50ページをご確認ください。

開催を
見送りました

ガールスカウト旭川地区協議会

ガールスカウトは「自己開発」「人とのまじわり」「自然とともに」の3つをポイントとして活動に取り組んでいます。考える力、行動する勇氣、支えてくれる仲間を得るとともに、できることを増やし、自信をつけ、新しい自分を発見し、もっと素敵な未来の自分・よりよい世界をつくるチャンスを求めて日々の活動をしています。

Data (一社)ガールスカウト北海道連盟
札幌市中央区北2条西7丁目1か 2.7ビル 9階
TEL 011-221-4811
FAX 011-221-4815
gshc-hp.jimdo.com

Event Schedule 9月19日(日)
会場/オンライン開催
[SDGsで「一世代の価値観が変われば、社会は変わります」]
今まで取り組んできたSDGsの感想や中学生高校生年代のためのオンラインプログラムを取り組めます。
詳しくは34、35ページをご確認ください。



17



上川総合振興局南部森林室

道民の皆様に対する森づくりへの理解と参加の促進、森林施業に関する普及活動や技術指導、道有林野の整備・管理を行っています。また、北海道は、木とふれあい・木に学び・木と生きる「木育」を推進しており、すべての人が木を身近に使っていくことを通じて、人と木や森のかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育むことを目指しています。

Data 旭川市永山6条19丁目1番1号
TEL 0166-46-5999
FAX 0166-46-5392
www.kamikawa.pref.hokkaido.lg.jp/sr/nsr/index.htm

Event Schedule 9月18日(土)・19日(日)

会場／オンライン開催

【木育体験】

木育マイスターによる

木工クラフト教室等の開催

開催を見送りました

18



国際ソロプチミスト旭川

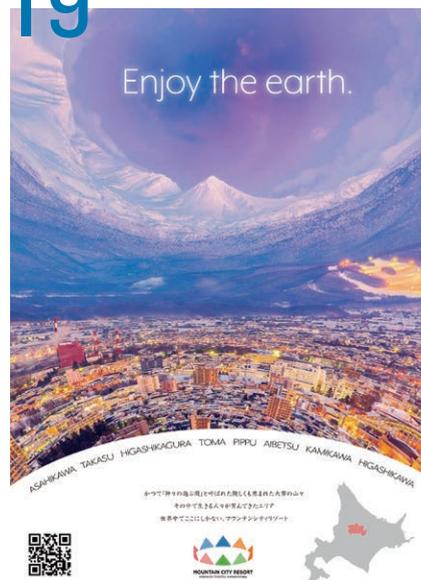
地域奉仕及び女性と女兒の生活向上に取り組む国際女性奉仕団体です。女性と女兒の経済的なエンパワメントを達成するために必要な教育と訓練へのアクセスを提供しています。当団体が例年高校で実施している「夢を拓く：女子中高生のためのキャリアサポート茶話会」を、今回はキャリアデザインの視点からデザインウィークで開催します。

Data 旭川市神居4条13丁目2-15 潮方
TEL 0166-62-3757
FAX 0166-62-3758
sia-jkita.org

Event Schedule 日程未定

【夢を拓く：女子中高生のためのキャリアサポート茶話会】
各分野で活躍するメンターによる
女子中高生に向けたキャリアデザインレクチャー。
詳しくは37ページをご確認ください。

19



一般社団法人 大雪カムイミントラDMO

大雪山がもたらす四季折々の自然や食、歴史・文化体験、スポーツ環境等が国内外の多くの人々に認知され、幾度となく訪れたい地域として選ばれるよう舵取りを行う組織です。圏域の民間・行政が一体となって、ブランド形成に向けた事業に取り組み、観光関連産業の振興と地域経済の活性化を促進し、豊かな地域社会の実現を図ります。

Data 旭川市3条通7丁目418-1 オクノ6F
TEL 0166-73-6968
FAX 0166-73-6992
www.taisetsu-kamui.jp

Event Schedule 9月15日(水) ▶ 19日(日)

チケット予約販売/
8月1日(日)～9月18日(土)

[ADW特別企画 大雪エリア体験]

大雪エリアで体験できる様々なアクティビティを特別にご提供します。

詳しくは45ページをご確認ください。

開催を見送りました

20



公益社団法人日本建築家協会 北海道支部 旭川地区会

日本建築家協会(JIA)は建築家が集う公益社団法人です。プロフェッショナルとしての知恵と技術を生かし、地域、文化、風土、地球環境までをデザインする職能集団です。私たちは建築を通して社会公共に貢献する活動をしています。

Data 札幌市中央区南1条西8丁目14-3 札幌第2スカイビル5F
TEL 011-261-7708
FAX 011-251-4866
www.jia-hok.org
www.jia-asahikawa.com

Event Schedule 9月8日(水) ▶ 30日(木)

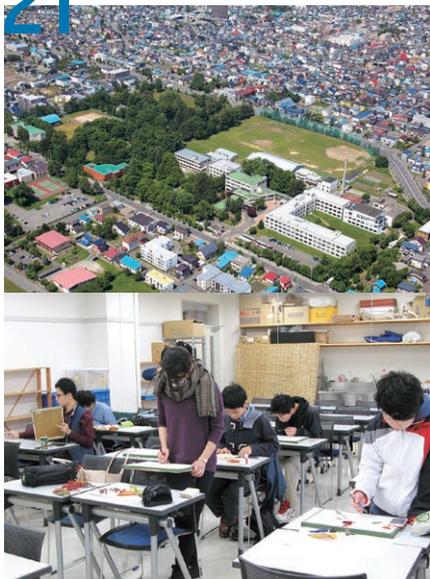
会場／中原悌二郎記念旭川市彫刻美術館
ステーションギャラリー

【「生き続けるモダニズム建築」展】
時代を超えて生き続ける国内外の
モダニズム建築を紹介します。

詳しくは40ページをご確認ください。

開催を見送りました

21



北海道教育大学旭川校

北海道教育大学は道内5都市(札幌、旭川、釧路、函館、岩見沢)に5つのキャンパスを持ち、教育界を中心に数多くの人材を送り出しています。教員養成を担う旭川校では中学校での各教科に応じた専攻・分野を設けて学生教育を実施。美術教育についてもデザイン分野をはじめ教科専門に関する多くの授業を開設し、その人材育成を行っています。

Data 旭川市北門町9丁目
TEL 0166-59-1410
www.hokkyodai.ac.jp/asa

Event Schedule 9月18日(土)
会場/オンライン開催

[美術分野デザインゼミOBOGオンラインであそぶまなぶスペース]

身近にあるものを動物に見立てて子どもたちが楽しくデザインに触れて学べるようなワークショップを開催しました。詳しくは34、35ページをご確認ください。



22



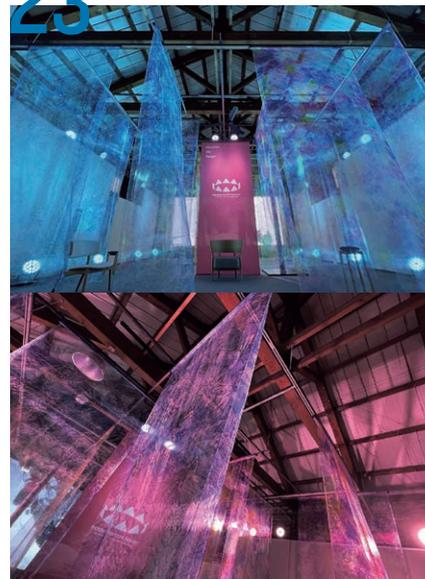
(一社)北海道中小企業家同友会 道北あさひかわ支部

よい会社と地域を作るために会員が交流し、経営者一人ひとりの経験を通して得られた知識を共有し互いに学び合いながら、共に繁栄を目指す中小企業家の集まりです。道北の宗谷、留萌、上川、空知地域のエリアで10の地区を含む計28の会が、全国の産・学・官・金の分野と連携した幅広い交流や活動を通して、人・企業・地域づくりの実現を目指しています。

Data 旭川市5条通8丁目1703
TEL 0166-29-6663
FAX 0166-29-6664
dohoku-asahikawa.doyu.jp

Event Schedule 6月17日(木)
[ADW分科会]
「経営」「食」「教育」の分科会で、各講師から話題提供を受けて参加者と意見交換を実施。

23



一般社団法人北海道デザインラボ

「北海道をデザインとアートで元気にしたい」というコンセプトで、デザインのパワーを信じ、その力を活用した企画を立て実行することを目的に設立された法人です。今後は、ユネスコ創造都市ネットワーク「デザイン都市」として、旭川が計画していく様々な施策にも参画し旭川や北海道を「デザイン」で盛り上げていこうと思います。

Data 旭川市宮下通11丁目 蔵田夢内
TEL 0166-74-3355
FAX 0166-74-3371

Event Schedule 9月15日(水)▶19日(日) **開催を見送りました**
会場/ファッションビル オクノ 2階
[大雪エリアの魅力体感イベント KAMUI Mt.ing]
VR映像等の活用により五感で大雪エリアの魅力を体感できるイベントです。
[デザイナーたちによるワークショップ]
インテリアデザイナー、アロマブレンドデザイナーとつくるワークショップ。詳しくは46ページをご確認ください。

24



北海道立旭川高等技術専門学院

本学院は「ものづくり」を中心に2年間の職業訓練を行う、道立の職業能力開発施設です。訓練科目6科の中に印刷デザイン科・色彩デザイン科・造形デザイン科と、デザインに関する技能を習得するための科目が3つあるのが特徴で、旭川にある学院らしく、デザインと深く関わった訓練を行っています。

Data 旭川市緑が丘東3条2丁目1番1号
TEL 0166-65-6667
FAX 0166-65-5565
www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/ahs/index.htm

Event Schedule 6月26日(土)
会場/旭川高等技術専門学院
[学院見学会]
学院内の訓練施設・設備や実習作品の案内、実習内容の説明などを実施。

25



北海道立北の森づくり専門学院

北海道では、100年先を見据えた森林づくりに向けて、道内初の林業の専門学校となる「北海道立北の森づくり専門学院(略称:北森カレッジ)」を、令和2年4月に旭川市に開校しました。林業・木材産業の即戦力となり、企業等の中核を担う人材の育成に向け、多様なカリキュラムを実践しています。

Data 旭川市西神楽1線10号
TEL 0166-75-6163(教務課)
FAX 0166-75-6160
www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/kms/index.htm

Event Schedule 9月19日(日)
会場/オンライン開催

【北森カレッジで林業・木材産業体験】
生徒の実習風景や学校生活の様子などを
実演動画を交えながら紹介。
詳しくは34、35ページをご確認ください。



26



地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所

北海道の建築・まちづくりに関する総合的な研究機関として、環境負荷低減や快適な住環境の創出等に関する試験研究や技術支援を進めています。地域マネジメント、防災、建築環境・エネルギー、建築ストックに関する調査研究のほか、構造的適合性判定や各種の性能評価試験、民間企業や道内市町村への技術支援なども行っています。

Data 旭川市緑が丘東1条3丁目1-20
TEL 0166-66-4211
FAX 0166-66-4225
www.hro.or.jp/list/building

Event Schedule 9月18日(土)・19日(日)
[ミライの旭川をデザインする]
子どもたちが建築家になりきって、
旭川の未来地図を完成させるイベント。

開催を
見送りました

27



地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 森林研究本部 林産試験場

水産や農業、林業や工業といった研究機関が集まる「北海道立総合研究機構」の一員で、林産分野を担う試験・研究機関です。木材・木質材料の性能、木材の化学的利用、木材の加工技術、キノコの品種改良や生産技術などの試験研究を行っています。必要に応じた多様な試験設備を備え、建物などに使われるような大きな木材の試験もできます。

Data 旭川市西神楽1線10号
TEL 0166-75-4233(代)
FAX 0166-75-3621
www.hro.or.jp/list/forest/research/fpri/index.html

Event Schedule 9月18日(土)・19日(日)
[木の香りの匂い袋を作ろう]
かなな掛けの実演及び
かななくずを使った匂い袋の作成。

開催を
見送りました

28



ユネスコスクール(旭川龍谷高等学校)

本校は「報恩感謝の心を大事にする教育活動」を通して心豊かな生徒を育成することをESD(持続可能な開発のための教育)の目標としています。具体的には「上川アイヌの人たちとの交流を通じた郷土旭川の歴史の考察」「ボランティア活動を通じた地域社会への貢献」「海外見学旅行等を通じた国際理解教育の推進」を主眼に取り組んでいます。

Data 旭川市豊岡5条4丁目
TEL 0166-39-2700
FAX 0166-39-2705
www.ryukoku.info

Event Schedule 9月19日(日)
会場/オンライン開催

【上川アイヌの研究】
旭川龍谷郷土部の歴史、年間活動、研究テーマ、
今後の活動目標の紹介。
詳しくは34、35ページをご確認ください。



29



旭川市

本市は、ユネスコ創造都市ネットワークの活動母体として、産業界の団体を中心に設立した「あさひかわ創造都市推進協議会」と連携し、同ネットワーク加盟都市との交流やデザイン都市旭川の発信を実施。自然や豊富な地域資源の価値をデザインの力で高め、創造力豊かな人材の創出を図りながら、魅力的で持続可能な地域社会の実現を目指しています。

Data 旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内
TEL 0166-65-7047
FAX 0166-65-7048
design-asahikawa.jp
(デザイン都市旭川HP)

[移住定住]

旭川市では、令和元年7月に旭川移住促進協議会を立ち上げ、官民共同で移住・定住の促進を行っています。PR・体験・支援を3つの柱に、暮らしを紹介するコンテンツの作成や、体験ツアーを実施しており、対象地域や条件により、最大100万円の移住支援金や、リフォーム・新築等の費用を最大300万円まで助成する山村定住支援金等の各種支援も行っています。
(お問い合わせ:地域振興課(0166-25-5316))

30



鷹栖町

大雪山連峰を望む豊かな自然に恵まれ、お米や特産品のトマトジュース「オオカミの桃」をはじめとするおいしい農産物の生産が盛んな鷹栖町。小さな町ならではのきめ細かな視点で、人、自然、地域のつながりを大切にしたい「あったかず」なまちづくりに取り組んでいます。

Data 鷹栖町南1条3丁目5番1号
TEL 0166-87-2111
FAX 0166-87-2196
www.town.takasu.hokkaido.jp

[移住定住]

目指しているのは、温かなつながりと充実感を感じて「住んでよかった」「住み続けたい」と思える町。移住に向けた期待や悩みを気軽に相談できるように、オンライン移住相談窓口を開設しています。移住コーディネーターや地域おこし協力隊から生活の話を、担当職員から町のサポート体制などを聞くことができます。

31



東神楽町

道北の空の玄関口・旭川空港を有する花のまち 東神楽町では、花を使った美しい住環境作りを力を入れています。また、人口増加率や全人口における子供の割合が全道1位であり、若く活気のあるまちでもあります。町の農産物や加工品など魅力ある特産品として認定ロゴマークのついた、「東神楽 種と実セレクト」商品にもぜひご注目ください。

Data 上川郡東神楽町南1条西1丁目3番2号
TEL 0166-83-2111
FAX 0166-83-5100
www.town.higashikagura.lg.jp

[移住定住]

旭川市に隣接する旭川空港の所在地であり、「北海道の米の主産地」や「花のまち」として全国的にも有名です。豊かな自然環境と都市機能の利便性を併せ持つ理想的な生活環境のまちへぜひお越しください。

東神楽町移住定住
情報シート



32



当麻町

「食育・木育・花育からつながる心育」をまちづくりのテーマとしている当麻町。小中学生が自ら田植えや稲刈りを行い、収穫したものを口にする喜びを得る取り組み「田んぼの学校」をはじめ、中学校3年間で共に過ごす学習機を自らの手で組み立てる「ふるさと思い出機」事業の実施など、地域の資源に触れる取組みを推進しています。

Data 当麻町3条東2丁目11番1号
TEL 0166-84-2111
FAX 0166-84-4883
www.town.tohma.hokkaido.jp

[移住定住]

美味しいモノ・豊かな森・美しい花・子育て環境・体験施設など、旭川まで車で30分の当麻町には、あなたの「したい」が「全部ある」。ぜひ、当麻町へお越しください。

[全部ある当麻町サイト]
当麻町への移住サイト。
役立つ情報が満載です!



33



比布町

比布町は、旭川市中心部から北へ約20kmに位置する自然豊かな町です。不動産業者への媒介報酬補助制度をはじめ、子育て支援金制度、医療費助成、低額な保育料制度など多くの移住・定住支援を行っています。田舎暮らしを考えている方は、ぜひお気軽にお問い合わせください。

Data 上川郡比布町北町1丁目2番1号
TEL 0166-85-2111
FAX 0166-85-2389
www.town.pippu.hokkaido.jp

[移住定住] ほどよい田舎の比布町では下記の取り組みを行なっています。

- 家を建てたい、買いたい方
 - 宅建協会旭川支部に加盟する不動産業者が取り扱う物件を購入し実際に住み始めたとき
 - ・中学生以下のお子さん1人につき50万円プレゼント(最大3人150万円)
 - ・不動産業者へ支払う仲介手数料のうち最大5万円まで補助

34



愛別町

愛別町は「子どもの笑顔かがやく恵みの大地あいべつ」を基本テーマにまちづくりを進めています。人口が少ない町だからこそできる、きめ細やかな子育て支援、高齢者支援、医療費助成などのソフト事業の充実や、上下水道、道路、公営住宅等の整備、除排雪体制の充実など、生活環境基盤も整っています。年間を通じて災害が少ない地域として、安心して生涯を過ごすことができるため、田舎暮らしに興味がある方はお気軽にお問い合わせください。

Data 上川郡愛別町字本町179番地
TEL 01658-6-5111
FAX 01658-6-5110
www.town.aibetsu.hokkaido.jp

[移住定住]

北海道のほぼ中央に位置し、道路網や鉄道網が充実しているため、「札幌市」まで車で約2時間(高規格道路、高速道路利用)、「旭川市」まで車で約45分で移動が可能です。空き家を改修して移住定住する方には、最大55万円の補助金も用意しています。

35



東川町

「写真の町」東川町は、北海道で唯一上水道がない町です。大雪山の雪解け水がゆっくりと時間をかけて流れてくる地下水を生活水とし、北海道最高峰「旭岳」の麓で雄大な自然景観に囲まれながら、豊かな水と肥沃な大地の恵みと共に暮らしています。この町では「自然」と「人」、「人」と「文化」、「人」と「人」それぞれの出会いの中に感動があります。

Data 上川郡東川町東町1丁目16番1号
TEL 0166-82-2111
FAX 0166-82-3644
www.town.higashikawa.hokkaido.jp

[移住定住] 東川町に住んでみませんか？

私たちの暮らしにとって大切なものがこの町にはあります。
●毎日が天然水／生活水は全て天然水！北海道で唯一の上水道のない町です。
●体も心も、大きく育て／東川小学校は、廊下が270m、敷地は約4ヘクタール、周りの公園は12ヘクタールと、とても広々とした施設で、様々な課外活動に対応しています。
●君の椅子／東川町で生まれてくる子ども達に町内の工房で手作りの椅子を贈ります。

36



美瑛町

どこまでも波のように続く丘陵地帯は、多様な作物の色の变化から「パッチワークの丘」と呼ばれ、農業の営みが創り出す美しい景観が地域資源となっています。また、市街地のメインストリートは、電線類の地中化や流雪溝の整備のほか、住民相互に建築協定を結ぶことで「自然と調和した美瑛の玄関口」にふさわしい街並みが広がります。

Data 上川郡美瑛町本町4丁目6番1号
TEL 0166-92-1111
FAX 0166-92-4414
www.town.biei.hokkaido.jp

[移住定住]

ヨーロッパのような美しい景観を有する美瑛町は、道内外の多くの方々から移住先として選ばれています。二地域居住体験住宅での生活体験をはじめ、定住住宅取得における支援や出産前から高校卒業までの幅広い子育て支援等の制度を用意しています。民間賃貸住宅の家賃助成やテレワーク推進等の制度を拡充し、定住人口の増加と関係人口の拡大を目指しています。

37



一般社団法人旭川建設業協会

地域の発展を支え、災害に強い国土づくりのための社会資本整備、地域建設業の健全な発展。また、入職促進に向けた事業・人材育成の為に各種講座の開催・死亡労働災害絶滅に向けた事業、大規模自然災害等への対応～緊急連絡体制の整備・事業継続計画(BCP)の整備、CSR活動の推進・新型コロナウイルス感染症対策の整備・SDGsへの取組み。

Data 旭川市5条通5丁目左10号
TEL 0166-22-5144
FAX 0166-23-7937
www.asaken.jp

38

一般社団法人旭川建築協会

当協会は設立40周年を迎えようとしており、「まもりすまい保険」の一般事務機関として、新築住宅・既存住宅を対象とした各種「住宅瑕疵保険」の現場検査を行うほか、「住まい給付金」・グリーン住宅ポイント等の受付窓口などを担っています。また、協会各委員会を中心としたセミナー・安全大会・旭川工業現場見学会・安全パトロールなども実施しています。

Data 旭川市永山9条1丁目3-10
TEL 0166-25-4033
FAX 0166-26-3865
www.asakenkyo.or.jp

41



旭川大学・旭川大学短期大学部

本学の建学の理念は「地域に根ざし、地域を拓き、地域に開かれた大学」です。研究室の多くが、地域をフィールドに、地域貢献を見据えた実践的学習に取り組んでいます。たとえば私たち江口ゼミは「永山商店街MAP」の発行や「ラーメン甲子園」の開催などで地域の魅力を発信しながら、生きた経営理論の修得に励んでいます。また大学院の磯田ゼミは2006年に「君の椅子プロジェクト」を企画。誕生する子どもを迎える喜びを地域で分かち合いたいとの想いが今に続いています。

Data 旭川市永山3条23丁目1-9
TEL 0166-48-3121
FAX 0166-48-8718
www.asahikawa-u.ac.jp

Event Schedule 9月19日(日)
会場／オンライン開催
【未来の買物公園を描こう!】江口ゼミナール
詳しくは34、35ページをご確認ください。



42



あさひかわ農業協同組合

旭川市は、豊かな水資源と肥沃な土地、気象条件に恵まれ、稲作を中心に畑作・野菜・花き・果樹及び畜産等、幅広く農産物を生産しています。JAあさひかわは、きめ細やかな信用・共済サービス、安全安心な農畜産物の生産・販売を通じて地域社会のニーズに応えながら、「食料基地 北海道」を支える重要な役割を果たしています。

Data 旭川市豊岡4条1丁目1番18号
TEL 0166-31-0111
FAX 0166-31-1555
www.ja-asahikawa.or.jp

39



あさひかわ商工会

地元の小規模事業者や、起業を希望する方々に寄り添って、経営改善を図るための様々なお手伝いを行っています。「経営の問題点を整理して、売上を伸ばしたい」「経理(記帳、会計ソフト操作)や税務申告の仕方を知りたい」「経営に関するセミナーや異業種との交流の場に参加したい」といったご相談に、親身になってお応えしていきます。

Data 旭川市永山2条19丁目5-11
TEL 0166-48-1651
FAX 0166-47-6829
asahikawashokokai.info

40



旭川商工会議所

地域の商工業者の世論を代表し、商工業の振興に力を注いで、国民経済の健全な発展に寄与するための地域総合経済団体です。経営相談や融資制度、人材育成といった経営支援のほか、共済・保険制度によるリスク対策、あさっぴーNEWSをはじめとする情報提供サービスなど、多岐にわたる事業を通して地域経済の活性化をサポートしています。

Data 旭川市常盤通1丁目
TEL 0166-22-8411
FAX 0166-22-2600
www.ccia.or.jp/index.html
[あさっぴーNEWS]
www.ccia.or.jp/service/
asappynews/index.html



43

旭川発明協会

旭川発明協会では知財の活用を通して約80名の会員と共に、経営に役立つセミナーや情報交換会など様々な事業を展開しています。また、弁理士による「発明特許無料相談室」を毎月2回開催し、工業所有権(特許・実用新案・意匠・商標)に関する相談に応じるなど、発明・考案を志す個人・企業をバックアップしています。

Data 旭川市常盤通1丁目
TEL 0166-22-8414
FAX 0166-22-2600

44

一般社団法人旭川物産協会

当協会は、旭川市及び道北・オホーツク圏の特産品を広く国内さらには海外へ紹介・宣伝、あるいは取引の斡旋を目的に、昭和41年に発足、平成23年に一般社団法人化をしました。道の駅あさひかわ売店や、JR旭川駅内の「駅naka」売店の運営、北海道物産展への斡旋紹介等を積極的に行っています。

Data 旭川市神楽4条6丁目1番12号
TEL 0166-62-1001
FAX 0166-62-1002
www.asahikawa-bussan.net

45



特定非営利活動法人
カムイ大雪バリアフリー研究所

特定非営利活動法人 カムイ大雪バリアフリー研究所

障がい当事者がリードする優しいまちづくりを目指す「車いす紅蓮隊」と、旭川医科大学をはじめとする地域の大学関係者、病院・介護福祉関係者、観光関連企業、市民団体等で構成するNPO法人です。座って楽しむスキー「ローラースittingスキー」の体験交流への取り組みを通じ、全国大会の持ち回り開催へ向けた準備を進めています。

Data 旭川市東旭川町旭正315番地2
TEL 0166-38-8200
FAX 0166-38-8211
npo.kamui-daisetsu.org

Event Schedule 9月18日(土)
会場 / オンライン開催
【誰にもやさしいまちづくり】
詳しくは34,35ページをご確認ください。



47



一般社団法人北海道建築士会旭川支部

建築士の品位の保持・技術の向上及びその業務の進歩改善を図り、広く社会公共の福祉増進とあわせ北方建築文化の進展に寄与する事を目的とした組織です。旭川支部は現在382名の会員を有し、「建築士の日」である7月1日には毎年チャリティービールパーティーを開催。収益金の一部を「あさひやま”もっと夢”基金」へ寄贈しています。

Data 旭川市9条通12丁目 ハタケヤマビル6F
建築指導センター旭川支所内
TEL 0166-22-8894
FAX 0166-26-1758
www.h-ab.com

45-48
PARTICIPANTS,
SCHEDULE

46



商工組合中央金庫 旭川支店

商工中金は中小企業者・中小企業組合のための金融機関です。深い対話を通じ、様々な課題やニーズを把握する事業性評価を起点として、景気に左右されない安定的な金融スタンスで中小企業のお客さまを支援しています。ウィズコロナの新常態に対応したビジネスモデルへの変化等、お客さまの悩みに寄り添いながら伴走でサポートしてまいります。

Data 旭川市5条通9丁目1703-81
TEL 0166-26-2181
FAX 0166-24-3869
www.shokochukin.co.jp



www.asahikawa-kagu.or.jp

旭川家具&クラフトショップ
**ASAHIKAWA
DESIGN CENTER**

旭川デザインセンター

079-8412 北海道旭川市永山2条10丁目1-35 TEL 0166-48-4135
土・日曜、祝祭日もOPEN(火曜定休・年末年始と盆休館) 営業時間 / 10:00~17:00

48



一般社団法人 北海道建築士事務所協会 旭川支部

昨年、創設70周年を迎えた当支部は現在58社が加盟。建築や環境が文化の形成に占める重要な意味の認識に基づき、社会の健全な進歩と発展に寄与しているところです。ボランティア塗装や清掃、お菓子の家づくりコンテスト、献血活動等を通じて地域と密着した社会貢献活動の推進を図り、地域に必要とされる協会を目指しています。

Data 旭川市9条通12丁目 ハタケヤマビル6F
建築指導センター旭川支所内
TEL 0166-22-8894
FAX 0166-26-1758
do-kjk.or.jp/shibu/asahikawa



鉄は
地域を支える
「ものづくり」

旭川機械金属工業振興会
旭川鐵工組合
旭川溶接協会
(一社)北海道機械工業会旭川支部

未来に翔く産業基地

おかげさまで20周年をむかえました

since 2002 20th



旭川工業団地協同組合

理事長 佐々木 通彦
(株式会社 エフ・イー 代表取締役)

副理事長 田村 総司郎
(株式会社 総北海 代表取締役)

副理事長 浅井 傑
(株式会社 片桐紙器 代表取締役)

組合員 (順不同)

三葉製菓 株式会社	有限会社 市川技研工業	有限会社 宇治板金工業所	ユート運輸倉庫 株式会社
株式会社 ノーザン	株式会社 協和制御	大船鉄工 株式会社	株式会社 高田鉄工所
株式会社 アルフレックスジャパン	株式会社 コーエキ	株式会社 酒井金属	北中商運 株式会社
株式会社 アールエフ	小林通商 株式会社	北進開発 株式会社	有限会社 旭信マーク
正和電工 株式会社	株式会社 サンガルバ	渡辺製機 株式会社	竹本容器 株式会社 ジェイ・プラ事業所
株式会社 ビュート	有限会社 インテリア平田塗装	株式会社 ダスキンプラダクト北海道	道央食糧供給 株式会社
旭川調理師専門学校	北日本機械 株式会社	今井金商 株式会社	第一建設 株式会社
株式会社 伊藤モーターズ	株式会社 ケンリツ	信越産業 株式会社	旭建サッシ工業 株式会社
日建片桐リース 株式会社	(有) キョクテツ銅業	株式会社 大正興業	有限会社 エムス計画
日本仮設 株式会社 旭川営業所	株式会社 片桐紙器	株式会社 旭川アートプロセス	株式会社 旭川物流
株式会社 フタバ	株式会社 檜山鉄工所	株式会社 寒地防水	安田清掃 有限会社
上原ネームプレート工業 株式会社 旭川事業所	株式会社 弁釜	有限会社 中村空調設備	稲井電機 株式会社
株式会社 ロバ菓子司	ヤンマーアグリジャパン 株式会社	有限会社 東豊自動車工業	株式会社 テラニシ
株式会社 北海道カワゾエカンパニー	アスタ 株式会社	株式会社 温井塗装	株式会社 旭川食品
株式会社 ニチダン旭川	株式会社 田中シール印刷 旭川工場	東豊制御 株式会社	株式会社 ひだの塗装工業
特一番	株式会社 モダンデンタルラボラトリー	有限会社 メタルクラブト	丸駒シビルサービス 株式会社
株式会社 総北海	株式会社 やくしん	有限会社 高田鋸鉄工所	旭川環境整備事業 協同組合
株式会社 ドルック	株式会社 北日本工業所	協和電工 株式会社 旭川支店	株式会社 外崎工作所
株式会社 サークル商事	株式会社 ワテックス北海道	株式会社 鈴木商会	旭東清掃 株式会社
有限会社 ササキ工業	株式会社 エフ・イー	株式会社 三洋	北海道エア・ウォーター (株)
			平和建設 株式会社
			株式会社 道新総合印刷 旭川工場

賛助会員 (順不同)

(株) KP産業	日本図書輸送 株式会社	株式会社 北海ケミカル	株式会社 旭川あんしんプランナー
株式会社 大和	レンゴー株式会社 旭川工場	株式会社 ロバパン	旭川高砂台万葉の湯
有限会社 杏和建具	旭川市森林組合	ワタキューセイモア 株式会社	株式会社 リフロメタル
株式会社 サングリン太陽園	旭川市工業技術センター	株式会社 フィール	北海道キリンビレッジ 株式会社
		医療法人社団 慶友会 吉田病院	株式会社 トミイチ



IFDA

INTERNATIONAL FURNITURE DESIGN COMPETITION
ASAHIKAWA 2021



1990年、「デザインは愛、木とくらし」を
スローガンに始まったトリエンナーレ
「国際家具デザインフェア旭川 [IFDA]」は、
30余年の歳月を重ね、今回が11回目の開催となりました。
メイン事業であるコンペティションは、
世界的にも珍しい、木を主材とした質の高いアワードとして知られ、
若いデザイナーが世界を目指す登竜門となっています。
この実績が旭川市の
「ユネスコ創造都市ネットワーク」加盟認定(2019年)につながり、
旭川は名実ともに「デザイン都市」として歩き出しました。
今年のIFDAはその大切な第一歩です。
「デザインは愛」という原点に立ち返り、
こうした時代においてデザインにできることを
考える機会にしたいと思います。

国際家具デザインコンペティション旭川 2021
INTERNATIONAL FURNITURE DESIGN COMPETITION ASAHIKAWA 2021



IFDA2021

Gold Leaf



渡辺 賢 Ken Watanabe / Japan

1980年 静岡県生まれ
 2004年 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科インテリアデザインコース 卒業
 2004～2006年 同大学インテリア研究室 教務補助員
 2006～2010年 デザイン事務所勤務 デザイナー
 2011年～ フリーランスデザイナーとして活動
 2012年～ 女子美術大学デザイン・工芸学科プロダクトデザイン専攻 助教
 【受賞歴】
 2005年 国際家具デザインコンペティション旭川2005 入選
 2006年 第5回暮らしの中の木の椅子展 入選
 2006年 ミラノサローネWallpaper* Global Edit exhibition 選出
 2014年 NEWSD UPCYCLE DESIGN AWARD 2014 グランプリ

Award-Winning Entries and
Final Pieces of the International Furniture Design Competition



デザインコンペティション 入賞入選作品展

世の中の変化を反映した結果となった、今年のコンペティション。これまで椅子の受賞が圧倒的に多かったゴールドリーフ賞に、デスクが選ばれています。植物を組み合わせた、アクリルや布、フェルトといった異素材を使うなどユニークな発想が光る24作品が並びました。

会期 6月16日(水)～9月26日(日)

10:00～17:00

会場 旭川デザインセンター

(北海道旭川市永山2条10丁目1-35)





IFDA 基調講演

今回デザインコンペティションの審査委員長を務めた藤本壮介氏がオンラインで講演。旭川近郊の東神楽町出身という縁もあり、今後も旭川に関わっていきたいと話す藤本氏が、「空間から見る家具の在り方」「インテリアの未来」などについて建築家の視点から語りました。



藤本 壮介

Sou Fujimoto / 建築家

1971年北海道生まれ。東京大学工学部建築学科卒業後、2000年に藤本壮介建築設計事務所を設立。2005年を皮切りに若手建築家の国際的な登竜門であるAR awardを3年連続で受賞し一躍注目を浴びる。2008年、JIA日本建築大賞とWorld Architectural Festival—個人住宅部門最優秀賞。2009年、wallpaper誌のDesign Awards2009を受賞。2010年には、Spotlight : The Rice Design Alliance Prizeを受賞。2011年の国際設計競技で「ベトンハローウターフロントセンター」及び「台湾タワー」で最優秀賞を受賞。主な著書に「原初的な未来の建築Primitive Future」「建築が生まれるとき」「藤本壮介読本」がある。自然と人工物の狭間にある新しい形と空間を探索する建築はこれから更に進化する事を期待されている。

日時 6月16日(水) 16:00~17:00

会場 オンライン開催



国際家具デザイン コンペティション旭川 表彰式

ゴールドリーフ賞を受賞された渡辺賢氏、藤本壮介審査委員長、廣村正彰審査委員と会場をオンラインで繋ぎ、入賞入選された皆さんの栄誉を称えました。渡辺氏は受賞作品の解説とともに、「旭川とこれからも繋がりが持てるとうれしい」と話しました。

日時 6月16日(水) 17:00~18:00

会場 オンライン開催





Design Stories from IFDA デザイナーとつくる、 暮らしのストーリー。

1990年の第1回から2017年の第10回まで、30年間の「国際家具デザインフェア旭川[IFDA]」の歴史と未来が体感できる特別展です。メインイベントであるコンペティションでは、入賞入選作品を通じて世界のデザイナーと旭川のメーカーがつながりさまざまな挑戦が生まれています。今回はその中の6人のデザイナーと5つのメーカーが協働し、「暮らしのストーリー」として作品のある小部屋をコーディネート。また、30年が見渡せる「IFDAヒストリートンネル」や旭川家具の未来をイメージする「IFDAシアター」など、充実した展示となりました。

会期 4月7日(水)～9月26日(日)

10:00～17:00

会場 旭川デザインセンター
(北海道旭川市永山2条10丁目1-35)



ミッコ・ハロネン × カンディハウス

「Design from Finland」

旭川に根づく自然の素材感やぬくもりにこだわるものづくりと、美しく実用的なフィンランドデザインを通じて北欧と旭川の「感性の近さ」に触れてみてください。



牧野 仁 × ワカサ

「個性と向き合う唯一無二の空間」

独特な存在感を放つ「ARCチェア」を中心に、卓越した技術とデザインから生まれる洗練された空間を体感してください。



野村 悠 × 大雪木工

「月を見上げる時間」

壁面収納「moon」を中心に、北海道産のハンノキを使ったやさしい家具を配置。せわしない現代の暮らしに、月を見上げ穏やかな心でくつろぐ空間を提案します。



松岡 智之 × 匠工藝

「Denmark Apartments」

小さくても大好きが詰まった空間。寝起きのコーヒーも友人とのスクイブもすべて、「くらし」の中心であるダイニングテーブルで。コーナーコーナーでは音楽と読書を。



チョン・ウジン & 桐本隆士 × メーベルトーカー

「音楽と共に働き、愉しむ。」

チェロ奏者のための「ハーフチェア」、自然の原理からデザインされたシェルフ「ソラヘ」とデスクを組み合わせ、「働く」と「愉しむ」が共存する豊かな暮らしを提案。



「IFDA ヒストリートンネル」

30年におよぶIFDAの歴史を、旭川家具デザインの変遷を織り交ぜながら辿ります。写真や図録、雑誌など貴重な記録とともに受賞作品も展示します。

「IFDA シアター」

IFDAに関する貴重な映像をデジタル化、大画面で臨場感たっぷりに映し出す特設シアターです。



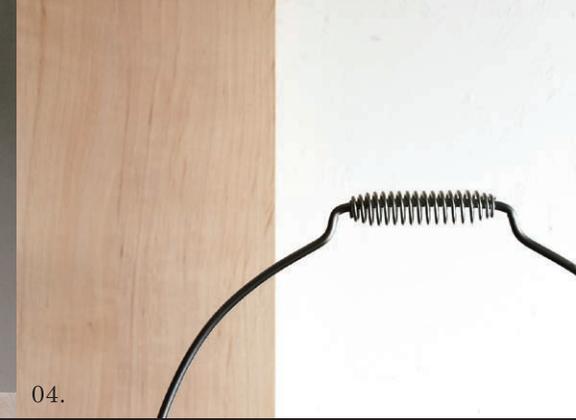
01.



02.



03.



04.

旭川家具 エキシビション & 新作家具

45のメーカー・団体が新作発表や空間提案を行いました。北海道産材を使った家具の比率が格段にふえているほか、新しい工房が加わったり、家具とともにアウトドアギアが登場するなど、例年にもましてアクティブな旭川家具をご観いただきました。



会期 9月15日(水)～19日(日)
10:00～17:00

会場 旭川デザインセンター
(北海道旭川市永山2条10丁目1-35)

01.

「MARENCO(マレンコ)」
マリオ・マレンコ × アルフレックス

今年で発売50周年を迎えたロングセラーモデル。あたたかく無駄のない個性的なフォルムが日本人の美意識をとらえ、どの時代にあっても熱く支持されてきました。改良を重ね、随所に盛り込まれた国産化ならではのすぐれた機能が不動の人気を支えています。

02.

「コーラルリーフ」
宮田産業

壁を背にすることなく空間に美しく収まり、多方向から座面へアクセスできるソファ。2種類のスツールに可動式バックレストや振り子式アームクッション、背当てクッションを組み合わせることで、どんな体型の方もくつろげる画期的モジュラーソファになります。

03.

「skåp(スコープ)」
東10号工房(monokraft × enao)

少し長めの脚がついた北欧スタイルの食器棚です。外部はウォールナット突板合板、内部は塗装したシナ合板、引き出し前板はメイプル無垢材、引手と蝶番金物は真鍮製。キッチン吊戸棚にその座を奪われた食器棚を、もう一度ダイニングルームの主役として。

04.

「大雪木工と4つのものづくり」
大雪の大切プロジェクト + 小泉 誠

6年目を迎える大雪の大切プロジェクト。今年は「大雪木工と4つのものづくり」をテーマに、日本のものづくりに学ぶ「漆」「灯」「鋼」「時」をキーワードとした4つの新たな取り組みを、ツキ板倉庫ギャラリーで発表いたします。



05.



06.

WHAT
W
WANT

09.



10.



07.



08.



11.



12.

05.

「JAM」

アーリー・タイムス アルファ

北海道産ナラで製造した好評の「JAM」シリーズに、サイズ違いや新アイテムが登場。木と布を組み合わせたベッド、チェスト、サイドボード。重厚感と開放感を兼ね備えたシェルフキャビネットは、飾り棚やテレビボード、間仕切りにもなるマルチな新作です。

06.

「WHAT WE WANT」

インテリア北匠工房

木製アウトドアギアのカレーブランドが北海道に誕生。「モノが溢れる時代に必要なモノづくり」に対するひとつのアンサーとして、「使い手が本気で欲しいと思えるギア」をアウトドア環境豊かな家具産地、旭川から発信します。

09.

「CRAFT」

小林 幹也 × 匠工芸

「CRAFT(技術)」と名付けたこの椅子は、企業理念「心に届ける」を体現する椅子づくりのプロジェクトから生まれました。細部に至るまで妥協することなく吟味を重ね、身体と空間に心地よく馴染むアイテムとして提案いたします。

10.

「NOORA(ノーラ)」

807design × AISUproject

季節や気分に応じて背、座のクッションを裏返しにすると、まったく違う表情を見ることが出来ます。特徴的な形のクッションは椅子に近い掛け心地で、立ち座りがしやすく、包み込むというよりも寄り添ってくれる、そんなソファです。

07.

「SAN」

ミハエル・シュナイダー × カンディハウス

北海道産カバ材を使用した新作チェア。緻密で上品な木質感が、ドイツ人デザイナーのミハエル・シュナイダー氏による軽やかなデザインを引き立てます。ホームユース、コンラクト市場に向けてもお選びいただきたい一脚です。

08.

「M.C.Chair」

橋本 誠 × メーベルトーコー

2017年IFDA記念制作展作品を商品化しました。継続的にIFDA応募作の製品化に取り組んでいるメーベルトーコーが、今年も「PALAPALA」、「SORAHE」と「half chair」の限定モデルを出展予定。また、その一部のアイテムへの北海道産材の使用を積極的に試みています。

11.

「coa」

伊賀 信 × コサイン

幾何学をベースとしたアーティストによってデザインされた「coa」は、どの空間にも馴染み、ライフスタイルにピタッとハマるシリーズです。どこにでもあるようでどこにもない、誰もが“こころ”に思い描く、シンプルで愛らしい“もの”ができました。

12.

「Dear SHAKER BENCH II」

TAKAFUMI ARAKI × kochia

kochia craft design laboratoryは、家具や生活道具のデザインと製作、クラフトを捲えたりモデラーとして造形を行いながら、ものづくりの研究を行っています。「MEMU EARTH HOTEL」の客室家具を家庭用にブラッシュアップした、「Dear SHAKER BENCH II」を発表します。

ともにつくる暮らし。

From
Hokkaido
with care
& respect

カンディハウスはこれからも、
北海道の森と生きていきます。

私たちが生業とする家具の製造は、天然資源である森の木を原料に成り立っています。

地球環境問題が深刻化する中、あらためて私たちは1968年の創業当初から大切にしてきた

「自然と調和したものづくり」を強く意識するようになりました。

一本の木を、端材や木屑まで使いきるの言うまでもなく、

2013年からは、木材の輸送エネルギーを少しでも削減するため、

輸入材を順次北海道産材に切り替えてきており、

10%以下だった道産材比率は2021年中に50%を超える見込みです。

生活空間の心地よさが重視される時代。

カンディハウスはこれからも環境に負荷をかけない製造、輸送、販売に努めながら、

長く使える丈夫で美しい暮らしの道具を皆さまにお届けしていこうと思います。

北海道に育つ広葉樹をモチーフにしたロゴマークと、

夏に繁るミズナラの葉色のコーポレートカラーとともに、

カンディハウスは新たな時代へ向け歩き出します。



木製家具メーカーとしての、自然環境と調和したものづくり。

私たちの姿勢を表現する新しいロゴマークをつくりました。

株式会社 カンディハウス

www.condehouse.co.jp

ASAHIKAWA SAPPORO TOKYO YOKOHAMA NAGOYA KYOTO OSAKA FUKUOKA U.S.A. EUROPE

※2021年5月1日ロゴマークを新たに制定。

MANUFACTURERS

参加企業・団体のご紹介

※記載は五十音順ですが、内容により一部順番が前後しています。

01-04

MANUFACTURERS

01



株式会社アーリー・タイムス アルファ

好評いただいている「Jam」シリーズのアイテムがふえました。また新たに、空間を好きなように演出する家具「attacca (アッタカ)」と、木と異素材を有効に使い独自の感性で表現できる「BANDA (バンダ)」シリーズがデビュー。高さ違い(720~650mm)の丸テーブルと4タイプの椅子で、ゆったりくつろげる丸テーブルの魅力をお確かめください。さらに本ショールームでは新効果「リフレクト」がご体感いただけます。

Data 上川郡東川町北町13丁目1番1号
TEL 0166-82-2400
FAX 0166-82-2435
www.early-times.jp



02



アイスプロジェクト

「807design」による新作「NOORA (ノーラ)」は、季節や気分に応じて背、座のツートンカラーのクッションを裏返しにできるこれまでにないソファです。やや角度のついた背と座は椅子に近い掛け心地で、立ち座りしやすいのが魅力。北海道産のナラ材のフレームと、「使い捨てない、長く愛す」のコンセプトを体現するサステイナブルな構造も大きな特長です。

Data 旭川市永山4条2丁目2-5
TEL 0166-49-7736
FAX 0166-49-7737
www.aisuproject-mori.com



03



株式会社明石木工製作所

学校、病院、公共施設から一般住宅までの建築造作家具の設計、製作、現場施工を主力としています。お客様をデザイナーと位置付け、希望を第一に設計、製作を進めます。壁面家具は固定して耐震対応を行います。

Data 旭川市流通団地2条1丁目7番地
TEL 0166-40-4766
FAX 0166-40-4767
akashi-mokkou.jp



04



株式会社アルフレックスジャパン

発売50周年のロングセラーモデル「MARENCO (マレンコ)」。あたたかく無駄のない個性的なフォルムが日本人の美意識をとりえ、国産化で随所に盛り込まれた機能が不動の人気を支えています。旭川デザインセンターではその「MARENCO」を展示。また市内「上野ファーム」のガーデンで、当社が取り扱うイタリアのアウトドア家具ブランドRODA (ロダ) の製品を多数ご覧いただけます。

Data 旭川市工業団地1条1丁目2-15
TEL 0166-36-6672
FAX 0166-36-7666
www.arflex.co.jp



05



株式会社いさみや

「LIKIDS」「PON FURNITURE」を手掛けたS&O DESIGNの清水久和氏と、新たな家具シリーズを開発しました。どうぞご期待ください！

Data 旭川市永山北2条9丁目1-2
TEL 0166-48-0200
FAX 0166-48-2292
www.isam-net.co.jp



06



有限会社インテリア北匠工房

木製アウトドアギアのガレージブランド「WHAT WE WANT」を発表します。「モノが溢れる時代に必要なモノづくり」に対するひとつのアンサー、「使い手として本気で欲しいと思えるギア」をアウトドア環境豊かな家具産地、旭川から発信していきます。人気のSAPシリーズにはベッドラインが登場。広くなったショールームと新設の屋外テラスで、イン・アウト双方の木製家具をご体感ください。

Data 上川郡東神楽町北1条西4丁目1-1
TEL 0166-74-4890
FAX 0166-74-4873
hokushokobo.co.jp



07



株式会社ウッドパーツ

道内、関東近郊を中心に施設、店舗、住宅などさまざまなオーダーメイドの家具、什器、建具を製造から取り付けまで行っております。お客様の声を聞き、ご満足いただけるものをお届けできるよう心掛けております。

Data 旭川市永山北4条6丁目2-23
TEL 0166-49-6685
FAX 0166-47-0366
www.woodparts.co.jp



08



株式会社ウッドワーク

高品質、少ロット、多品種の特注家具製造をメインとし、OEM、オリジナル家具を製造販売をするメーカーです。20～30代の若手を中心となり、地域によっては現地調査、設計、製作、取り付けまでおまかせいただけます。オリジナル製品として、日々の食卓を豊かにするおふたり様用の食卓セット「膳」(トレー、お箸、箸置き、コースター)を工場内のショップで販売中。ギフトにもどうぞ。

Data 上川郡東川町北町7丁目11番地16号
TEL 0166-82-3920
FAX 0166-82-4043
woodwork-h.jp



09



有限会社エフ・ドライブデザイン

弊社が運営するカフェ「Palemta」のダイニングテーブル、チェア、ソファを新作として発表します。また新事業のマンションリノベーションは、家具だけでなく建具や壁紙、照明、キッチンなど細部に至るまで当社でつくりました。

Data 旭川市永山2条10丁目1-35
(旭川デザインセンター隣)
TEL 0166-76-9981
FAX 0166-76-9980
www.f-d-d.com



10



株式会社オークラ

北海道産のトドマツ、ヤマザクラ、ナラなどの材料を使用して家具を製作しています。オーダー製品づくりを充実させていきます。

Data 旭川市南6条23丁目1976
TEL 0166-31-9735
FAX 0166-32-4730



11



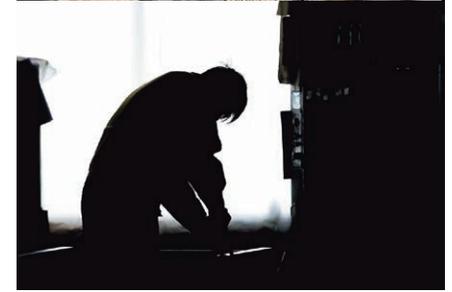
株式会社ガージーカームワークス

創業12年目、14名のgauzy calm worksは自社デザインによるオリジナルブランド展開、お取引先からの依頼による特注家具製作に加えてインテリアデザイン業務を開始するなど幅を広げて活動しています。今回は技能五輪国際大会の課題をイメージし、その技術向上を目指した製品を発表。ショールームではボッシュビルトイン食洗機の道北唯一の販売店として、実機をオーダーキッチンとともに展示しています。

Data 工場／旭川市豊岡2条5丁目3-7
TEL 0166-39-3202
FAX 0166-39-3203
gauzycalm.com
ショールーム／旭川市東光13条5丁目2-29



12



有限会社加藤木工

企画からデザインまでを自社工場の手掛け、アンティーク調家具や5本脚ツールなどを筆頭に、オーダーメイド家具やOEMなど幅広く対応しています。レーザー加工を施したコースターで木の質感を感じてください。

Data 上川郡東川町北町12丁目2-1
TEL 0166-82-6666
FAX 0166-82-6667
www.katohmokkou.com



13



河本家具工業有限会社

オーダーメイド家具やOEMに幅広く対応する特注専門メーカーです。Basis様とコラボした新作キッチン、一般的なモダンデザインではなく安定感と落ち着きのあるフォルム。ディテールにこだわりつつ、全体をひとつの塊に見せることで心地よいLD空間を目指しています。

Data 旭川市永山4条4丁目10-9
TEL 0166-47-3324
FAX 0166-47-3721
kawamoto-f.net



14



さまざまなライフスタイルに合わせたシーン提案。

ワークスペースにも対応する新作「SANJ」。

株式会社カンディハウス

地球環境に配慮した企業活動と、感性豊かなデザインの具現化をテーマに、創業50周年を迎えた2018年より「リブランディング」に取り組んできました。その成果のひとつが、木の家具がもたらす心地よい暮らしを表現する「18のライフスタイルシーン」の提案。リビング、ダイニングをはじめこのころ需要が高まるワークスペースなどをトータルコーディネートし、新作とともに発信しています。

Data 旭川市永山北2条6丁目
TEL 0166-47-1188
FAX 0166-49-2225
www.condehouse.co.jp



15



株式会社北の住まい設計社

2020年11月、地球環境のための組立家具シリーズ「LIM(リム)」を発売。私たちが大切にしてきた「職人の手仕事・無垢材・天然塗料」はそのままに、輸送エネルギーにも配慮。北海道産無垢材を無駄なく使い、小さな梱包で送り届けるため木取りからパッケージングまですべてを見直しました。大量生産を目的とした安価な組立家具の既存概念を覆す、新たな価値観の創造を目指しています。

Data 上川郡東川町東7号北7線
TEL 0166-82-4556
FAX 0166-82-3775
www.kitanosumaisekkeisha.com



17



木と暮らしの工房

持続可能な森林利用とモノづくりを目指して産官学で立ち上げた「白樺プロジェクト」も3年目。今年は北海道大学などの研究機関と取り組む「サイエンスカフェ」を通して、北海道の森林の歴史や現状、特注物件や楽器製作などの事例をお伝えします。シラカバ製品の展示ではデスクと周辺アイテムを提案。情報機器との相性を考えた、パーソナルで長く愛用できるオーダー製品です。

Data 上川郡東川町西11号北29番地
TEL 0166-73-9202
FAX 0166-73-9204
kitokurashi-no-koubou.com



18



CFTM
Create Furniture

株式会社クリエイティブファニチャー

私たちのものづくりの原点は、どんな時代にも通用するデザイン。質感、つくりへのこだわりを大切にしています。今年のADWでも旭川という産地の特性を生かした「人によるこぼれるものづくり」をテーマに、皆様のご来場をお待ちしております。

Data 本社 / 旭川市東8条6丁目3-5
TEL 0166-26-6066
FAX 0166-24-4312
www.create-furniture.co.jp
永山工場 / 旭川市永山北3条6丁目2-38
TEL 0166-74-3900
FAX 0166-74-3901



19



工房樺

ウォルナットや北海道産のヤマザクラを使用した家具をはじめ、デザインから製作まで手掛けている個人工房です。確かな技術とていねいな仕事により、長く愛用される家具を製作。使い心地のよいシンプルなデザインを心掛けています。それぞれのこだわりをご覧ください。

Data 旭川市西神楽4線7号1-51
TEL&FAX 0166-66-3188



20



工房ペッカー

昨年から企画がスタートし、工房ペッカーの技術を駆使して開発してきた新作木製腕時計がようやく完成しました!精密な腕時計を「木」で表現。当社の特徴である寄木も希少な材料を使って組み込んでいます。木製なのでとても軽くぬくもりのある腕時計です。一見の価値あり!

Data 旭川市東光18条4丁目4-9
TEL 0166-33-8783
FAX 0166-32-3350
peckerweb.com



21



工房まみあな

定番のテーブルを、細かなところまでお客様のご要望に応じてつくっています。今回はオイルフィニッシュのような自然な風合いと通気性を残しつつ、より汚れや溶剤に強く中性洗剤やアルコール除菌剤が使える、ガラス系の塗料をテーブルトップに使用しました。

Data 旭川市東旭川町瑞穂25-8
TEL 0166-76-3700



22



工房宮地

新作椅子は工房宮地30周年記念で製作した「Dチェア：30th（サーティエス）」。「好評のUチェアのダイニングタイプで、30年の椅子製作経験から究極の背当たりを追求しました。ショールームでは家具と一緒にその材料であるオニグルミ材を展示。すべての材料にGPS座標データがついており、その木がどの山のどの切り株かわかります。ブックマッチ、耳付き仕上げのテーブルにもご注目ください。

Data 上川郡東川町西2号北10番地
TEL 0166-82-2167
www.13.plala.or.jp/kouboumiyajii



23



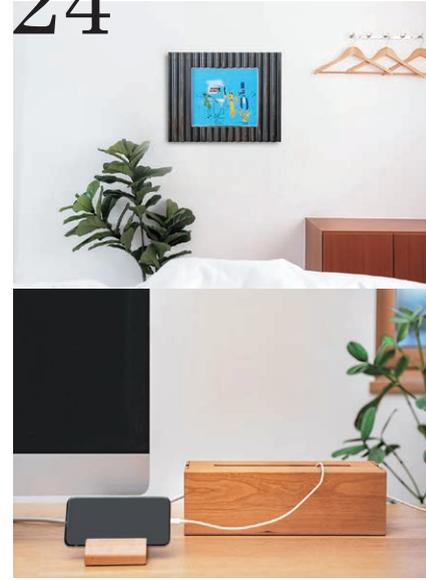
kochia

「kochia／コキア」は家具や生活道具のデザインと制作、造形試作を行いながら、ものづくりを研究するデザイン事務所です。ADW2021では大樹町 [MEMU EARTH HOTEL] の客室家具を更新した新作「Dear SHAKER BENCH 2」やコンセプトモデルを発表します。デザインのこと、ものづくりのこと、その背景やこれからのことを一緒に考えていきたいと思っています。企画開発や商品開発、製品デザインの依頼やご相談をお待ちしています。イベント詳細はSNSやHPにてお知らせいたします。デザイン事務所kochiaはアポイント制のため、ご予約を頂戴しております。

Data 上川郡当麻町4条南3丁目3番10号
TEL 0166-56-8686
www.kochia-craft-design-laboratory.com



24



有限会社古径コスモ

住宅向けの造作家具、ホテル客室家具、大型ショッピングセンターやデパート内店舗の什器製作を請け負っています。今年は家具のほかにクラフトやアートフレームなど、独自のデザインと技術を生かした製品を多数開発しました。

Data 旭川市工業団地3条2丁目1-35
TEL 0166-36-2723
FAX 0166-36-3326
www.kokeycosmo.co.jp



25



株式会社コサイン

会場では幾何学をベースとする札幌在住のアーティスト伊賀信（まこと）氏がデザインを手掛けた、ワークスペースの新製品「coa」を発表。製品をつくる工程で出る小さな材料を使ったエカナ・レリーフと合わせ、独自の世界観で展示します。旭川本店では2008IFDAゴールドリーフ受賞者の河田敏宏氏による、プライベート空間のためのライフスタイル「Relaxing」をご体感いただけます。

Data 旭川市永山北3条6丁目2-26
TEL 0166-47-0100
FAX 0166-47-7450
www.cosine.com



26



有限会社さいとうデザイン工房

オーダー家具をメインに製造して20年余り。今年PNC複合ボーリングマシンを導入し、生産力向上により特注家具、OEMともこれまで以上にお客様のご要望に応じていきます。

Data 上川郡東川町北町9丁目1-22
TEL 0166-82-7060
FAX 0166-82-7066
www.1tenmono.net



28



株式会社ササキ工芸

「生まれ変わるササキ工芸」をテーマに、昨年3つのプロジェクトをスタートさせました。世界的な素材メーカーとの協業による新素材を使った「エシカルプロジェクト」、異なる産地の強みを生かした「産地間協業プロジェクト」、そしてササキ工芸の新しいあゆみを形にする「リニューアルプロジェクト」。国内外で活躍する3名のデザイナーとともに、10年先を見据えた小さな企業の大きなチャレンジが始まっています。

Data 旭川市永山14条3丁目4番10号
TEL 0166-25-2288
FAX 0166-22-2101
sasaki-kogei.com



29



ソファーク工舎

木取りから塗装、裁断縫製から張りまで、小さな工場で責任を持って一貫製作しています。家具づくりや販売だけでなく、購入していただいてから始まりと考え、末永くお使いいただけるよう椅子の張り替えなどのメンテナンスに力を注いでいます。

Data 旭川市永山町8丁目138番地2
TEL 0166-47-6553
FAX 0166-47-6898



30



株式会社大雪木工

小泉誠+平塚智恵美+村田一樹+畠山拓+大雪木工が、モノづくりのために大切なコトを探求し続ける「大雪の大切プロジェクト」。6年目の今年は、6月に初のオンラインイベント「事務所改装記念!ほろ酔いライブ with 小泉誠」を、9月には新たな「座」の可能性を探求した「座る | 居座る 展」を開催。箱を得意とし、その可能性を見出してきた私たちが、様々な「座のカたち」を再編集し、新作と共に展示しました。

Data 上川郡東川町北町4丁目13番2号
TEL 0166-82-2900
FAX 0166-82-2918
www.taisetsu-mokko.co.jp



31



タイム アンド スタイル

自然と共生してきた日本人と親しみのある木を用い、モダンプロダクトを製作しています。木材を独自に仕入れ、製材、乾燥、加工、仕上げまでを行う一貫生産のものづくりの現場をご紹介します。旭川デザインセンターでは、イタリアのインテリアブランドBoffi|DePadovaのパートナーシップによって誕生した家具コレクション「Time & Style édition」を展開。

Data 上川郡東川町北町4丁目13番2号
TEL 0166-82-7654
FAX 0166-82-7655
www.timeandstyle.com



22



株式会社匠工芸

昨年私たちは、企業理念「心に届ける」を体現した椅子づくりのプロジェクトを立ち上げ、デザイナー小林幹也氏とともに「CRAFT (クラフト)」と名付けた椅子を完成させました。今回はその新作と合わせて、JAZZシリーズをリニューアルした「JAZZ+ (ジャズプラス)」を展示。詳しくは弊社HPをご覧ください。

Data 上川郡東神楽町南1番通24番地
TEL 0166-83-4400
FAX 0166-83-4600
www.takumikohgei.com



33



東10号工房

東10号工房は、家具ブランドmonokraft(モノクラフト)を主宰するデザイナー清水徹と、家具工房enao(エナオ)の家具職人遠藤寛によって設立された家具工房です。キャビネットを中心に、清水がデザインと設計を担当し、スウェーデンの家具マイスターである遠藤がその製作を担います。適材適所に素材を配置したシンプルで機能的なデザインを、確かな手仕事でひとつひとつかたちにしていきます。

Data 上川郡東川町東10号南6番地
TEL 080-3170-0579
www.monokraft.jp/e10/



34



有限会社フレスコ

注文家具製造を主体とした会社で、個人邸から店舗、公共施設、OEMなどに対応しています。木工NC加工機を導入したことで、若手の職人の加工技術の幅が広がりました。特注家具工場ならではの品質を、熟練の職人の技術とともにお客様にお届けしたいと思っています。

Data 旭川市東鷹栖西3条6丁目2149-28
TEL 0166-74-5986
FAX 0166-74-6928



35



宮田産業株式会社

自由度と機能性、デザイン性を追求した新作「コーラルリーフ」を発表します。壁を背にすることなく空間に美しく収まり、多方向から座面へアプローチできるのが特長。対面式、アイランド式、ジェズロング式など自由な組み合わせが楽しめます。可動式の背当てバックレストや振り子式アームクッションで、画期的なモジュラーソファに変身する製品です。

Data 旭川市永山北3条6丁目4-21
TEL 0166-48-1768
FAX 0166-48-1986
www.miyata-sofa.co.jp



37



株式会社メーベルトーカー

IFDA 記念制作展の橋本誠氏の作品を商品化した「M.C.Chair」を出展。IFDA2005ゴールドリーフ賞桐本隆士氏の「SORAHE」とIFDA2011同賞ジョン・ウジン氏の「half chair」では、IFDA Anniversary限定モデルが誕生、旭川デザインセンターとショールームにて展示します。

Data 旭川市永山北3条6丁目4-32
TEL 0166-48-8222
FAX 0166-47-5260
www.mobeltoko.co.jp



38



山岡木材工業株式会社

当社は椅子の製作を得意としているメーカーです。すべての製品に北海道の木材を使用しています。今回も新製品を展示しますのでぜひご覧ください。

Data 旭川市永山1条18丁目1-43
TEL 0166-48-1286
FAX 0166-48-1929
www.yamaokamokuzai.co.jp



39



よしの工芸

北海道産キハダ材(シコロ)を原材料とし、天板、前板(扉・引き出し)、棚板、さらに引き手にも直材を使用し、家具づくりに取り組んでいます。木の節や耳板を生かした自然の表情が特長。直材+框組構造+なぐり加工で、1点1点違う製品が完成します。サイズオーダーにも対応します。

Data 旭川市神居町忠和246
TEL&FAX 0166-66-1634



41



有限会社ワカサ

知る人ぞ知る工場。多種多様な経歴の人が集まっています。シカゴから来たデザイナーや、空手世界チャンピオン、技能五輪日本代表などなど。必要とされる人でありたい、をモットーに個性豊かな仲間たちとモノを通して人間関係をつくっています。「決して、できないとは言いたくない」そんな情熱と思いやりのある会社です。

Data 旭川市永山町11丁目190番地
TEL 0166-47-6933
FAX 0166-47-9651
www.yu-wakasa.com



42



株式会社ドリーミーパーソン

今まではお客様の目に触れるところまでとどり着けなかった、木目や節の入った嫌われ者の木材や端材を活用した製品づくりにチャレンジしています。デザインや職人のセンスで魅力的に感じてもらえるようなひとつのブランドに育てていきたいと考えています。

Data 旭川市旭岡1丁目21-8
TEL 0166-50-3344
FAX 0166-50-3345
www.dreamyperson.com



43



旭川・家具工房連

デザインから制作まですべての工程をひとりで行う、個人工房が集まったグループです。個人工房ならではのデザインやこだわり、ほかとはひと味違う個性豊かな家具をご覧ください。オーダー家具も制作できますのでご相談ください。

代表 家具工房 伊庭善 / 伊庭 崇人
樹濃工房 / 杉達 浩昭
みんなの森工房 / 三浦 謙一
木工駄々 / 岡崎 功
木工房 木業デザイン / 根本 佳昭

Data TEL 0166-92-1510
(代表 / 家具工房 伊庭善)

16

株式会社北廊

Data 旭川市永山北3条6丁目3-22
TEL 0166-73-6947
FAX 0166-73-6957



27

有限会社さくら工芸

Data 旭川市東光2条2丁目3-1
TEL 0166-33-7417
FAX 0166-31-7700

36

むう工房

Data 上川郡東川町東4号南1
TEL&FAX 0166-82-5315
www.potato.ne.jp/mukaibou



40

有限会社ルートにし

Data 上川郡東川町北町12丁目3-1
TEL 0166-82-3751
FAX 0166-82-3787



国際家具デザインコンペティション旭川2021

審査の現場から

2021年3月8日。旭川デザインセンターの審査会場には、審査委員5名のうち日本人2名のみの姿がありました。

海外審査委員はオンライン参加のためモニターの向こうで手を振っています。

昨年予定していた本審査が新型コロナウイルスの影響で1年延期になり、2019年12月の予備審査から1年3カ月空けての本審査となりました。



Photo: David Vintiner

new

審査委員長
藤本 壮介
建築家



new

審査委員
廣村 正彰
グラフィックデザイナー



new

審査委員
タッカー・ヴィーマイスター
アメリカ
インダストリアルデザイナー



審査委員
アン・レイス・ソマー
デンマーク
デザインミュージアムデンマーク館長



new

審査委員
マイケル・ヤング
香港
プロダクトデザイナー



International Furniture Design Competition Asahikawa 2021

IFDAは次の時代へ

「国際家具デザインコンペティション旭川」は、1990年に始まったデザインの祭典「国際家具デザインフェア旭川[IFDA]」のメイン事業として、3年に一度の開催を続けてきました。前回2017年に節目となる10回を数え、11回目の今年はIFDAが次の時代へ向かう第一歩となります。

世界37カ国・地域から寄せられた588点の応募作のうち、2019年12月12日の予備審査(画像審査)を通過した24作品が、実物となって旭川デザインセンターの審査会場に並びました。コロナの影響で海外審査委員は来旭が叶わず、IFDA史上初の半リモート審査です。審査中もコロナ時代を意識した発言が多く聞かれました。



こちらの「審査結果」で作品の画像がご覧いただけます。
www.ifda.jp/awards.html

3.2

8:00am JPT

- 8:00am～ タッカー・ヴィーマイスター
(ニューヨーク/3.1mon. 6:00pm)
- 2:00pm～ マイケル・ヤング
(香港/3.2Tue. 1:00pm)
- 5:00pm～ アン・ルイス・ソマー
(デンマーク/3.2Tue. 9:00am)

海外審査委員3名が
リモート事前審査
【審査会STEP1】



本審査の前に事前審査

海外審査委員には、予めオンラインで全作品を見る機会をつくりました。旭川が春の大雪に見舞われた3月2日、時差のため朝8時、午後2時、5時に各国と繋いで開催。カメラでディテールや人が腰掛けた様子を写して質問を受け、ひとり5～6点を仮選定します。

当初から、作品に触れずにどこまで審査できるかの懸念は誰もが抱いていました。3名の海外審査委員にもどかしさはあったはずですが、始めてみると「アップで写して」「クオリティはどう?」「掛け心地は?」と次々質問しながら情報をつかんでいき、日本のスタッフの心配も消えてい

きました。ヴィーマイスターさんは、植栽ベンチ「MORINO SEI」、壁掛けアクセサリ「WELCOME」など6点を選び、中でも個室風デスク「cubicle」については特に「たためないのか」「値段は」と興味深そう。ヤングさんはボールをアクリル板で繋いだラック「kodachi」を、「全部天然素材ならいいのに」としながら「この中で特にクリエイティブ」と評価するなど計6点を選定。そのラックにはソマーさんも「リズムを感じるデザインに興味深い」と一票。書類審査のときから楽しみにしていたという布張りの椅子「巢」を見て、「人を惹きつける」と5点の候補の中に加えしました。



3.8

2:00pm JPT

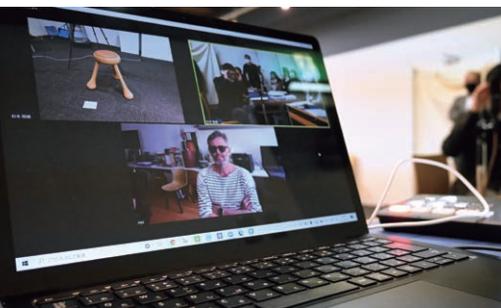
国内審査委員2名が
会場で事前審査
【審査会STEP2】



国内審査委員は付箋を

3月8日の本審査当日は、IFDA開催委員会会長の桑原義彦が「重要な審査基準として商品化の可能性を考えてほしい。一方で、どうしてもこれ、という感覚を優先できる自由もある」と挨拶してスタート。藤本壮介審査委員長と廣村正彰審査委員は、全体を自由に見たあとスタッフに類似製品の問題がないことを確かめると、一緒に1点1点確認。腰掛けたり触ったりスタッフに質問しながら候補に付箋を付けていきます。ふたりとも早い段階で付箋を付けたのが「KURAGE」。「今まで見たことがない。頑丈で自在」(廣村)「小ささがかわいく、動

きやすい」(藤本)と交代で座ってみながら談笑する場面も。廣村さんが「面白い。この素材でしかできないもの」と一票入れたのが「WOODBOOK」。製本テープによりたむとべたんこになるスツールに、今後が期待できると発言して廣村さんが6点、藤本さんは4点を決めました。



3.8

8:00pm JPT

- ニューヨーク/3.8mon. 6:00am
- 香港/3.8mon. 7:00pm
- デンマーク/3.8mon. 12:00PM

各自が選んだ作品を
全員で審査
【審査会STEP 3】



10:40pm JPT

- ニューヨーク/3.8sun. 8:40am
- 香港/3.8mon. 9:40am
- デンマーク/3.8mon. 2:40pm

4点の
入賞作品を
選出
【審査会STEP 4】



リモートでも 熱いディスカッション

全員参加の最終審査は夜8時、時差の中全員が参加できる時間帯にセッティングされました。「ご飯食べましたか〜?」という和やかな挨拶から始まった審査会でしたが、リモートながらだんだんと熱のこもった討論になっていきました。

5名に選ばれた作品は3票1点、2票11点、1票4点の計16点。ここから各賞の4点を選びます。まず3票獲得の「Molecule」は「鋭角でフレンドリーじゃない」「オーバーデザイン」という意見があったものの、並べたり重ねたりが自在で小さな家でも使える柔軟性が認められました。2票の中でも上質感で注目を集めたのが「ROCKING HORSE」で、「キュートでエレガント」「オブジェとして美しい」「お金持ちに売れそう」の声。試作したメーカーも「大変お金がかかりました(苦笑)」。もうひとつ話題になったのが「Flan Chair」で、「デザインの限界に挑戦しており、旭川の特性を生かせそう」「背のフェルトの工業的な厚みが心地いい」と好評でした。1票の中で話題をさらったのが「玉の椅子」。その名の通り背も座も脚も木のボールでできています。「書類審査で見た絵がそのまま実物になってびっくり」「ギャラリーか美術館がふさわしい」「夢に見そう」「製作した人に敬意を表したい」「スペシャルアワードに値する」と、そのアイデアと技に全員から拍手が。



夜10時すぎ、 最終投票へ

いよいよ絞り込むときがやってきました。いったんすべての票を外し、新たにひとり2票を入れ直します。結果は2票が3点、ほかは1票ずつ。2票のデスク「cubicle」はヴァイマスターさんが「パンデミックの時代のテレワークに役立つ」と強く推しており、ソマーさんも「フレキシブルでホームオフィスに使えるそう」と同意。藤本さんも「座ったときうきうきした。この奥行きが浅さ、軽さがいい。自分ではいい(笑)」と加え、時代を背景とした評価が重なりゴールドリーフ賞に決定しました。

「三本脚のドロー」はデザイナー自身が製作した作品。その仕上がりから、藤本さんが「日本の家具づくりとしては弱い」と言えば、廣村さんは「70〜80年代にあった形で新しさを感じない」と指摘。しかし海外勢の「日本のフレームがオブジェとして感情に訴える」「店舗で商品ディスプレイに」「美しく浮遊感がある」の意見があり、最終的にはコンセプトを評価してシルバーリーフ賞に。そして椅子にもテーブルにもなる三角柱をマグネットで組み立てる注目の「Molecule」は、鋭角が危険との指摘もあり改善点はあるものの、これまでにない性格の家具として将来性が認められブロンズリーフ賞に選ばれました。

また、カナダの木材メーカー「ケベック社」協賛の賞は、今年はこれまでのように使用木材をメープルに限定しない「旭川ケベック友好賞」として授与されます。これは「直線的ですっきりと美しくシンプル」「ふつうだがディテールの処理がいい」との意見から、全員一致で「FLATCHAIR」に決定。椅子以外の作品が上位を独占した中で、唯一の椅子の受賞となりました。

みんな素晴らしい

審査が始まってすぐ、審査委員が揃って口にしたのが「どれも素晴らしい」という言葉です。ヴァイマスターさんは「IFDAの作品が優秀で驚いている。ふつうのコンペでは“いいものを選ぶ”がIFDAは“最高のもの”を選ばなければならない。このようなコンペはそうない」と話しました。一方作品に対して「惜しい」「ここがもしこうだったら」という改善点も少なからず聞かれました。こうしたさまざまな視点からの意見や提案が、オープンな環境で自由に発言できるのもIFDAの特長なのかも知れません。



Interview

現場インタビュー 審査を終えて



審査委員長
藤本 壮介

コロナ前の応募作をコロナ後に審査することになった。コロナ禍における人間社会の本質が見えてきたのが、最高賞だ。自分の領域がありながら完全には閉ざされず、インタラクティブな関係を暗示している。腰掛けるとぼっと晴れやかな気分になった。事務所に自分用としてほしい(笑)。マグネットを内蔵したり植物と共存した作品を見ると、木の可能性はまだまだあると感じる。受賞者にはものづくりの理想的環境がある旭川との縁を繋いで新しい発信をしてほしい。IFDAは30年の歴史を持ちながらつねにアップデートしようとしており、ますますエキサイティングなアワードになるだろう。人間と家具の新しい在り方を発信する場、またデザイナーの登竜門として引き続き牽引してくれることを願う。

海外審査委員は実物に触れて質感を確かめられはしなかったが、それゆえにコンセプチュアルな強さを感じられたのではないかと。この審査スタイルもまた、これからの時代らしい在り方なのかもしれない。



審査委員
廣村 正彰

家具のデザインから製作、プロトタイプまでを通して見た初めての体験だった。絵に描いた餅を食べる餅にしたわけで、材料選びやミリ単位の加工表現を見ることができた。個人的に好きなのはキャスター付きのツール「KURAGE」と植物のあるベンチ「MORI NO SEI」。デザイナーとしてはフェルト使いの椅子「Flan Chair」の発展形が目についた。

木に特化したIFDAは、これからプロダクトの重要な賞になる。そこで提案がひとつある。今は審査基準が全方位だが、今後は回ごとのテーマを決めてはどうだろう。たとえば「サステナブルな木製家具」というように。それは時代とともに変わっていく。家具は完成時が最高ではなく、使うほど愛着が湧く。こんなものはほかにない。今がそれを若い人や子どもたちに伝えていくチャンスだと改めて思った。



審査委員
タッカー・ヴィーマイスター

今回の審査は私に新しい視点をくれた。デザイナーは第六感みたいなものを持っているので、実物を見られなくてもわかるのだ。主催者がプロトタイプの重要性を

理解し、品質を高めたことでデザインがさらによく見えた。最高賞の「cubicle」は、机のシンプルさと窓のユーモアが知的で遊び心のある美しさをつくりだしていたし、入選作の「玉の椅子」はほかの惑星から来たみたい。あれは座ってみたかった(笑)。

IFDAはデザインの大リーグのようだ。受賞者には幸せを、主催者には誇りを感じてほしい。これほどレベルが高いコンペをもっとデザイン界に伝えていかなくては。「これ以上世の中に椅子なんていない?」と言う人がいるが、アイデアや素材、社会的要素を表す椅子がまだまだ必要だ。Tシャツがもっと必要のように。そのためにもIFDAはこの30年を幼少期と捉え、あと90年は続いてほしい。IFDAの未来のためにあえて助言するなら、審査にまた僕を呼ぶこと、だね(笑)。



審査委員
アンルイス・ソマー

オンライン審査は三次元的、物理的、人体工学的に判断が難しかったが、会場の人の協力でリアルに近づくことができた。全員での協議はよいプロセスだったし、選ばれたものにも皆満足したと思う。審査で私が優先したのはオリジナリティ。コロナは生活や社会の在り方、そして家具にも大きな影響を与えたが、作品にはこの危機に呼応したのも見られ、好ましく思った。

IFDAは製品化という貴重な体験などにより、デザイナーのキャリアを後押ししてくれる。受賞者は自信を持ってよりよいデザインに取り組んでほしい。コンペの存在意義のひとつは歴史。30年以上のコンペは国際的にも珍しいし、IFDAは日本文化に根ざしつつグローバルな視点を持っている。応募がオープンなものいい。期待する

のは、若いデザイナーが加わりデザイン領域の拡張を意識して社会問題などの解決策を考えること。コンペのコアバリューを維持し継続していくことが大事だと思う。



審査委員
マイケル・ヤング

まずクラフトマンシップ、そしてアイデアの幅、機能性にも驚いた。類型学的視点がそれをさらに興味深くし、結果、審査が面白いものになった。受賞は逃したが「kodachi」の大ファンだ。日本的でミニマルで詩的かつパワフルな、奨励賞だね。パーティションとしてブティックなんかによさそう。

包括的な視点で見ると僕がのやり方。新鮮さ、商業性、思慮深さ、価格などを考えながら審査した。受賞者にはまず、最高の部屋と最高のビールで最高のパーティをしてみんなを労ってほしい。そしてIFDAの影響や家具業界の意義、職人技を世界のコミュニティや企業のスペシャリストに伝えるべきだ。IFDAは家具デザインに何が起きているかを毎年広く伝え、業界の人が楽しみ、そして繋がりを感じるものにすることが大事だ。今回はほかの審査よりも直感的に審査できたように思う。コミュニケーションとしての体験にもなった。また参加する機会があればうれしい。

Award Winning Works and Finalists

国際家具デザインコンペティション旭川2021 入賞入選作品



Gold Leaf

ゴールドリーフ賞

[cubicle]

キュービクル

渡辺 賢

Ken Watanabe
Japan / 日本



Silver Leaf

シルバーリーフ賞

[Three-Legged Drawer]

三本脚のドロー

studioYO (溝口 瑛・溝口 京子)
Yoh Mizoguchi・Kyoko Mizoguchi
Japan / 日本



Bronze Leaf

ブロンズリーフ賞

[Molecule]

モレキュール

佐藤 邦彦
Kunihiko Satou
Japan / 日本



Asahikawa Québec Award

旭川ケベック友好賞

[FLATCHAIR] フラットチェア

平山 真喜子・平山 和彦
Makiko Hirayama・Kazuhiko Hirayama
Japan / 日本

Finalists

入選作品

title		Name		Country
Jellyfish	KURAGE	Koji Uno	宇野 公二	Japan
U-Chair	U-チェア	Masuo Fujimura	藤村 益生	Japan
MORI NO SEI	モリノセイ	Kei Atsumi Nicholas Préaud	厚見 慶 ニコラ・プレオ	Japan
DREAM OF TIMBER	ドリームオブティンバー	Akinori Sato	佐藤 昭則	Japan
Wrap/Carbon	ラップ/カーボン	Kazuma Daimon	大門 和真	Japan
kodachi	コダチ	Kohei Odaka	小高 浩平	Japan
Frame 9	フレーム9	Kou Mei Fu	黄明風	Taiwan
THE STOOL	ザスツール	Toshiyuki Yamanouchi	山内 敏行	Japan
SU	巣	Michael Schneider Jan-Patric Metzger	ミハエル・シュナイダー ヤン・パトリック・メッツガー	Germany
Air Ply Chair	エアプライチェア	Makoto Hashimoto	橋本 誠	Japan
ComBine	コンバイン	Zuo SiYang Zheng QiJin	ズオ・スヤン/ゼン・チジン	China
Pocket Desk	ポケットデスク	Masayoshi Oda	小田 正芳	Japan
Tama chair	玉の椅子	Okafujiishi	岡藤石 (岡田良太・藤井田仁)	Japan
Flan Chair	フランチェアー	Shuhei Shimozato	下里 修平	Japan
ROCKING HORSE	ロッキングホース	Mikiya Kobayashi	小林 幹也	Japan
WOODBOOK	ウッドブック	Konrad Lohöfener	コンラッド・ロヘナー	Germany
WELCOME	ウェルカム	Anker Bak	アンカー・バック	Denmark
Lounge chair #01	ラウンジチェア #01	Shinya Yoshida	吉田 真也	Japan
reading stool	リーディングスツール	Tadahito Ishibashi	石橋 忠人	Japan
Stacking chair	スタッキングチェア	Mikiya Kobayashi	小林 幹也	Japan

国際家具デザインコンペティション旭川2021

審査総評

Yoshihiko Kuwabara

国際家具デザインフェア旭川開催委員会
会長 桑原 義彦



1990年にスタートし3年ごとに開催してきた「国際家具デザインフェア旭川(IFDA)」は、スタート時の目標であった10回目を2017年に終え、11回目を2020年に開催する予定でしたが、コロナ感染症拡大防止の観点より会期を延期。2021年、新たな気持ちで第11回を迎えました。

30年以上の長きにわたり、ここ旭川の地に集積してきたものづくりの英知、世界のクリエイターとの交流、さらに国際市場にも通用するすぐれた製品が「国際家具デザインフェア旭川」から誕生していることに大きな意義と喜びを感じています。11回目の「国際家具デザインコンペティション旭川」は世界37カ国・地域から588点の応募があり、ゴールドリーフ賞、シルバーリーフ賞、ブロンズリーフ賞、旭川ケベック友好賞と20点の入選作品を決定いたしました。本来であれば審査委員全員が旭川へ集結し、実作品を見て審査すべきところ、コロナ感染症の影響によりオンラインでの実施となりました。しかしながら、そんな状況にもかかわらず本審査を開催できましたこと

は、関係各所のご理解とご協力、そしてご支援の賜物とここに御礼を申し上げる次第です。

今、世界は大きく変わろうとしています。2021年は風の時代と呼ばれ、「持つ」ことから「知る」ことを重視するように、世の中の価値観が大きく変わる時代の曲がり角に来ているといわれています。その中で私たちの暮らしや働き方ひいては生き方においても、より持続可能で真に豊かな日々に向けての模索が始まっています。何を大切にし、どのように日々を生きていくか。暮らしに寄り添う家具においても、新たな価値やその在り方が問われています。

30年という節目を越え、新たな一歩を踏み出した2020年に直面したパンデミックという思わぬ事態。しかし、困難な時代だからこそ新たな発想や独創性、真に価値のあるものづくりが可能であると信じています。蓄積してきた英知や技術は、そしてデザインは未来の扉を開く大きな力です。今こそ、人の「手」と「こころ」が創り出す豊かな未来に期待します。

Sou Fujimoto

審査委員長 藤本 壮介



東神楽で育ち、旭川の高校に通ったものとして「国際家具デザインフェア旭川(IFDA)」の審査委員長を務めることは大きな喜びでした。建築家である自分が家具デザインコンペの審査委員長に任命されたことは、家具というオブジェクトのデザインはもちろん、それを取り巻く人間の暮らしやコミュニケーション、様々な社会状況、また旭川という場所の意味や未来への予感などを含み込んだ総体としての審査を期待されたということだと思います。

そして図らずも、今回のコンペは世界中がCOVID-19のパンデミックに見舞われる状況の中で行われることとなりました。応募時にはその予感すらないまま提出された作品たちが、一次審査を経て、延期された二次審査へと進む中で、刻々と変化する世界状況のうねりに見舞われたのです。この世界的な危機は、特殊な状況ではありながらも、同時に、人々の暮らしと社会にとって何が本質的なのか、という根源の問いを露わにしたと言えるのではないのでしょうか。そうだとするならば、今年のIFDAはとても貴重な

な機会になったと言えると思います。

その一方で、この数年の地球環境意識の急激な高まりによって、木製家具というものの本質的な意義がより深まってきているのを感じます。木と異素材の組み合わせも含めて、木製家具は一人の人間の具体的な身体と、そこから広がる社会、森林循環や地域の活性化も含めた広い意味での住環境を意識していくことになるはずですが、今回の審査では、そんな新しい時代の出発点に立っているという高揚感を感じました。

そして何より、試作に取り組み旭川家具の皆さんの熱意と圧倒的なクオリティを目の当たりにして、これこそが30年以上にわたって続いているこのIFDAを支えているものであり、旭川という場所の持つ力なのだと実感しました。僕自身、この先も旭川にずっと関わっていきたくと思っています。ともに未来のビジョンを共有しながら、明日を切り開いていくことができれば幸いです。



地元の元気をリードします!!



TAKUMI KOHGEI

つくっているのは、
心地です。



TAKUMI KOHGEI YOKOHAMA showroom "yamanami"
Photo / OWASHI Yosuke owashiyosuke.com

横浜に直営店がオープンしました。
匠工芸 YOKOHAMA
2021年7月22日オープン
横浜市都筑区茅ヶ崎中央6-1 Southwood 3F
※横浜市営地下鉄「センター南駅」1番出口正面
皆様のご来店をお待ちしております。



株式会社 匠工芸
本社工場 ショールーム

北海道上川郡東神楽町南1番通24番地
TEL 0166-83-4400
FAX 0166-83-4600
10:00~17:00 不定休
www.takumikohgei.com





2020.2.5wed 18:30~
旭川デザインセンター2F会議室

完成した作品を見ながら
お楽しみください。
www.ifda.jp/awards.html



IFDAのコンペで本審査を戦う試作品の多くを、
旭川のメーカーが請け負っていることをご存知でしょうか。
今年は24点中17点が旭川で製作されました。
CG画像や図面から実物をつくるのですが、
挑戦的なデザインが多いため難度が高いのに加え、
コンペ作品に「どこまで手を加えるか」の葛藤も担当者を悩ませます。
さらに今回は、画像審査時の審査委員の助言で、
同じものを複数点、最大で6点製作したメーカーもありました。
担当するのはメーカーの若い技術者。
行き詰まり、質問を抱えて中間報告会に集まって来ます。
みんなが頼りにするのは、大ベテラン服部勇二。
入手困難な材料を探してくれる木材会社や、
金物や刃物をつくる業者さんも陰で支えています。
顔を合わせたとたん自然に始まった、
大変そうな、でもなんだか楽しそうな、ものづくり談義をお届けします。

これが旭川の強さ。
メーカーを越えた協力体制が、不可能を可能にする!

IFDA試作中間 報告会レポート

〔試作協力メーカー〕

(株)アルフレックス、(株)いさみや、(有)インテリア北匠工房、
(株)ガージーカムワークス、(株)カンディハウス、(株)コサイン、
(株)ササキ工芸、タイム アンド スタイル、(株)匠工芸、
(株)メーベルトーコー、(有)ワカサ

神の声こと
相談役/家具工房 木魂 服部 勇二



報告会参加メンバー

吉村 浩平 インテリア北匠工房

この道17年。「今回は製作を若い人にまかせて僕はデザイナーとやりとりする役に徹しました」。四角い家具と異なる、三角の難しさを痛感。



庄司 卓磨 インテリア北匠工房

14年勤務の工場主任。「上達は達成の積み重ねから」と試作に積極的に挑戦する。「納期は死守」も自分に課していることのひとつ。



傅里 聡 ガージーカムワークス

家具づくり19年目。「ほぼ毎回試作みたいな特注をずっとやってきました。基本箱物なので、脚物はその応用でなんとか形にしていける感じです」。



山口 智大 ガージーカムワークス

出場した技能五輪の課題は箱物で、椅子はほぼ初めて。「1から勉強しています。不安でしたが、今日参加して光が見えました(笑)」。



佐藤 佑 カンディハウス

デザイン・木工系の大学からカンディハウスへ。検討会は初参加で「こんなふうに乗って意見を交わせるなんて面白い。試作はこれからが大変です!」



河野 健 カンディハウス

入社6年目。「デザイナーと僕らの考えを一致させるのが特に難しい」。理解してもらうためサンプルを送るなど工夫している。



森 暁生 コサイン

入社13年、今回初めて木以外の素材に挑戦。「服部さんは大きい存在」と感慨深げ。今日は業天さんの図面の美しさに驚き、気を引き締めたとか。



業天 昭人 匠工芸

「忠実に再現していかにもにするか」に主眼を置いた今回の試作。「この会は頼りになる。各社で技も機械も違うので発想が転換できます」。



野原 寛史 メーベルトーコー

この道25年。デザイナーの意図通りの間伐材を探したら「昭和木材さんが見つけてくれて(笑)、つくれないと言えなくなりました」。



田中 勇司 メーベルトーコー

東海大学の織田ゼミ出身で入社15年。デザイナーの意図を具現化するため、つくり手に「伝わる図面」を心掛ける。今回の難題にも「やるしかない」。



若狭 弘典 ワカサ

残業を抜けて来て、第一声が「あーお腹すいた」(笑)。「すげー難しいの」と話す玉の椅子の玉、実は大きくて5種類もつくったそう。



角のマグネットで
面をくっつける至難。
磁石の強さ、仕込み方…。

インテリア北匠工房
作品/Molecule

三角の椅子を、段差も隙間もなく磁石で繋げるようにして6台つくる大仕事です。座るには細すぎるパーツを太くその比率でサイズを拡大しても、まだグラグラ。「しかも6台並べると床を拾っちゃって隙間が空く」と頭を抱えています。「厚みを出して磁石強くする方がいい。下の材の幅しゃくれば安定感もくつきもよくなる」と匠工芸の業天さん。天板角に木口を見せて濡れた感じに、との指示で塗装はソープ仕上げ。服部さんから手垢が付くと心配の声が出ましたが、ここはデザイナーの意図を汲むことに。1脚に18個必要な磁石はS極とN極を水に浮かべて確かめてから使ったそう。角のパーツと天板に出る目違いは、あえてV字に細く溝を入れて手仕事感もプラスしました。



神 天板にはゴムのりの方が厚物でも貼りやすいよ。

「このままでは椅子にならない」
から始まった格闘。
勘と血気で形に。

ガージーカムワークス
作品/SU-巢-

思わず「よく形にしたわ」と言ったのは服部さん。事前に図面で相談を受けたとき「こんなもん無理」と思ったそうです。それでも諦めなかった若手山口・ベテラン傅里組を「ここまでできたらもう大丈夫。あとはどんな順番で組むかだけ。本当によくやったなあ」と労いました。今日持ってきたのは試作の試作で素材がマツ。「本番はナラにするのもっと丈夫です」と、今回立候補してメインの担当者になった山口さんが自信を見せます。「前脚の胴つきは?」の質問に「見えるところはアールに削ります」とハキハキ。業界の最繁忙期、連日深夜まで製作に没頭するふたりに、木村亮三社長は「何より楽しみなのはこのふたりの情熱と実力」と話しました。



神 これはつくり手にまかせてもらうしかなかったよね。



意外に考えることが
多かった。
今日で何かが見えてきた!

コサイン
作品/kodachi



異素材への挑戦に手を挙げたのは、「コサインらしい雰囲気」も理由でした。デザイナー指定の国産四方榎白太のスギは、地元北日本木材からの入荷待ち、問題はアクリル板です。楕円ほぞに慣れている工場では角ほぞは難しい。「アクリルだと角ノミの跡が見えちゃうし、アクリルの穴を先にあけるから精度も必要で、手工具で頑張らない」と悩みつつ意気込みます。そこへ服部さん「穴はNCだわ。4mmのロングで攻めてくか6~8mmで走らして底さらいしてギリギリまで攻める。バリが出ないキリ今あるから」「そうなんですか!どこに?!」「カンディで前に使ったな。今あるか?」カンディハウスの佐藤さん「探してみます!」「なければノミでやればいい」森さん「なんか少し見えてきました!」。

神 ノミは星社長にやってもらえ。俺がそう言ってたって(笑)。



忠実に試作したが 止まらない「揺れ」。 補強材を入れるか悩む。

カンディハウス

作品 / reading stool, ラウンジチェア #01、U-チェア

毎回試作が早いカンディハウス。「reading stool」はもう組み付けと色を決めるだけで報告すると、服部さん「なんだ、楽くない(笑)」。「ラウンジチェア #01」はちょうどこの日に座の成型をしたところで、「10mm厚1枚でいこうと思うんですが問題は座とどうつけるか。ビスはきわどいし。でもみんなの話聞いてたらうち10mmだからまだいいかなって(笑)」。服部「余裕でしょ。10mmでも成型は固まると強いからいけるかもよ」。3点目の「U-チェア」は揺れが課題ですが、補強材を入れると形が変わってしまうので迷うところ。基本IFDAの試作では、大きく形を崩さない範囲での補完は許容範囲としています。服部さん「脚のアール部分を太くするしかない。成型は大変だけど強くなるよ」。削り出した座板の木口にテープを貼って成型に見せる念の入れように、「あまり上重くすると下に負担くるよ」と釘も。



神 貫を入れてよければ、強度は絶対なんだけどね。



手分けする予定が 全面自社製作に。 刃物だ治具だと悩みが2倍3倍!

匠工芸

作品 / ROCKING HORSE, Stacking chair, KURAGE

「ROCKING HORSE」担当の業天さんが「座板は成型で内側からビス止めて黒く塗る。あとは全部ダボでやる予定。相談したいのが、貫の真鍮金具が溶接できるか?ということ」と聞くと、「弱いよ。スチールにしてメッキするか、棒を木にして両側だけ真鍮」と即答する服部さん。「それと誰か1.5mmの成型教えてください」。成型実績随一のカンディハウスから「濡らして高周波はダメ、接着剤から火花が出る」。服部さんは「1.5は戻りやすい。1.0をクロスにして木目きれいに出すといいよ」。次の「Stacking chair」は成型の座と後ろ脚の接合が悩み。カンディハウスは「のりは手で頑張るしかない。成型はシワが寄らないよう水を抜き切って」服部さんは「曲げの薄いベニヤあるよ。シナが最強。和紙貼ってから突板貼って曲げれば一発かも」。3点目の「KURAGE」は脚先に埋め込むキャストが難関。どの道具でどんな順でどうしゃくる?と悩む業天さんに、神は「少し濡らして削ってまた濡らして…このへんは桑原社長がよく知ってるよ」と背中を叩いていました。



神 やってみるとわからんとこ、あるから!

「間伐材で」という材の 指定にも応える。 これぞ産地力。

メーベルトーコー

作品 / FLATCHAIR, THE STOOL, MORI NO SEI

「脚がグラつくんですが…」と野原社長が打ち明けるのは「FLATCHAIR」。服部さんの「接合ではもたんかもしれない。ピケットカドミノ、細い4mmのでも入れると違うよ」というアドバイスに頷きます。そしていかにも難しそうな「THE STOOL」をどうする?しかも材が「フシのあるヒノキ間伐材」という指定。地元の昭和木材が見つけてきた生木(!)で対応しなければなりません。担当の田中さん「特に3本・5本脚はタコみたいに広がっちゃいそうで…」と困り顔。「ハイ誰かアイデア!」の服部のひと声に「プレートに木ネジ!」「1本を割ってあとで接着?」「2、3日雪に埋めて凍らせる!(笑)」などの声が飛び交いましたが、最後は「デザイナーの意図を尊重して自然に仕上げてみます」と野原社長が挑戦宣言。そして最後は、社長が「罰ゲームかと思った(笑)」変わり種「MORI NO SEI」。鉢部分をどうするかなど悩みが尽きず、裏面がふくらんだ天板はワカサの力を借りました。応募者が学生なので、細かく説明して理解を得ながら意に沿うよう努めているところです。



神 穴開けるたって…強引にワイヤで締めるか…ピン入れるか…(悶々)



「簡単だと思わないと 引き受けられなかった」 超難しい3点。

ワカサ

作品 / 玉の椅子, Flan Chair, エアブライチェア

「玉の椅子」はサイズ違いの玉を太さ10mmの棒に刺す構造で、「やばいのから先にやった」ためすでにモックアップが完成し座れることを確認済み!「だって桑原社長(匠工芸)に言われちゃうもん、座れなきゃ話にならないって」。急ぐのは「Flan Chair」で、「うちが早くしないと共同製作してるアルフレックスが困る」と聞いた服部さんが「背の成型、これは戻るな。足りんとこ手伝うか?」と助け舟を出すと、「そんないるか!」と突っばねる若狭社長。「エアブライチェア」についても「これはウチの下僚(職人)だから」と自信ありげです。ところが服部さんの「甘いー。前は1.0だと割れるぜ」に顔色が変わり、「曲げるときどれくらい濡らしますか」服部「べちゃべちゃはダメ、霧吹きで。和紙貼ってれば大丈夫だ。いざとなれば3D単板使えばいいよ」。

神 このくらいできなきゃ!まあ、毎回できてるから今回もできる!

みなさんたいへんよくがんばりました



official partner

オフィシャルパートナー

アキレス(株)
(株)アサヒ旭川営業所
旭川空港ビル(株)
(株)旭川工藤畜産
(一社)旭川建設業協会
(一社)旭川建築協会
旭川食品加工協議会
(株)旭川総合宅建
(有)旭川銘木
(協)旭川木工センター
(有)アサヒ総合保険事務所
アルテック(株)旭川営業所
(株)石狩ガラスセンター
(株)イノアックコーポレーション札幌営業所
イメージナビ(株)
(有)インテリア平田塗装
(株)Wood-Coat
(株)ウッドパーツ
MS北海道(株)
(有)遠藤鋸工業所
(有)笈川刃物工業
(株)大阪畜産
(株)大谷
(有)岡田商会
(株)片桐紙器
上川食肉事業協同組合
(株)川善商店

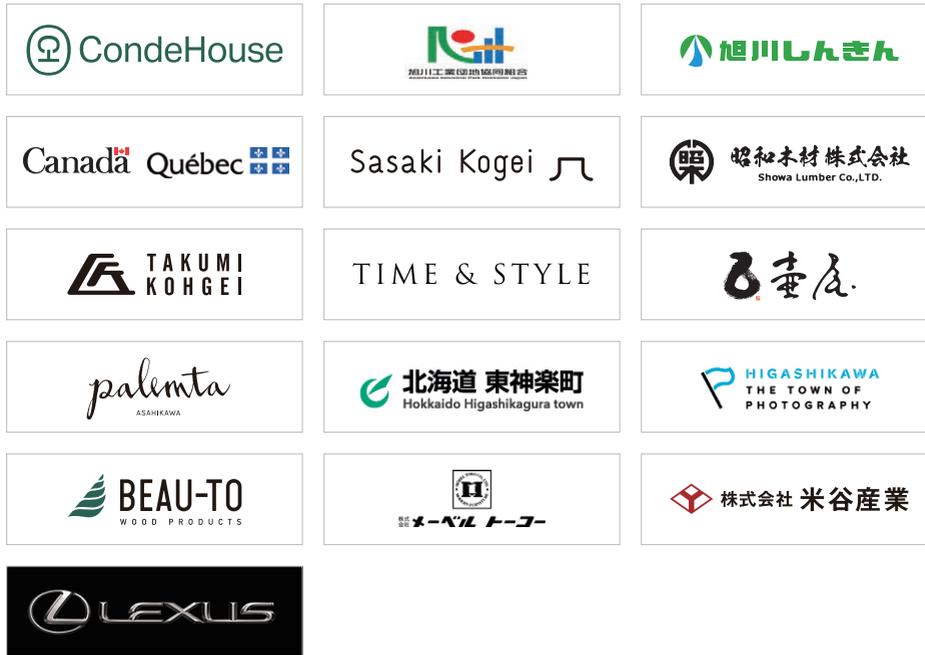
カワモト白衣(株)
(株)北日本広告社
(株)北廊
(株)共立商会
旭三商事(有)
旭翔商事
旭東清掃(株)
旭陽電機(株)
きわめ商会
Kvadrat Japan(株)
空間倉庫輸送(株)
(株)K・Tエレクトロシステム
広葉樹合板(株)
国際空輸(株)旭川営業所
(株)コジマ
(株)小滝畜産
小林通商(株)
小日向商会(有)
(株)コンピューター・ビジネス
(株)札幌北洋リース旭川支店
サントリービバレッジサービス(株)
(株)シーズン
(有)下川刃物研磨工業
社会保険労務士中野則武事務所
(株)商工組合中央金庫旭川支店
(株)外崎工作所
ソメスサドル(株)

(株)大栄
太陽工業(有)
(株)TAKAO
高倉塗料興産(株)
(株)高畑
滝澤ベニヤ(株)
ダスキン大町支店
(株)デンザイ
(株)電通北海道
東京センチュリー(株)札幌支店
(株)東光ガラス建材
東邦木材(株)第一工場
(株)トヨタレンタリース旭川
中谷商事(株)
中村鉄工(株)
中村元弥法律事務所
(株)那須自動車
(株)20パーセント
日本生命保険相互会社旭川支社
(株)パパネット
はやし内科胃腸科小児科医院
(株)Fan建築設計
(株)富貴堂ユーザック
(株)フジエテキスタイル
富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)
(有)富士マテリアル
(株)藤丸

(株)フタバ
(株)ベスト保険サービス
(株)北陸銀行
(有)星商会
(一社)北海道建築士会旭川支部
(一社)北海道建築士事務所協会旭川支部
北海道ココ・コーラボトリング(株)
(株)北海道総合保険事務所
北海道デザイン協議会
北海道北三(株)旭川営業所
北海道立旭川高等技術専門学院
北海道ロア工房(株)
(株)前田理工
マナトレーディング(株)
マルウン商事(株)まるうんトラベル
丸信衛生工業(株)
ミドリオートレザー(株)
美浪左官工業(株)
(株)銘林旭川営業所
(株)メルセン
(株)森傳
山内ビニール加工(株)
山田木材工業(株)
ユーザーサイド(株)
(株)脇本商事
(有)渡辺プラスチック工業

official sponsor

オフィシャルスポンサー



NEXT

ASAHIKAWA DESIGN WEEK 2022

2022年6月開催予定

来年はきっと、笑顔で会えますように！

旭川デザインウィーク2021実行委員会

事務局:079-8412 北海道旭川市永山2条10丁目1-35旭川家具工業協同組合内
TEL 0166-48-4135 FAX 0166-48-4749 www.ADWhokkaido.com

